

平成28年度 昼間・土曜スクーリング(後期)の手引

スクーリング受講手続日程

①	受講手続説明会	9/17(土)
②	受講申込開始日 (ポータルサイト)	9/17(土)
③	履修登録締切日 受講登録締切日	10/ 5(水) <u>ポータルサイト【24:00まで】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【消印有効】</u>
④	受講資格審査 通知予定日	10/21(金) ※受講届提出者のみ通知郵送します。
⑤	振込用紙発送予定日	10/21(金) 発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。
⑥	受講辞退手続締切日	10/28(金) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
⑦	受講料納入期限	11/ 4(金) <u>銀行窓口にて【厳守】</u>
⑧	結果通知予定	2月中旬 ポータルサイトにも掲載します。

開講日程

昼間開講日程	9/27(火)~1/25(水)
土曜開講日程	【10月】1・15・29 【11月】12・19・26 【12月】10 【1月】14
補講予定日	12/19(月), 1/10(火), 1/23(月)



日本大学通信教育部

開 講 日 程

開講日程

年	月	日		月		火		水		木		金		土	
平成28年	9月									1		2		3	
		4		5		6		7		8		9		10	
		11		12		13		14		15		16		17	受講手続説明会
		18		19	敬老の日	20		21		22	秋分の日	23		24	
		25		26		27	後期 昼 1	28	後期 昼 1	29	後期 昼 1	30	後期 昼 1	1	後期 土曜 昼 1・2
	10月	2		3		4	後期 昼 2	5	後期 昼 2	6	後期 昼 2	7	後期 昼 2	8	
		9		10	体育の日	11	後期 昼 3	12	後期 昼 3	13	後期 昼 3	14	後期 昼 3	15	後期 土曜 昼 3・4
		16		17		18	後期 昼 4	19	後期 昼 4	20	後期 昼 4	21	後期 昼 4	22	
		23		24		25	後期 昼 5	26	後期 昼 5	27	後期 昼 5	28	後期 昼 5	29	後期 土曜 昼 5・6
		30		31		1	後期 昼 6	2	後期 昼 6	3	後期 昼 6	4	後期 昼 6	5	
	11月	6		7		8	後期 昼 7	9	後期 昼 7	10	後期 昼 7	11	後期 昼 7	12	後期 土曜 昼 7・8
		13		14		15	後期 昼 8	16	後期 昼 8	17	後期 昼 8	18	後期 昼 8	19	後期 土曜 昼 9・10
		20		21		22	後期 昼 9	23	勤労感謝の日	24	後期 昼 9	25	後期 昼 9	26	後期 土曜 昼 11・12
		27		28		29	後期 昼 10	30	後期 昼 9	1	後期 昼 10	2	後期 昼 10	3	
	12月	4		5		6	後期 昼 11	7	後期 昼 10	8	後期 昼 11	9	後期 昼 11	10	後期 土曜 昼 13・14
		11		12		13	後期 昼 12	14	後期 昼 11	15	後期 昼 12	16	後期 昼 12	17	
		18		19	補講日	20	後期 昼 13	21	後期 昼 12	22	後期 昼 13	23	後期 昼 13	24	
		25		26		27		28		29		30		31	
平成29年	1月	1	元旦	2	振替休日	3		4		5		6		7	
		8		9	成人の日	10	補講日	11	後期 昼 13	12	後期 昼 14	13	後期 昼 14	14	後期 土曜 昼 15・試験
		15		16		17	後期 昼 14	18	後期 昼 14	19	後期 昼 15	20	後期 昼 15	21	
		22		23	補講日	24	後期 昼 15	25	後期 昼 15	26		27		28	
		29		30		31									

…授業日及び補講日

後期補講は 12 月 19 日(月), 1 月 10 日(火), 1 月 23 日(月) の3日間だけでなく, その他の曜日にも実施することがあります。補講が行われる場合, 指定された補講日に出席する必要があります。

また補講を行う時限は他講座の補講日程の関係上, 必ずしも通常と同じ時限で開講されるものとは限りません。以上のことを承知した上で申込みをしてください。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングを受講希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

昼間・土曜スクーリングの特色

昼間・土曜スクーリングが他のスクーリングと異なる点は、通学課程と同形態の授業を行うことにあります。また、前期・後期と連続して受講することで、より学修効果が高まります。

なお、大学では適正規模の授業を実施し、かつ多くの学生が等しく受講機会を得られるように一人（受講者）当たりの受講制限を設けていますが、このスクーリングもその例外ではありません。

さらにこのスクーリングでは、2年生以上の学生を対象に卒業論文指導講座を設け、その指導の強化充実を図り、より優れた卒業論文を期待しています。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65 名	5 名
演 習 講 座	30 名	5 名
上記以外の講座	100 名	10 名

〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同じ曜日に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- 3 上記1・2の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 4 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 5 受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目次

昨年度からの変更点	4	VIII 申込講座の許可と不許可	
前期からの変更点	4	1 受講許可を確認する	98
		2 講座振り分け及び受講不許可について	99
		3 許可講座を辞退する	100
I 受講申込から受講料納入までの流れ	6	IX 受講料等の納入	101
II 講座の選定		X 受講準備	
1 受講講座の選定	8	1 使用教材の入手	102
2 「教職に関する科目」における新・旧科目について	10	2 通学定期券の購入手続	104
3 「英語」科目のレベル標記について	10	XI オープン受講	106
III 時間割		XII 各種用紙	
1 時間割	12	履修届	109
2 卒業論文指導時間割	14	昼間・土曜スクーリング（後期）受講届	111
IV 開講講座表		オープン受講届	113
1 「開講講座表」の見方	16	スクーリング受講講座変更届	115
2 開講講座表【曜日・時限順】	17	受講申込辞退願	117
V 受講及び試験		教材配本申請書	119
1 講座受講時の注意点	26	教材購入用紙（丸沼書店用）	121
2 スクーリング結果の確認	27	教材購入願（通信教育教材用）	123
VI シラバスと使用教材	28	通学定期乗車券発行控	125
VII 受講手続		XIII 付録	127
1 履修登録をする	90		
2 講座を申し込む	93		
3 受講講座の変更・追加	97		

昨年度からの変更点

1 対照表

変更前（昨年度）	変更後（平成 28 年 4 月から）
昼間・土曜スクーリングは、前期・後期両方を修得することで単位修得が可能（昼間・土曜スクーリング方式）。	昼間・土曜スクーリングと、短期スクーリングやメディア授業の積み重ねにより単位修得が可能。 シラバスに受講制限の記載がない場合、昼間・土曜スクーリング（後期）同士で積み重ねが可能。
スクーリング申込期間終了後の辞退は不可。	振込用紙受け取り後、辞退が可能。

2 ポータルサイトの活用について

平成 27 年度から、ポータルサイトが新しくなりました。

平成 28 年度からは、以下の情報を中心に、ポータルサイトからの情報発信を拡充していく予定です。

- 休講・補講情報
- 講堂変更情報
- その他、授業に関する情報

スクーリング期間中は、常にポータルサイトからの情報に注意し、見逃すことのないようにしてください。

前期からの変更点

「英語」科目のレベル標記について

本年度前期からレベル標記を ☆☆☆ 及び「初級」～「上級」にて表示していましたが、前期の受講状況等を勘案し、☆☆☆ のみで表示いたします。

また、合わせて「英語基礎」についても ☆☆☆ で表示いたします。

＜レベル＞★の数が増えるほど、難易度が上がります。

【☆☆☆】 ⇔ 【★★☆】 ⇔ 【★★★】

基礎

中級

上級

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

①受講手続説明会	『昼間・土曜スクーリング（後期）の手引』を読み、受講手続方法から試験までの流れを確認。受講制限・時間割を確認し、受講講座を選択する。
----------	--



②授業開始までの準備	授業期間は15週にわたります。シラバスや時間割をよく読み、受講講座を選択してください。特に下記の項目を事前に確認すること。 ①開講日程及び時間割 ②使用教材（教科書）の有無 ③準備学修 ④成績評価基準 【要確認】授業期間に出席可能なこと。
------------	--



③授業開始 第1週 9月27日（火） ～10月1日（土）	各授業の第1週目は、ガイダンスを行うことが多く、今後の授業の方法、授業計画、準備学修、テキスト及び成績評価基準等についての説明があります。 ※選択した講座を受講するか確認してください。
	○受講講座決定の学生 履修届・受講届に必要な事項を記入し、10月5日（水）までに教務課へ提出。 ●受講講座再度検討の学生 別の講座を選択し、第2週から受講する。 ※その際、第1週を受講していなかった旨を担当講師に伝えること。 ※受講申込締切日の関係から、以下の曜日の講座を申し込む場合は注意が必要です。 ・木・金・土曜日…2週目を受講してから申し込むことはできませんので、1週目の授業により、受講を検討してください。

受講希望者が多い講座や少ない講座は、大学側で受講の調整を行うことがあります（「受講の調整について」参照）。

特に「情報概論」（パソコン台数制限有）、外国語科目・演習科目（受講者数上限有）については、受講希望者多数の場合、受講調整を行います。あらかじめ了承の上検討してください。



④授業 第2週 10月4日（火） ～10月7日（金）	各授業の第2週目は、本格的な授業に入ります。
	第1週の授業を受講したが、受講講座が未決定の学生はスクーリング第2週目を受講し、10月5日（水）までに履修届・受講届を提出してください。 ※受講申込締切日の関係から、以下の曜日の講座を申し込む場合は注意が必要です。 ・木・金・土曜日…2週目を受講してから申し込むことはできませんので、1週目の授業により、受講を検討してください。

⑤履修登録・ 受講申込締切	申込締切：10月5日（水） 18：00（事務取扱時間）まで （ポータルサイト）締切日 24 時 00 分まで 提出先：（郵送）提出締切日 消印有効 （窓口）教務課窓口提出 事務取扱時間内厳守 ※1 受講届で申し込んだ講座がわかるように必ず申込内容の控えを取り各自で保管してください。 ※2 提出期限を過ぎてからの追加・変更はできません。10月5日（水）までに受講予定の全ての講座を決定した上で提出してください。
------------------	---



⑥受講許可の確認	ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認してください。 ※受講届提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知書」を送付しますので、そちらで確認してください。 届き次第、必ず以下の記載内容を確認してください。 ※1 申込講座・時間割の確認及び担当講師 ※2 充当科目コード 特に外国語科目、各種演習科目は注意（後掲 95 ページ参照）。
----------	--



⑦受講料の振込用紙発送	受講許可者には、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 発送予定日：10月21日（金） 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は会計課へ連絡してください。
-------------	--



許可講座の辞退	受講を許可された講座を受講しない場合（全講座、一部の講座とも）、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。 詳細は 100 ページ参照
---------	---



⑧受講料の納入	ポータルサイト（又はスクーリング受講資格審査結果）及び「振込用紙」に記載された事項を確認の上、受講料を下記の納入期限までに納入してください。 受講料納入期限：11月4日（金） 銀行窓口のみ ※当日取扱時間まで ※受講料（1 講座 10,000 円、情報概論は 13,000 円）
---------	--



⑨昼間・土曜スクーリング （後期）の手続完了	昼間・土曜スクーリング（後期）の手続は完了です。 領収書は、スクーリング受講中は必ず携行してください。
---------------------------	---

Ⅱ 講座の選定

1 受講講座の選定

① 受講対象者及び受講条件

昼間・土曜スクーリング（後期）の受講者は、以下の受講条件を必ず守り、申込みをしてください。

1 受講申込対象者 (申込時点において右記 の条件を満たすこと)	①年度授業料を納入していること、または所定の締切日までに納入することができること。 ②昼間・土曜スクーリング（後期）受講料を納入期日までに納入することができること。 ③昼間・土曜スクーリング（後期）の授業日程に出席できること。
--	---

2 受講講座数	【申込講座の上限】 14 講座まで 火曜日から土曜日までの各時限から1講座ずつ、最多で14講座まで申し込むことができます。 ※履修登録がされている科目のみ申し込みできます。
---------	--

3 受講制限	上記1, 2の条件を満たしていても、全ての講座を申し込めるわけではありません。下記の制限により申し込めない講座がありますので、項目を確認し、受講講座を選定してください。
--------	--

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

（1） 配当学年による受講制限

ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、他のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。また、記載がなくても、以下に該当する場合は、受講できません。

ア 過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 履修登録をしていない科目を充当科目とする1講座の受講

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

(5) 他のスクーリングとの日程重複による受講可能講座の制限について

昼間スクーリングの火曜日の講座を申し込む場合、地方スクーリングが月曜日に終了した後、東京に移動し昼間スクーリングに出席する必要があります。

同じく、昼間スクーリングの金曜日の講座を申し込む場合、授業終了後、地方スクーリング会場に移動しなければなりません。

遅刻しなければ出席できないなどは認められませんので、自己責任の元に判断し、申込みをしてください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成 23 年度に下表の「教職に関する科目」4 科目については、科目名称が変更となり、平成 23 年度 1 学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道德教育の研究	T21300	道德教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度		入学形態
	平成 23 年度		1 学年入学生
	平成 24 年度		1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 科目履修生
	平成 25 年度		1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 3 学年編入・再入学生 科目履修生
	平成 26 年度以降		全入学生

3 「英語」科目のレベル標記について

昼間・土曜スクーリングの「英語」では、受講講座選択の参考として、新たに授業内容のレベル（目安）を★で標記しています。受講講座の参考にしてください。

<レベル>★の数が増えるほど、難易度が上がります。

【☆☆☆】 ⇔ 【★★☆】 ⇔ 【★★★★】
基礎 中級 上級

※レベル標記はあくまで「目安」です。レベルの感じ方には、個人差があります。

また同一レベル標記でも講座により、難易度が多少異なる場合もあります。

必ずシラバス全体をよく読んだ上で、各自で判断してください。

※講座受講者の状況により、担当講師の判断で適宜調整を図りますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

時間割

開講講座表

受講及び試験

シラバスと使用教材
(火曜日)

（水曜日）

シラバスと使用教材
(木曜日)

シラバスと使用教材
(金曜日)

（土曜日）

受講手続

申込講座の
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

オープン受講

各種用紙

付録

1 時間割

時限	火曜日		水曜日	
	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
1 時限目 9:00 } 10:30	政治学	関根 二三夫	経済学	田村 和彦
	西洋史入門	高草木 邦人	商法Ⅱ	大久保 拓也
	経営学	山田 敏之		
2 時限目 10:40 } 12:10	文学	野口 恵子	総合科目Ⅰ～Ⅵ	鍋本 由徳
	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	中島 伸	英語 C	森 晴代
	民法Ⅰ	根本 晋一	憲法	名雪 健二
	英語学演習Ⅰ～Ⅲ	小澤 賢司	考古学入門	野中 和夫
	哲学基礎講読	瀧田 寧	東洋史特講Ⅰ	高綱 博文
	日本史入門	鍋本 由徳	広告論	雨宮 史卓
	中国経済論	斉 中凌		
	商学総論	佐藤 稔	卒業論文指導	田村 和彦
3 時限目 13:00 } 14:30	法学 A	根本 晋一	法学 B	武田 茂樹
	英語 A	アレックス ブラウン	心理学 A	野村 康治
	国際政治学／国際政治論／ 国際政治学概論	大八木 時広	英語 D	北原 安治
			政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	秋山 和宏
	英米文学概説	猪野 恵也	日本思想史Ⅰ	島田 健太郎
	マーケティング	佐藤 稔	国文学講義Ⅴ（近代）	永岡 健右
	金融論	谷川 孝美		
	卒業論文指導	近藤 健史		
	卒業論文指導	小澤 賢司		
4 時限目 14:40 } 16:10	哲学 A	江川 晃	歴史学 A	渡邊 浩史
	TOEIC A	八木 茂那子	心理学 B	野村 康治
	民法Ⅲ	根本 晋一	国文学基礎演習	木村 一
	国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	近藤 健史	国語学概論	保科 恵
	スピーチコミュニケーションⅡ	アレックス ブラウン	日本史概論／日本史概説	横山 則孝
	日本史特講Ⅰ	八馬 朱代		
	卒業論文指導	佐藤 稔		
	卒業論文指導	猪野 恵也		
5 時限目 16:20 } 17:50	英語 B	飯野 朝世	歴史学 B	堀井 弘一郎
	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉 明子	文化史	渡邊 浩史
	科学哲学	江川 晃	英語 E	石川 勝
	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高綱 博文		
	卒業論文指導	根本 晋一		
	卒業論文指導	中澤 瞳		

開講日程

後 期	9 / 27 ~ 1 / 25	補講予定日	12 / 19, 1 / 10, 1 / 23
-----	-----------------	-------	-------------------------

木曜日		金曜日		土曜日	
講座名	担当講師名	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
英語 F	鈴木 ふさ子	刑事訴訟法	船山 泰範	TOEIC B	町田 純子
行政学	関根 二三夫	東洋思想史 I	本間 直人	国文学基礎講義	木村 一
東洋史入門	綿貫 哲郎	経済地理学／経済地理	田村 和彦	簿記論 I	遠藤 洋介
情報概論 A	中村 典裕			生徒指導・進路指導論	古賀 徹
英語 G	岡田 善明	哲学 B	中澤 瞳	土曜スクーリング日程	
国文学演習 I～VI	近藤 健史	英語 H	福島 昇	授業時間 9:00～12:10 【後期】 10月 1日・15日・29日 11月 12日・19日・26日 12月 10日 1月 14日	
イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	フランス語 I・II	大庭 克夫		
経済学概論	藤本 訓利	史学概論	高綱 博文		
		西洋史特講 I	池本 今日子		
		商業史	横山 則孝		
卒業論文指導	関根 二三夫				
卒業論文指導	真野 一雄				
英文法	真野 一雄	英語 J	中村 則子		
東洋史概論／東洋史概説	菊池 敏夫	政治学原論	吉野 篤		
日本史演習 I・II	鍋本 由徳	西洋古典	福島 昇		
経済原論／経済学原論	藤本 訓利	アメリカ経済論	小林 通		
商業政策	雨宮 史卓	市場調査論	最上 健児		
教育の方法・技術論	古賀 徹				
英語基礎 A	小澤 賢司	社会学	服部 慶巨		
英米文学演習 I～III	猪野 恵也	英語基礎 B	中村 則子		
哲学演習 I・II	中澤 瞳	国文学概論	山崎 泉		
日本経済史	飯島 正義	宗教学概論	合田 秀行		
特殊講義	雨宮 史卓				
卒業論文指導	陸 亦群				
卒業論文指導	鍋本 由徳				
西洋思想史 II	中澤 瞳	英語 K	青木 克憲		
西洋史演習 I・II	藤井 信行	日本政治史	石川 徳幸		
国際経済論	陸 亦群	情報概論 B	一島 力男		
社会科・公民科教育法 II	古賀 徹				
卒業論文指導	高綱 博文				
卒業論文指導	雨宮 史卓				

2 卒業論文指導時間割

- ① 昼間・土曜スクーリング（後期）開講期間中、下表の時間帯で開講されます。
 なお、補講日及び試験期間中は開講しませんので注意してください。
- ② 実施場所等は、通信教育部1号館1階掲示板にてお知らせします。
- ③ 事前予約等は不要です。指導開始時間になりましたら、実施場所にて待機してください。
 ※開始時間に希望学生がいない場合には、指導を取止める場合がありますので、ご了承ください。
- ④ 以下の担当教員の「個別」、「専門」指導は、当該担当教員の指導分野に限っての指導となります。

時限	火曜日				水曜日		木曜日				金曜日	土曜日
1 時限目 9：00 ） 10：30												
2 時限目 10：40 ） 12：10					講師 田村 和彦 〔経済学科〕	講師 関根 二三夫 〔政治経済学科〕	講師 真野 一雄 〔英文学専攻〕					
					一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項					
					個別 経済地理学 地域経済	個別 政治学 行政学	個別 英語学					
					専門	専門	専門					
3 時限目 13：00 ） 14：30	講師 近藤 健史 〔国文学専攻〕	講師 小澤 賢司 〔英文学専攻〕										
	一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項										
	個別 日本古典文学	個別 英語学										
	専門 上代文学	専門										
4 時限目 14：40 ） 16：10	講師 佐藤 稔 〔商業学科〕	講師 猪野 恵也 〔英文学専攻〕					講師 鍋本 由徳 〔史学専攻〕	講師 陸 亦群 〔経済学科〕				
	一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項					一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項				
	個別 商業政策	個別 イギリス文学					個別 日本史 日本考古	個別 国際経済論 経済開発論				
	専門	専門					専門 指導担当学生のみ	専門				
5 時限目 16：20 ） 17：50	講師 根本 晋一 〔法律学科〕	講師 中澤 瞳 〔哲学専攻〕					講師 高綱 博文 〔史学専攻〕	講師 雨宮 史卓 〔商業学科〕				
	一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項					一般 卒論作成に関する 一般事項	一般 卒論作成に関する 一般事項				
	個別 民法	個別 哲学					個別 外国史	個別 マーケティング戦略、 広告戦略、消費者行動 など				
	専門	専門					専門 アジア近現代史	専門 グランド戦略、広告コ ミュニケーション など				

MEMO

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced across the entire page, which is otherwise blank.

1 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
5	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
6	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講を申込むことができます。	

2 開講講座表【曜日・時限順】

【火曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
1 時 限	AH11	政 治 学	関根 二三夫	B11700	政 治 学	1 年		
	AH12	西 洋 史 入 門	高草木 邦人	Q20300	西 洋 史 入 門	条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AH13	経 営 学	山田 敏之	S20200	経 営 学	条件 参照	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
2 時 限	AH21	文 学	野口 恵子	B11300	文 学	1 年		
	AH22	ド イ ツ 語 I ・ II	中島 伸	D10100	ド イ ツ 語 I	1 年	・ I ・ II のどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				D10200	ド イ ツ 語 II			
	AH23	民 法 I	根本 晋一	K20200	民 法 I	条件 参照	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）。	×
	AH24	英語学演習 I ～ III	小澤 賢司	N401S0	英語学演習 I	3 年	・英文学専攻のみ申込可 ・ I ～ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II			
				N403S0	英語学演習 III			
	AH25	哲 学 基 礎 講 読	瀧田 寧	P20100	哲学基礎講読	条件 参照	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）。	×
	AH26	日 本 史 入 門	鍋本 由徳	Q20100	日 本 史 入 門	条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AH27	中 国 経 済 論	斉 中凌	R313S0	中 国 経 済 論	2 年		
	AH28	商 学 総 論	佐藤 稔	S20100	商 学 総 論	条件 参照	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【火曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
3 時 限	AH31	法 学 A	根本 晋一	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)	1 年	・履修条件あり（シラバス参照）。	×
	AH32	英 語 A	アレックス ブラウン	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AH33	国 際 政 治 学 ／ 国 際 政 治 論 ／ 国 際 政 治 学 概 論	大八木 時広	L30200	国 際 政 治 学	2 年	・ 法・文理学部のみ申込可。	
				R32700	国 際 政 治 論	2 年	・ 経済学部のみ申込可。	
				S33200	国際政治学概論	2 年	・ 商学部のみ申込可。	
	AH34	英 米 文 学 概 説	猪野 恵也	N20300	英 米 文 学 概 説	条件 参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。 ・ 履修条件あり（シラバス参照）。	
	AH35	マ ー ケ テ ィ ン グ	佐藤 稔	S30500	マーケティング	2 年		
AH36	金 融 論	谷川 孝美	R31800	金 融 論	2 年	・ 履修条件あり（シラバス参照）。		
4 時 限	AH41	哲 学 A	江川 晃	B10700	哲 学	1 年		
	AH42	T O E I C A	八木 茂那子	C108S0	T O E I C	1 年		
	AH43	民 法 III	根本 晋一	K30200	民 法 III	2 年	・ 履修条件あり（シラバス参照）。	×
	AH44	国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	近藤 健史	M311S0	国文学特殊講義Ⅰ	2 年	・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				M312S0	国文学特殊講義Ⅱ			
	AH45	スピーチコミュニケーションⅡ	アレックス ブラウン	N31000	スピーチコミュニケーションⅡ	2 年		×
	AH46	日 本 史 特 講Ⅰ	八馬 朱代	Q30800	日 本 史 特 講Ⅰ	2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【火曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
5 時 限	AH51	英 語 B	飯野 朝世	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・履修条件あり（シラバス参照）。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AH52	中 国 語 I ・ II	稲葉 明子	F10100	中 国 語 I	1 年	・ I ・ II のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				F10200	中 国 語 II			
	AH53	科 学 哲 学	江川 晃	P31300	科 学 哲 学	2 年		
	AH54	東洋史演習 I ・ II	高綱 博文	Q403S0	東 洋 史 演 習 I	3 年	・ 史学専攻のみ申込可 ・ I ・ II のどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q404S0	東 洋 史 演 習 II			

【水曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
1 時 限	AJ11	経 済 学	田村 和彦	B11800	経 済 学	1 年	・ 履修条件あり（シラバス参照）。	
	AJ12	商 法 II	大久保 拓也	K30600	商 法 II	2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【水曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
2 時 限	AJ21	総 合 科 目 I ～ VI	鍋本 由徳	B101S0	総 合 科 目 I	1 年	・ I～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・ 履修条件あり（シラバス参照）。	
				B102S0	総 合 科 目 II			
				B103S0	総 合 科 目 III			
				B104S0	総 合 科 目 IV			
				B105S0	総 合 科 目 V			
				B106S0	総 合 科 目 VI			
	AJ22	英 語 C	森 晴代	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AJ23	憲 法	名雪 健二	K20100	憲 法	条件参照	・ 法学部のみ1 学年以上申込可。 ・ その他は2 学年以上申込可。	×
	AJ24	考 古 学 入 門	野中 和夫	Q20400	考 古 学 入 門	条件参照	・ 史学専攻のみ1 学年以上申込可。 ・ その他は2 学年以上申込可。	
	AJ25	東 洋 史 特 講 I	高綱 博文	Q31000	東 洋 史 特 講 I	2 年		
	AJ26	広 告 論	雨宮 史卓	S30900	広 告 論	2 年	・ 履修条件あり（シラバス参照）。	
3 時 限	AJ31	法 学 B	武田 茂樹	B11500	法 学 (日本国憲法2 単位を含む)	1 年		
	AJ32	心 理 学 A	野村 康治	B12100	心 理 学	1 年	・ 履修条件あり（シラバス参照）。	
	AJ33	英 語 D	北原 安治	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AJ34	政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	秋山 和宏	L311S0	政治学特殊講義Ⅰ	2 年	・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				L312S0	政治学特殊講義Ⅱ			
AJ35	日 本 思 想 史Ⅰ	島田 健太郎	P30800	日 本 思 想 史Ⅰ	2 年			
AJ36	国文学講義Ⅴ（近代）	永岡 健右	M30900	国 文 学 講 義Ⅴ （ 近 代 ）	2 年		×	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【水曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
4 時 限	AJ41	歴 史 学 A	渡邊 浩史	B11100	歴 史 学	1 年		
	AJ42	心 理 学 B	野村 康治	B12100	心 理 学	1 年	・履修条件あり（シラバス参照）。	
	AJ43	国 文 学 基 礎 演 習	木村 一	M317S0	国文学基礎演習	2 年	・国文学専攻のみ申込可	×
	AJ44	国 語 学 概 論	保科 恵	M20300	国 語 学 概 論	条件 参照	・国文学専攻のみ 1 学年以上 申込可。 ・その他は 2 学年以上申込可。	
	AJ45	日 本 史 概 論 ／ 日 本 史 概 説	横山 則孝	K32200	日 本 史 概 論	2 年	・法学部のみ申込可	
				Q30200	日 本 史 概 説	2 年	・文理・経済・商学部のみ申 込可	
5 時 限	AJ51	歴 史 学 B	堀井 弘一郎	B11100	歴 史 学	1 年		
	AJ52	文 化 史	渡邊 浩史	B11200	文 化 史	1 年		
	AJ53	英 語 E	石川 勝	C10100	英 語 I	1 年	・ I ～Ⅳのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			

【木曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
1 時 限	AK11	英 語 F	鈴木 ふさ子	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 Ⅱ			
				C10300	英 語 Ⅲ	2 年		
				C10400	英 語 Ⅳ			
	AK12	行 政 学	関根 二三夫	L30100	行 政 学	2 年		
	AK13	東 洋 史 入 門	綿貫 哲郎	Q202S0	東 洋 史 入 門	2 年		
	AK14	情 報 概 論 A	中村 典裕	R32300	情 報 概 論	2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【木曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
2 時 限	AK21	英 語 G	岡田 善明	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AK22	国文学演習Ⅰ～Ⅵ	近藤 健史	M404S0	国文学演習Ⅰ	3 年	・ 国文学専攻のみ申込可 ・ I～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				M405S0	国文学演習Ⅱ			
				M406S0	国文学演習Ⅲ			
				M407S0	国文学演習Ⅳ			
				M408S0	国文学演習Ⅴ			
				M409S0	国文学演習Ⅵ			
	AK23	イギリス文学史Ⅰ	鈴木 ふさ子	N20100	イギリス文学史Ⅰ	条件参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。 ・ 履修条件あり（シラバス参照）。	×
	AK24	経 済 学 概 論	藤本 訓利	R20300	経 済 学 概 論	条件参照	・ 経済学部のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	×
3 時 限	AK31	英 文 法	真野 一雄	N20200	英 文 法	条件参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ その他は2学年以上申込可。	
	AK32	東 洋 史 概 論／ 東 洋 史 概 説	菊池 敏夫	K32300	東 洋 史 概 論	2 年	・ 法学部のみ申込可	
				Q30300	東 洋 史 概 説	2 年	・ 文理・経済・商学部のみ申込可	
	AK33	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	鍋本 由徳	Q401S0	日本史演習Ⅰ	3 年	・ 史学専攻のみ申込可 ・ Ⅰ・Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q402S0	日本史演習Ⅱ			
	AK34	経 済 学 原 論／ 経 済 学 原 論	藤本 訓利	R20100	経 済 学 原 論	条件参照	・ 経済学部のみ1学年以上申込可。 ・ 文理・商学部は2学年以上申込可。	×
				L20200	経 済 学 原 論	条件参照	・ 法学部政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・ 法律学科は2学年以上申込可。	×
	AK35	商 業 政 策	雨宮 史卓	S31000	商 業 政 策	2 年		
AK36	教育の方法・技術論	古賀 徹	T21700	教育の方法・技術論	2 年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【木曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
4 時 限	AK41	英 語 基 礎 A	小澤 賢司	C10600	英 語 基 礎	1 年		
	AK42	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	猪野 恵也	N404S0	英米文学演習Ⅰ	3 年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ			
				N406S0	英米文学演習Ⅲ			
	AK43	哲 学 演 習 Ⅰ ・ Ⅱ	中澤 瞳	P401S0	哲 学 演 習 Ⅰ	3 年	・哲学専攻のみ申込可 ・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				P402S0	哲 学 演 習 Ⅱ			
5 時 限	AK44	日 本 経 済 史	飯島 正義	R30500	日 本 経 済 史	2 年	・履修条件あり（シラバス参照）。	
	AK45	特 殊 講 義	雨宮 史卓	S325S0	特 殊 講 義 (商 学 部)	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
	AK51	西 洋 思 想 史 Ⅱ	中澤 瞳	P30600	西 洋 思 想 史 Ⅱ	2 年		
	AK52	西 洋 史 演 習 Ⅰ ・ Ⅱ	藤井 信行	Q405S0	西 洋 史 演 習 Ⅰ	3 年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q406S0	西 洋 史 演 習 Ⅱ			
	AK53	国 際 経 済 論	陸 亦群	R31100	国 際 経 済 論	2 年		
	AK54	社会科・公民科教育法Ⅱ	古賀 徹	T20800	社会科・公民科教育法Ⅱ	2 年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・ 経済学部・商学部のみ申込可。	

【金曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
1 時 限	AL11	刑 事 訴 訟 法	船山 泰範	K31700	刑 事 訴 訟 法	2 年		×
	AL12	東 洋 思 想 史 Ⅰ	本間 直人	P20300	東 洋 思 想 史 Ⅰ	条件 参照	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。 ・履修条件あり（シラバス参照）。	
	AL13	経 済 地 理 学 ／ 経 済 地 理	田村 和彦	R32600	経 済 地 理 学	2 年		
				S32200	経 済 地 理	2 年	・法・文理・経済学部のみ申込可。 ・商学部のみ申込可。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【金曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受オー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
2 時 限	AL21	哲 学 B	中澤 瞳	B10700	哲 学	1 年		
	AL22	英 語 H	福島 昇	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AL23	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭 克夫	E10100	フ ラ ン ス 語 Ⅰ	1 年	・Ⅰ・Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・履修条件あり（シラバス参照）。	
				E10200	フ ラ ン ス 語 Ⅱ			
	AL24	史 学 概 論	高綱 博文	Q30100	史 学 概 論	2 年		
AL25	西 洋 史 特 講Ⅰ	池本 今日子	Q31200	西 洋 史 特 講Ⅰ	2 年			
AL26	商 業 史	横山 則孝	S32100	商 業 史	2 年			
3 時 限	AL31	英 語 J	中村 則子	C10100	英 語 I	1 年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III	2 年		
				C10400	英 語 IV			
	AL32	政 治 学 原 論	吉野 篤	L20100	政 治 学 原 論	条件参照	・政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AL33	西 洋 古 典	福島 昇	N308S0	西 洋 古 典	2 年		
	AL34	ア メ リ カ 経 済 論	小林 通	R312S0	ア メ リ カ 経 済 論	2 年		
	AL35	市 場 調 査 論	最上 健児	S317S0	市 場 調 査 論	2 年		
4 時 限	AL41	社 会 学	服部 慶亘	B11600	社 会 学	1 年		
	AL42	英 語 基 礎 B	中村 則子	C10600	英 語 基 礎	1 年	・英文学専攻は申込不可。	
	AL43	国 文 学 概 論	山崎 泉	M20200	国 文 学 概 論	条件参照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AL44	宗 教 学 概 論	合田 秀行	P30400	宗 教 学 概 論	2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【金曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
5 時 限	AL51	英 語 K	青木 克憲	C10100	英 語 I	1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
				C10200	英 語 Ⅱ			
				C10300	英 語 Ⅲ	2 年		
				C10400	英 語 Ⅳ			
	AL52	日 本 政 治 史	石川 徳幸	L30400	日 本 政 治 史	2 年		×
	AL53	情 報 概 論 B	一島 力男	R32300	情 報 概 論	2 年		

【土曜日】

時限	講 座 コード	開 講 講 座 名	担当講師名	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オープン 講
				科 目 コード	科 目 名	配当 学年	受 講 条 件	
1・2 時 限	AM11	T O E I C B	町田 純子	C108S0	T O E I C	1 年		
	AM12	国 文 学 基 礎 講 義	木村 一	M20100	国文学基礎講義	条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AM13	簿 記 論 I	遠藤 洋介	S20300	簿 記 論 I	条件 参照	・商学部のみ1学年以上申込 可。 ・その他は2学年以上申込可。	
	AM14	生徒指導・進路指導論	古賀 徹	T30500	生徒指導・進路指導論	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

1 講座受講時の注意点

①ポータルサイト及び 掲示板で最新情報の 確認	登校の際は、通信教育部 1 号館 1 階学生ホールにある掲示版で最新情報を確認してから講義に出席してください。 また、「講堂変更」・「休講」等、日々の授業に関する情報についても随時、ポータルサイトや掲示版でお知らせします。
②受講上の注意 (出席・欠席・遅刻等)	【出席について】 スクーリングは、毎回出席することを原則としています。 交通機関の遅れや特別な事情がある場合以外での遅刻はしないよう心掛けてください。 ※授業を途中から受講することは、担当教員や周りの受講者に対しても迷惑な行為です。時間に余裕を持って行動してください。 【欠席について】 止むを得ぬ事情によりスクーリングを欠席した場合は、次回出席時に直接、担当教員へ欠席した旨を伝えてください。 ※事務局及び講師室では、欠席の連絡は受け付けられません。
③受講上の注意 (休講・補講)	【休講について】 スクーリング期間中、担当教員の都合や天候により授業を休講する場合があります。 ① 事前に情報を得ている場合は、ポータルサイト及び掲示板にてお知らせします。 ② 当日、急きょ、担当教員の体調不良等の理由により休講する場合は、授業講堂において出席を取り、次回担当教員に出席していたことを伝えます。 (この場合は、掲示板には休講掲示を出しません。) ③ その他、天候により急きょ、休講となる場合はホームページ、ポータルサイトにてお知らせします。 【補講について】 スクーリング期間中に休講した場合、必ず補講を実施します。補講は、下記の①もしくは②の日程で実施します。 ① 補講日程に実施 12月19日(月)、1月10日(火)、1月23日(月) ② 学事日程上、空いている月曜日・土曜日に実施

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は、電源を切り、鞆等に収納し身体から離しておくこと。時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退場は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退場すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

2 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、教務課から平成 28 年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトまたは郵送にて通知します。

電話・郵便による問合せには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行えませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などはポータルサイトの単位修得状況確認で確認、又は「単位照合票」等の交付を受け、確認してください。

結果発表時期	平成 29 年 2 月中旬
--------	---------------

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、シラバスに記載されている開講単位数を修得したことになり、また同時にスクーリング単位も修得したことになります。

Ⅵ シラバスと使用教材

◆政治過程を基礎から学びましょう。

〔政治学〕

火曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：関根 二三夫

◆**学修到達目標** 基礎教育としての講義を行います。前期の講義を踏まえて、選挙や政党、圧力団体など、政策の立案や政策の決定に影響を及ぼす要因を基礎から学んでみたいと思います。この講義においては、政治が我々の生活に影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学修** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会における問題点を把握し、あるべき社会を考える必要があります。学修の準備として、メディアの情報に関心を持ち、テキストを熟読するなど、それぞれの単元について 2 時間程度の予習をし、また同様に 2 時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 選挙制度 ※原則や選挙権について説明します。	9 回目 わが国の圧力団体 ※特徴を中心に説明します。
2 回目 選挙区 ※画定や選挙区制について説明します。	10 回目 コミュニケーション ※機能、類型について説明します。
3 回目 代表選出の形態 ※少数、多数、比例代表などを説明します。	11 回目 コミュニケーション ※方向について説明します。
4 回目 政党 ※概念、特徴、発展過程を説明します。	12 回目 リーダーシップ ※リーダーの役割について説明します。
5 回目 政党 ※形態、機能を説明します。	13 回目 地方自治 ※わが国における沿革を中心に説明します。
6 回目 政党 ※問題点を説明します。	14 回目 政治と行政 ※二分論、連続論、関連論を説明します。
7 回目 圧力団体 ※概念、特徴を説明します。	15 回目 講義内容の総括
8 回目 圧力団体 ※活動、問題点を説明します。	

◆**教科書** 教材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）1,850 円（送料込）

※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。

◆**参考書** 丸沼『教養政治学』岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%

※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

◆「西洋の歴史学」を集めて、読んでみよう！

〔西洋史入門〕

火曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：高草木 邦人

◆**学修到達目標** 本講義は、西洋史を学ぶ上で必要とされている知識と技術の基礎を学習します。本講義の学習により、受講生は自立的に西洋史を研究するためのスタート地点に立つことができます。後期においては、文献の集め方、専門書・研究論文の読み方、外国語文献の収集・読解などについて学習します。なお、前期と後期は内容が異なりますので、半期のみの受講も可能ですが、学習効果をあげるためには、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆**授業方法** 本講義は、基本的に講義形式をとりますが、演習的な要素も盛り込んでいきます。具体的なこととしては、学生自身が研究文献や史料を講読すること、学習した内容に関して発表をおこなうことなどを予定しています。また、講義で学習したことを自分自身で実践するために、4回のレポートを課する予定です。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干修正することがあります。

◆**準備学修** 準備学習として、指定したテキストの授業に関連した箇所を熟読しておいてください。熟読すべき箇所については、授業中に適時指示します。なお、本講義の受講前までに高等学校の教科書を必ず読んでおいてください。本講義は古代史から近現代までを扱う通史ではないので、高等学校の世界史Aの教科書などを事前に読んで、歴史の知識を蓄えながら、世界史の大まかな流れを把握しておいて下さい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス	9 回目 註から論文を読む：実践編 その①
2 回目 文献を集める：概要編	10 回目 註から論文を読む：実践編 その②
3 回目 文献を集める：実践編	11 回目 註から論文を読む：学生による発表
4 回目 文献を集める：インターネットの利用	12 回目 外国語文献に触れる：概要編
5 回目 専門書を読む：概要編	13 回目 外国語文献に触れる：文献収集編
6 回目 専門書を読む：実践編	14 回目 外国語文献に触れる：読解編
7 回目 専門書を読む：学生による発表	15 回目 後期のまとめと確認
8 回目 註から論文を読む：概要編	

◆**教科書** 丸沼『私もできる西洋史研究—仮想大学に学ぶ』井上浩一 和泉出版 2012 年 1,944 円（税込）（送料 300 円）

〔当日資料配付〕当日にプリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『人文学への接近法—西洋史を学ぶ』服部良久ほか編 京都大学学術出版会 2010 年 2,160 円（税込）（送料 300 円）

『歴史研究と地域研究のはざま—フィリピン史で論文を書くとき』早瀬晋三 法政大学出版会 2004 年
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。〉

丸沼『歴史学と、出会う—41 人の読書経験から』歴史学研究会編 青木書店 2015 年 2,484 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、レポート（60%）、平常点（40%）です。レポートを4回ほど課する予定です。平常点は、授業中に配布するリアクション・ペーパー、学習内容に関する発表、そして授業態度などを参考に評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

◆経営学の基本を理論と事例で学ぶ

〔経営学〕

火曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：山田 敏之

◆**学修到達目標** 本講義では、現代企業の本質及び直面する問題を明らかにしつつ、経営学の基礎的な考え方について理解を深めることを目標とします。現実の企業行動を、経営学の理論によって説明できることが到達点となります。後期は経営組織、モチベーション、リーダーシップ、経営財務、企業の社会的責任といった問題を扱います。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**授業方法** 概ね指定したテキストに従い、黒板での板書を基本とした講義形式の授業を行います。具体的な企業経営のケース（事例）やグラフ等の関連資料については配布資料、パワーポイントを使用します。理論の説明とケース（事例）を組み合わせることで、より実践性の高い内容にしていきたいと思います。なお、講義の終了前に、その日の講義の内容あるいは企業経営に関する時事的な問題に関する小テストを毎回実施します。

◆**準備学修** 毎回の授業の課題に沿って指定したテキストの該当部分をあらかじめ読んでおいてください。授業計画で示された経営学の諸概念について、分からない言葉や用語等があれば事前に経営学辞典、経済学辞典あるいは参考書を用いて調べてください。経営学はきわめて現実性の高い学問領域ですので、日本経済新聞、日経産業新聞等の新聞や日経ビジネス、東洋経済、エコノミストといった経済雑誌にも絶えず目を通すようにしておいてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 インTRODakション	9 回目 リーダーシップの基礎的概念と資質理論
2 回目 組織の定義と伝統的な組織原則	10 回目 リーダーシップの行動理論
3 回目 組織構造Ⅰ：機能別組織と事業部制組織	11 回目 リーダーシップのコンティンジェンシー理論
4 回目 組織構造Ⅱ：マトリックス組織	12 回目 経営財務Ⅰ：財務諸表の見方と分析
5 回目 組織構造Ⅲ：カンパニー制と持株会社	13 回目 経営財務Ⅱ：損益分岐点分析
6 回目 モチベーションの定義と理論の概要	14 回目 企業の社会的責任
7 回目 モチベーションのコンテンツ理論	15 回目 まとめ
8 回目 モチベーションのプロセス理論：期待理論	

◆**教科書** 〔丸沼〕『経営学イノベーションⅠ 経営学入門 第2版』十川廣國 中央経済社 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 〔丸沼〕『人と組織を活かす経営管理論』青木幹喜編著 八千代出版 3,024 円（税込）（送料 300 円）
〔丸沼〕『経営学イノベーションⅢ 経営組織論 第2版』十川廣國編著 中央経済社 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 平常点（毎回の小テスト）（20%）、試験（80%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆異文化を理解する

〔文学〕

火曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：野口 恵子

◆**学修到達目標** 約 1300 年以上前に成立した『万葉集』を取り上げる。21 世紀の我々からすると異文化の世界であるが、そのような異なる世界との対話によって、我々の世界観はさらに広がるはずである。いかに違うのか、なぜそのような違いが生じるのか等を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 講義形式。板書はメモ程度しか行わないので、自分の「ノート」を作成することを求める。

◆**準備学修** 歌の内容については説明するが、口語訳は行わない。参考書にも目を通しておくこと。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 怨恨表現についての説明①	9 回目 宴席歌の機能についての説明①
2 回目 怨恨表現についての説明②	10 回目 宴席歌の機能についての説明②
3 回目 擲諭の表現についての説明①	11 回目 渡来人の歌についての説明
4 回目 擲諭の表現についての説明②	12 回目 額田王の歌についての説明
5 回目 「笑い」の表現についての説明①	13 回目 柿本人麿の歌に付いての説明
6 回目 「笑い」の表現についての説明②	14 回目 大伴坂上郎女の歌についての説明
7 回目 宴席歌の特徴についての説明①	15 回目 大伴家持の歌についての説明
8 回目 宴席歌の特徴についての説明②	

◆**教科書** 丸沼『訳文 万葉集』森淳司編 笠間書院 1,944 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 授業内で紹介する。

◆**成績評価基準** レポート試験（80%）平常点（20%）。毎回出席することを前提として評価する。なお、遅刻は認めない。

◆読むためのドイツ語を学びましょう

〔ドイツ語 I・II〕

火曜日 2 時限

開講単位：1 単位

担当者：中島 伸

◆**学修到達目標** 前期と同様に、ドイツ語文を読むために必要な文法事項と語順の習得、そして語彙力の強化を目標とします。後期は英語にも存在する話法の助動詞、現在完了形、受動態のような動詞を 2 つ使う構文（ドイツ語では枠構造と言います）を中心に扱うので、英語とドイツ語におけるこれら 3 つの構文の違いについて詳しく説明します。前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**授業方法** 前期と同様に、以下の授業計画で挙げられている文法事項の説明後、練習問題（文法と和訳）で定着させていきます。更に、スクーリング時に 2 回小テストを行い、間違った箇所と確認のために個別に解説を添えて答案を返却します。また、毎回ドイツ語会話表現をいくつか説明し、皆様がリラックスして学べる環境にしていきます。

◆**準備学修** 回を追うごとに説明する文法事項は既に習った文法事項の知識が無いと理解できませんので、既習の文法事項（前期に学んだ文法事項も含む）の復習をするようにして下さい。特に、動詞の現在人称変化と名詞の性、そして冠詞の格変化はほぼ全ての文法事項で必要な知識となります。冠詞の格変化を紙に書いて覚える等の自己学習をするようにして下さい。反復練習こそが言語習得への近道です。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 分離動詞	9 回目 受動態
2 回目 再帰代名詞と再帰動詞	10 回目 zu 不定詞
3 回目 動詞の三基本形・動詞の過去人称変化	11 回目 形容詞の比較級と最高級
4 回目 従属の接続詞	12 回目 現在分詞の用法
5 回目 現在完了形と過去完了形	13 回目 接続法の形式と人称変化
6 回目 非分離動詞	14 回目 接続法の用法
7 回目 定関係代名詞	15 回目 まとめ・試験
8 回目 不定関係代名詞	

◆**教科書** 丸沼『ハンサムドイツ』高橋泰雄・城間宏朋著 朝日出版社 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼 独和辞典が必要となります。

◆**成績評価基準** 平常点（20%）・小テスト（30%）・試験（50%）。毎回出席することを前提として評価します。なお、独和辞典は必ず持参のこと（独和辞典の忘れは欠席扱いとします）。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆民法総則（後半）

〔民法Ⅰ〕

火曜日2時限

オープン受講：不可

開講単位：2単位

担当者：根本 晋一

◆**学修到達目標** 民法学における民法総則の位置づけ、民法総則の意義と体系、主要な論点を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆**準備学修** 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してくること。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆**履修条件** 根本担当「民法Ⅰ」については、民法総則（前半）との積み重ねのみ可。ただし、（前半）を履修してから（後半）を履修すること。なお、他教員の「民法Ⅰ」との積み重ねは可。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 法律行為と意思表示①	9回目 法律行為の附款（条件と期限）・期間①
2回目 法律行為と意思表示②	10回目 法律行為の附款（条件と期限）・期間②
3回目 法律行為と意思表示③	11回目 時効①
4回目 法律行為と意思表示④	12回目 時効②
5回目 法律行為と意思表示⑤	13回目 時効③
6回目 法律行為と意思表示⑥	14回目 時効④
7回目 法律行為と意思表示⑦	15回目 総まとめ
8回目 法律行為と意思表示⑧	

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** **通材**『民法Ⅰ K20200』通信教育教材（教材コード000407）2,350円（送料込）

◆**成績評価基準** 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点80%、授業態度20%

◆5文型のその先に

【英語学演習Ⅰ～Ⅲ】

火曜日2時限

開講単位：1単位 担当者：小澤 賢司

◆**学修到達目標** 本授業では、専門的な英語を読みこなす力を身につけるとともに、「5文型」とその問題点、さらには、その後の研究において試みられた（ている）新文型の導入を概観し、英語学における研究過程を追体験することを目標としています。今期は主に「5文型」の発展型である「7文型」と「8文型」を見ていきます。本授業最後では、文型の意義や学校教育（現場）における文法の扱いについても考察する予定です。
【本授業は、昼間（前期）開講の「英語学演習－5文型を知る－」と併せて受講することが望ましい】

◆**授業方法** 輪読形式でテキスト（プリント）を読み進めていきます。受講者の方に（こちらが指名して）音読・和訳をしてもらいます。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでの「目安」とお考えください。

◆**準備学修** 「徹底した」予習と「飽きるほどの」復習をお願いします。
(a)音読 本授業において、極めて重要な予習項目となります。
(b)内容理解及び和訳 きれいな和訳にすることも重要ですが、それよりもそこに書かれている内容がしっかりと把握・理解できているかを重視してください。
(c)文法・文構造の理解 文法的、ないしは文構造的に不明な箇所はチェックしておいてください。
(d)復習 未知の内容は飽きるまで復習してください（それが血（智）となり、肉となります）。もちろん、既知の内容であっても復習は重要です。

◆授業計画（各90分）

1回目 ガイダンス プリント配布。品詞と文の成分の確認	9回目 安藤貞雄を読む
2回目 品詞と文の成分の再確認。 「5文型」の確認	10回目 安藤貞雄を読む
3回目 「5文型」の問題点の確認 Quirk et al.を読む	11回目 安藤貞雄を読む
4回目 Quirk et al.を読む	12回目 「5文型」vs.「7文型」vs.「8文型」
5回目 Quirk et al.を読む	13回目 「5文型」をどうする。 学校教育には不要？それとも必要？
6回目 Quirk et al.を読む	14回目 これまでの復習
7回目 Quirk et al.を読む	15回目 テスト
8回目 Quirk et al.を読む	

◆**教科書** **【当日資料配付】** 適時プリントを配布します。
※英和辞典は必ず持参してください。

◆**参考書** 適時プリントを配布します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況・発表など）、及びテストにより総合的に評価します。

◆西洋近代の人間観や思考方法を学びながら、哲学することの意義を考える〔哲学基礎講読〕

火曜日 2 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：瀧田 寧

◆**学修到達目標** 前期に引き続き、17 世紀以降の西洋で発展した考え方の前提となる人間観や思考方法を学ぶ。

本講義では、17 世紀フランスでデカルトやパスカルの影響下に誕生した『論理学、別名思考の技法』（以下『思考の技法』）を読みながら、そこに見いだされる人間観や思考方法を考察し、それを自分なりに説明できるようになることを目標とする。

本講義は『方法序説』を既に読解していることを前提に進めるので、前期も受講することが望ましい。

◆**授業方法** 講義形式で進めるが、講読の授業なので、まずは皆さんにテキストを順番に読んでいただく。

但し、テキストは一読して直ちに理解できるものではないので、講師の方でも同じ文章を繰り返し読みながら解説を加える。

また、講義後は毎回「コメント」を書いていただく（1～3、14、15 回目は除く）。

なお、講義形式なので、質問や意見等は授業後に受けるが、特に重要だと判断した講義後の「コメント」は、授業の中で紹介することもある。

◆**準備学修** 『思考の技法』については、テキストに収録されている解説部分を、よく読んでおきましょう。

また、本書の著者たちが影響を受けているデカルトの哲学やパスカルの思想を、理解しておくことも重要です。

なお、本科目は、哲学科以外の学生でも、下記①～③の意識を持つ人には馴染みややすいようです。

- ① 異なる時代の価値観にも寛容でいられる。
- ② すぐに答えを欲しがらない。
- ③ 自分の日常を少し掘り下げた視点から見直してみたい。

◆**履修条件** 平成 27 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「哲学基礎講読」との積み重ね不可。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 本講義の方法・計画等の説明	9 回目 『思考の技法』第 1 部(4)
2 回目 17 世紀後半の西洋思想の流れを概観する	10 回目 『思考の技法』第 4 部(1)
3 回目 『思考の技法』の概略説明	11 回目 『思考の技法』第 4 部(2)
4 回目 『思考の技法』の第一序説～前文(1)	12 回目 『思考の技法』第 4 部(3)
5 回目 『思考の技法』の第一序説～前文(2)	13 回目 『思考の技法』第 4 部(4)
6 回目 『思考の技法』第 1 部(1)	14 回目 『思考の技法』以後の展開
7 回目 『思考の技法』第 1 部(2)	15 回目 まとめ
8 回目 『思考の技法』第 1 部(3)	

◆**教科書** **通材** 『哲学基礎講読 P20100』 通信教育教材（教材コード 000042）3,700 円（送料込）

◆**参考書** 授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 毎回（但し 1～3、14、15 回目は除く）の講義終了後に書いていただく「コメント」（50%）、試験（50%）

◆日本近世・近代の学修法

〔日本史入門〕

火曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 本科目は日本史研究のための基礎科目です。「入門＝簡単」との意味ではありません。日本近世史・近代（明治）史に関する基本史料、学修・研究方法の基礎知識を増やし、身につけていくことを目的とします。後期のみを受講も可能です。なお、前期「日本史入門」を受講しているとより効果が高まります。

◆**授業方法** 原則として講義形式です。教科書は使いませんので、講義用プリントを中心に、スクリーンを併用しながら要点を説明します。

◆**準備学修** 事前に次回のプリントを配布しますので、それに目を通し、紹介されている書籍やインターネットサイトについて確認しておくといでしょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 日本史と時代区分	9 回目 随筆と歴史学との関係
2 回目 日本史（近世・近代）の基本概説書	10 回目 日本史の基礎知識（時制や度量衡）
3 回目 日本史（近世・近代）の基本研究文献	11 回目 日本史の基礎知識（政治制度）
4 回目 さまざまな歴史資料とその特徴	12 回目 史料保存機関と近世・近代史料
5 回目 近世（織豊～維新）の流れを知る	13 回目 史料を読み解く（国内史料）
6 回目 日本近世史の基礎史料（幕府系）	14 回目 史料を読み解く（対外史料）
7 回目 日本近世史の基礎史料（その他）	15 回目 日本近世・近代史の学修と研究
8 回目 東京大学史料編纂所の史料	

◆**教科書** 〔当日資料配付〕参考プリントを随時配布します。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全回出席を前提とした評価です。

◆中国経済制度の変遷を学びましょう

〔中国経済論〕

火曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：斉 中凌

◆**学修到達目標** 日本と中国の経済関係はこの 30 年間で大きく拡大したが、一方で近年は政治的な緊張関係も強まっている。我々は、中国という国の仕組みや経済建設の経緯が日本と大きく異なることを認識した上で、現在起きている事象の本質を理解し、直面する事態と向き合っていかなければならない。この講義では、中国経済制度の変遷について基礎となる知識を習得し、中国経済に対する理解を深めることを目指す。

◆**授業方法** 講義は、配布資料とパワーポイントに沿って進める。授業時間内に、出欠を兼ねて、筆記課題やクイズへの回答を提出してもらうこともある。中国を身近に感じられるように、可能な限り写真や映像なども取り入れて講義を進めたいと考えている。また、足下の中国の経済・社会動向や世界経済・国際金融情勢との関係など時事問題についても、講義の中で解説を加える。

◆**準備学修** テキストの第 1 部と第 4 部を予習していただきたい。なお、中国は変化のペースが非常に速いため、参考資料などは授業中に適宜紹介する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 講義内容の概観	9 回目 市場経済への本格的移行(2)
2 回目 中国経済の新しい動向	10 回目 WTO 加盟とその意義
3 回目 新中国の経済史(1) 1950 年代	11 回目 2000 年代の経済高度成長
4 回目 新中国の経済史(2) 1960 年代	12 回目 中国大陆と香港の経済関係
5 回目 新中国の経済史(3) 1970 年代	13 回目 中国大陆とマカオの経済関係
6 回目 1980 年代の改革開放政策(1)	14 回目 中国大陆と台湾の経済関係
7 回目 1980 年代の改革開放政策(2)	15 回目 後期のまとめ
8 回目 市場経済への本格的移行(1)	

◆**教科書** 〔丸沼〕『現代中国経済論』加藤弘之・上原一慶 ミネルヴァ書房 2011 年 4 月 3,456 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業中の質疑応答、出席、期末テストの成績を総合して評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商学の体系について学ぶ

〔商学総論〕

火曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：佐藤 稔

◆学修到達目標 商学、商品流通の問題が経済学の研究上重要な地位を占めるに至った社会的意義、流通経済における方向性、商品流通のあり方について理解することを目標とする。

◆授業方法 テキスト及び資料の配布に基づく講義形式。

◆準備学修 テキストを熟読しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 商業概念の多様性	9 回目 小売業の商圈設定
2 回目 商業の関連用語	10 回目 小売業の業態－百貨店、スーパー
3 回目 諸外国の商業研究の流れ	11 回目 小売業の業態－クレジット販売、コンビニ、専門店
4 回目 流通機能の意義と形態	12 回目 小売業のチェーン化の意義と形態
5 回目 卸売業の意義、形態、構造	13 回目 小売業のチェーン化－ボランティアチェーン、フランチャイズチェーン
6 回目 商品・証券取引所の変遷	14 回目 小売業の共同化・協業化－ショッピングセンター
7 回目 商社の意義、形態、役割	15 回目 小売業の共同化・協業化－商店街、生協
8 回目 小売業の役割、構造	

◆教科書 **【教材】**『商学総論 S20100』 通信教育教材（教材コード 000356）3,300 円（送料込）
【当日資料配付】 当日にプリントを配布。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への参加及び最終試験による総合的評価。

◆法学（後半）

〔法学 A〕

火曜日 3 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 大学に学び、学士の称号を取得する者に相応しい法的教養の涵養をめざす。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してくる。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきいただきたい。

◆履修条件 根本担当「法学」については、法学（前半）との積み重ねのみ可。ただし、（前半）を履修してから（後半）を履修すること。なお、他教員の「法学」との積み重ねは可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 国家と法（公法・最高法規としての“憲法”）①	9 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）⑥
2 回目 国家と法（公法・最高法規としての“憲法”）②	10 回目 犯罪と法（公法・犯罪と刑罰に関する法としての“刑法”）①
3 回目 国家と法（公法・最高法規としての“憲法”）③	11 回目 犯罪と法（公法・犯罪と刑罰に関する法としての“刑法”）②
4 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）①	12 回目 犯罪と法（公法・犯罪と刑罰に関する法としての“刑法”）③
5 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）②	13 回目 裁判と法（公法・裁判のプロセスを規律する“訴訟法”）①
6 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）③	14 回目 裁判と法（公法・裁判のプロセスを規律する“訴訟法”）②
7 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）④	15 回目 総まとめ
8 回目 財産関係と法（私法・財産法としての“民法”と“商法”）、家族関係と法（私法・身分関係・相続関係を規律する法としての“民法”）⑤	

◆教科書 指定しない。

◆参考書 **【教材】**『法学 B11500』 通信教育教材（教材コード 000515）3,100 円（送料込）

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度 20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ English Communication Skills

★★★〔英語 A〕

火曜日 3 時限

オープン受講：不可

開講単位：1 単位

担当者：アレックス ブラウン

◆**学修到達目標** In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie; Rush, starring Chris Hemsworth and Daniel Bruhl.

◆**授業方法** We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆**準備学修** Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆**履修条件** This course is open to all students.

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study	9 回目	7&8 Continued
2 回目	Scenes 1&2 comprehension questions and role play	10 回目	Scenes 9&10 vocab.comprehension questions and role play
3 回目	Scene 3&4 vocabulary study	11 回目	9&10 Continued
4 回目	Scenes 3&4 comprehension questions and role play	12 回目	9&10 Continued
5 回目	Movie viewing Scenes 5&6 vocabulary study	13 回目	Vocabulary quiz #2
6 回目	Comprehension questions and role play	14 回目	Review for Final
7 回目	Vocabulary quiz	15 回目	Final Test
8 回目	Scenes 7&8 vocab.comprehension questions and role play		

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook, a dictionary and a folder for notes.

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, class activities, participation and a final exam.

◆ 国際政治理論，地域を学ぶ〔国際政治学／国際政治論／国際政治学概論〕

火曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：大八木 時広

◆**学修到達目標** 国際政治学の主な理論についての知識を身につけ、理論的に現在世界を理解する基礎を身につける。ヨーロッパについて、統合がどのようなものか、制度と政策の両面から理解する。アジアについて民主化の視点から理解する。

◆**授業方法** 講義形式で行なう。テキストの記述・図表を参照しつつ、講義を進める。必要に応じて授業プリントを配布し、補足資料として用いる。

◆**準備学修** 講義前にテキストの該当部分などを読み、予備知識を身につけておくことが望ましい。その際、疑問点や不明な点をあらかじめピックアップしておくことが望ましい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目	国際政治理論の入門	9 回目	地域研究(1) ～ヨーロッパ統合の開始～
2 回目	理論(1) ～古典的リアリズム	10 回目	地域研究(2) ～EU の制度と政策～
3 回目	理論(2) ～モーゲンソーのリアリズム～	11 回目	地域研究(3) ～アジアの民主化①～
4 回目	理論(3) ～リベラリズム理論～	12 回目	地域研究(4) ～アジアの民主化②～
5 回目	理論(4) ～相互依存論と国際レジーム論～	13 回目	地域研究(5) ～アジアの地域協力～
6 回目	理論(5) ～ウォルツのネオリアリズム理論～	14 回目	グローバルな争点(1) ～地球環境問題～
7 回目	理論(6) ～ネオリアリズム理論の新展開～	15 回目	グローバルな争点(2) ～軍縮・軍備管理～
8 回目	理論(7) ～民主主義による平和論～		

◆**教科書** **通材**『国際政治学 L30200／国際政治論 R32700／国際政治学概論 S33200』通信教育教材（教材コード 000501）2,900 円（送料込）

〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ 国際関係論』佐渡友哲・信夫隆司共著（弘文堂）と同一です〉

◆**参考書** 使用しない。

◆**成績評価基準** 平常点（20%）レポート（20%）試験（60%）。毎回出席が前提となります。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学の特質を知る

〔英米文学概説〕

火曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：猪野 恵也

◆学修到達目標 作家や作品の特質、著名な英米文学者の名前などアメリカ文学の概観を知る。

◆授業方法 レジュメを配布しそれらを読み上げていく。

◆準備学修 アメリカ文学史の本を読んでおいて欲しい。

◆履修条件 平成28年度メディア授業（後期）「英米文学概説」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 アメリカ文化・文学の特徴と植民地時代の文学	9回目 シカゴ・ルネッサンス
2回目 独立戦争前後・アメリカ文学の曙	10回目 南部・中西部・西部の作家たち
3回目 アメリカ・ルネッサンス	11回目 「失われた世代」(つづき)
4回目 放浪の精神・国際感覚	12回目 第二次大戦後の多様化
5回目 リアリズムの台頭・地方の作家達	13回目 まとめ
6回目 社会問題と文学 地方の文学から自然主義の文学へ	14回目 まとめ
7回目 自然主義の小説とアメリカ的誠実	15回目 試験
8回目 大衆文化とモダニズム	

◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリント配布。

◆参考書 授業中指示する。

◆成績評価基準 授業への取り組み・テストにより総合的に評価します。

◆現代マーケティングの構成

〔マーケティング〕

火曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：佐藤 稔

◆学修到達目標 現代マーケティングは製造業者の視点から一般的に論じられているが、本講義では流通機関のマーケティングについてもその意義を理解することが重要であると考え、現代マーケティングの構成について理解することを目標とする。

◆授業方法 テキスト及び配布資料に基づく講義形式。

◆準備学修 テキストを熟読しておくこと。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 マーケティングとは何か	9回目 価格決定の諸方式
2回目 マーケティングの史的展開	10回目 割引政策と地域別価格
3回目 マーケティング研究の方法的展開	11回目 販売経路の形態と経路策
4回目 マーケティングの諸手段	12回目 販売経路の管理と逆流通経路
5回目 マーケティングを取り巻く諸環境	13回目 プロモーションー広告
6回目 マーケティング戦略の意義	14回目 プロモーションー販売員、販売促進
7回目 マーケティング理念の変遷	15回目 物流管理
8回目 価格政策の意義と目標	

◆教科書 〔通材〕『マーケティング S30500』通信教育教材（教材コード000182）2,250円（送料込）
〔当日資料配付〕当日にプリントを配布。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 授業への参加及び最終試験による総合的評価。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆金融政策の基礎を学ぶ

〔金融論〕

火曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：谷川 孝美

◆**学修到達目標** この講義では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能や役割を含めて、現在行われている異次元の金融緩和などの金融政策がどのようなものなのか、また、その理論的な背景にはどのようなものがあるのかなどを理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。なお、前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によっては授業計画が前後することもあります。なお、貨幣の定義や金利などは取り扱いませんので、前期、および東京スクーリング（5月期）を履修しておくことがのぞましいでしょう。また、夏期スクーリング受講者は同一内容となるので受講不可とします。

◆**準備学修** 金融政策の影響などを理解するためには、マクロ経済学の基礎が重要になります。事前準備として確認をしておくとい良いでしょう。また、理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスについて、参考書などで予習をしておくとい良いでしょう。

◆**履修条件** 平成 28 年度夏期スクーリング「金融論」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 伝統的な金融政策
2 回目 さまざまな金融市場	10 回目 現在の金融政策と金融調節
3 回目 直接金融、間接金融、市場型間接金融	11 回目 非伝統的金融政策
4 回目 銀行の機能と役割	12 回目 異次元の金融緩和政策（量的・質的金融緩和）
5 回目 中央銀行とは何か	13 回目 金融政策の理論、貨幣数量説
6 回目 日本銀行の機能と業務—発券銀行	14 回目 金融政策の理論、IS—LM 分析
7 回目 日本銀行の機能と業務—銀行の銀行	15 回目 まとめ 試験
8 回目 日本銀行の機能と業務—政府の銀行	

◆**教科書** 教科書は使用しない。
〔当日資料配付〕 当日プリント配布。

◆**参考書** 〔丸沼〕『はじめて学ぶ金融のしくみ』 家森信善 中央経済社 2,592 円（税込）（送料 300 円）
〔丸沼〕『現代の金融入門【新版】』 池尾和人 筑摩書房 928 円（税込）（送料 215 円）
〔丸沼〕『日本銀行の機能と業務』 日本銀行金融研究所編 有斐閣 2,592 円（税込）（送料 300 円）
（日本銀行のホームページ <http://www.imes.boj.or.jp/japanese/pf.html> に同じものがあります）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、レポートや課題の提出、平常点などにより総合的に評価します。

◆科学技術の時代を生きるための哲学

〔哲学 A〕

火曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：江川 晃

◆**学修到達目標** 情報科学、生命科学、そして脳科学が目覚ましく発展し、その様子がマスコミ等で紹介されています。私たちがこのような現代を自律的に生きていくには、これらの科学技術から生じる問題に振り回されずに、深く考えていく力、哲学力を鍛える必要があります。

◆**授業方法** 講義形式で、教科書と配布プリントを中心に、パワーポイント、DVD や板書にて行う。授業終りに感想、質問等を書いていただき、次回はコメントし、対話・討論しましょう。

◆**準備学修** 教科書等を書いてあることを覚えるのではなく、考えたことを書く習慣を意識しよう。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 哲学とは（語源・歴史）	9 回目 ウィトゲンシュタインの哲学
2 回目 キルケゴールの実存主義	10 回目 論理実証主義
3 回目 実存の三段階	11 回目 言語行為論
4 回目 パースの探究の理論	12 回目 心の哲学
5 回目 信念を固める方法	13 回目 心脳同一説
6 回目 パースの記号論	14 回目 ロボットの心
7 回目 TV 記号論	15 回目 まとめ・試験
8 回目 ヴァーチャル・リアリティーの哲学	

◆**教科書** **通材**『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,350 円（送料込）
 〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』 嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です〉
当日資料配付 プリント配布。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 課題（20%）、試験（80%）、毎回出席を前提として総合的に評価します。

◆目標に向かってみんなで一緒にトレーニングしましょう 【TOEIC A】

火曜日 4 時限

開講単位：1 単位

担当者：八木 茂那子

◆**学修到達目標** 本講座は入学して初めて TOEIC Test を受検しようとしている人、あるいは 1, 2 度受けたことがあり、更にスコアアップを目指そうとする人など主に入門レベルにある人を対象とし、TOEIC テスト 500 点突破を目標に効果的な英語学習をするための基本的トレーニング方法を体得することと学習の習慣化を確立することを目標とします。後期のみ受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**授業方法** 授業では 1 UNIT を 2 回に分け、Listening Part, と Reading Part の演習を交互に行い、Listening, Speaking, Reading, Writing の four skills を満遍なく取り込みながら楽しくトレーニングしていく予定です。受講者のレベルや理解度、進度に応じ授業内容を変更する場合があります。

◆**準備学修** 家庭学習として指定された問題を時間を計って 2 回解いて来る事；1 回目は時間を計り、参照物なしで、2 回目はペンの色を変え、オープンブック（辞書、文法書、など参照物を参照しながら、解いてきて下さい。授業中に 3 回目を解くこととなります。（このように同じ問題を繰り返し解くことにより、学習内容の定着を図ります。）

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス 学習目標設定 Post -test	9 回目 Unit 10 意見一分詞構文 (1) Listening Practice
2 回目 Unit 7 苦情—接続詞 (1) Listening Practice	10 回目 Unit 10 意見一分詞構文 (2) Reading Practice
3 回目 Unit 7 苦情—接続詞 (2) Reading Practice	11 回目 Unit 11 意見の一致・不一致—仮定法 (1) Listening Practice
4 回目 Unit 8 交通情報— スキミング (1) Listening Practice	12 回目 Unit 11 意見の一致・不一致—仮定法 (2) Reading Practice
5 回目 Unit 8 交通情報— スキミング (2) Reading Practice	13 回目 Unit 12 会議—スキミング (1) Listening Practice
6 回目 Unit 9 Yes/No で答える質問—関係詞 (1) Listening Practice	14 回目 Unit 12 会議—スキミング (2) Reading Practice
7 回目 Unit 9 Yes/No で答える質問—関係詞 (2) Reading Practice	15 回目 まとめ
8 回目 Review test	

◆**教科書** 丸沼『The TOEIC test Trainer Target 650』 山口昌彦・松浦浩子・M.H.Maesaka・G.W.Pifer セン
ゲージ ラーニング(株) 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『TOEIC 新公式問題集 Vol.6』 TOEIC 運営委員会 3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 筆記試験 50%+平常点（提出物、小テスト、発表、Oral Test 他）50%による総合評価（受講者のレベルにより調整を加えることがあります。）

◆債権総論（後半） 〔民法Ⅲ〕

火曜日 4 時限 オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：根本 晋一

◆学修到達目標 民法学における債権法と債権総論の位置づけ、債権総論の意義と体系、主要な論点を理解することを目標とする。

◆授業方法 1 受講者数が多いので、担当教員がイニシアチブをとる講義形式を採用する。
2 法改正や新判例の追加等により、シラバス（授業計画）どおりに進まないことがあり得る。

◆準備学修 前回講義時における板書事項を、しっかりと読み直してくる。なお、本講義は板書事項が多いことを、ご承知おきたい。

◆履修条件 根本担当「民法Ⅲ」については、債権総論（前半）との積み重ねのみ可。ただし、（前半）を履修してから（後半）を履修すること。なお、他教員の「民法Ⅲ」との積み重ねは可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目（前期の続き）債権の効力③	9 回目 多数当事者の債権債務関係①
2 回目 債権の効力④	10 回目 多数当事者の債権債務関係②
3 回目 債権の効力⑤	11 回目 多数当事者の債権債務関係③
4 回目 債権の効力⑥	12 回目 債権の消滅①
5 回目 債権譲渡①	13 回目 債権の消滅②
6 回目 債権譲渡②	14 回目 債権の消滅③
7 回目 債権譲渡③	15 回目 総まとめ
8 回目 債権譲渡④	

◆教科書 指定しない。

◆参考書 **【教材】**『民法Ⅲ K30200』 通信教育教材（教材コード 000354）2,650 円（送料込）

◆成績評価基準 全回出席を原則として、筆記試験または本講義終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度 20%

◆越境する宮澤賢治 〔国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕

火曜日 4 時限 開講単位：2 単位 担当者：近藤 健史

◆学修到達目標 文学は、時空を越えて翻訳・翻案され、変容してグローバル文化を成す。その遂行と過程を宮澤賢治を取りあげて学ぶ。グローバル人材・市民に求められる異文化コミュニケーション能力の理解と養成に繋げて欲しい。

◆授業方法 講義形式だが、グループで調査して話し合い、まとめた結果を報告してもらう。

◆準備学修 賢治作品の翻訳状況について、インターネットなどで調べておいて欲しい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 授業計画の説明	9 回目 北京・上海に渡った賢治（映画）
2 回目 調査の分担	10 回目 韓国に渡った賢治
3 回目 翻訳状況	11 回目 グローバルな賢治（学生の報告）
4 回目 南洋諸島と賢治（手紙）	12 回目 グローバルな賢治（学生の報告）
5 回目 南洋諸島と賢治（作品）	13 回目 グローバルな賢治（学生の報告）
6 回目 満洲に渡った賢治（作品）	14 回目 グローバルな賢治（学生の報告）
7 回目 満洲に渡った賢治（映画）	15 回目 まとめ
8 回目 北京・上海に渡った賢治（作品）	

◆教科書 **【当日資料配付】** 授業内にプリントを配布する。

◆参考書 **【丸沼】**『宮澤賢治イーハトーヴ学事典』 弘文堂 15,120 円（税込）

◆成績評価基準 レポート試験 80%、平常点 20%

◆ Speech Communication II 【スピーチコミュニケーションⅡ】

火曜日 4 時限 オープン受講：不可 開講単位：1 単位 担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.

◆授業方法 This course will be based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities which incorporate the language covered in the section such as group tasks or role plays.

◆準備学修 There are no prerequisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆履修条件 The course is open to all students.

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	Introductions and Classroom Language.	9 回目	Group presentations.
2 回目	Orientation, Introductions/Icebreakers.	10 回目	Topic Review. Introduce Topic 5
3 回目	Topic 1: relevant vocabulary; language structures; tasks and role-plays.	11 回目	Topic 5: work through the assigned activities.
4 回目	Topic 1 and 2 vocab, structures, activities,	12 回目	Topic 6: language structures and task orientated activities.
5 回目	Topic 2: group activities; tasks and role-plays.	13 回目	Complete Topic activities; tasks and role-plays.
6 回目	Topic 3: language structures group activities;	14 回目	Preparation for tests
7 回目	Topic 3 and 4 vocab, structures and grammar points	15 回目	Written and oral tests (group format).
8 回目	prepare content for a group presentation.		

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.

◆平安時代の神祇信仰について 【日本史特講Ⅰ】

火曜日 4 時限 開講単位：2 単位 担当者：八馬 朱代

◆学修到達目標 9～10 世紀における天皇・貴族の神祇信仰について、石清水八幡宮を中心に考察し、政治と宗教との関わりについて説明していく。八幡神は古代・中世にかけて伊勢神宮と並び「宗廟」と称され、天皇・貴族・武士の人々に信仰された神社である。日本固有の神祇信仰が平安時代において、どのような役割を果たし、崇敬されたのかについて解説していく。平安時代の国家と神祇信仰の関係について説明できることを目標とする。後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 配布したプリントを使用して講義を行います。適宜、授業内で史料を読むので、史料の読み方を学んでもらいたい。また、授業で参考文献や史料を紹介するので、各自、図書館で手にとってみるように心がけてください。

◆準備学修 『日本の歴史』や『日本の時代史』など概説書を事前に読んで、平安時代の政治情勢や人物について理解を深めておくようにしてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	石清水八幡宮八幡宮の創立(1)	9 回目	神社行幸(1)一条天皇
2 回目	石清水八幡宮八幡宮の創立(2)	10 回目	神社行幸(2)後一条天皇
3 回目	神祇制度の変質－臨時奉幣の拡大－	11 回目	藤原氏の神祇信仰
4 回目	神祇制度の変質－特定神社の成立－	12 回目	女院の石清水・住吉・四天王寺行啓
5 回目	御霊信仰について	13 回目	白河天皇の即位について
6 回目	承平・天慶の乱と石清水八幡宮	14 回目	白河天皇（法皇）の八幡信仰について
7 回目	10 世紀後期の皇位継承について	15 回目	まとめ
8 回目	円融天皇の八幡信仰		

◆教科書 〔当日資料配付〕当日、プリントを配布します。

◆参考書 授業中、適宜紹介します。

◆成績評価基準 最終試験 70% 平常点・小テスト 30% ※毎回出席することを前提として、総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆世界の友だち、その2

★★☆〔英語 B〕

火曜日5時限

開講単位：1単位 担当者：飯野 朝世

- ◆**学修到達目標** ①英語を話す国々のトピックに興味をもち、リーディングを通して意味を理解できるようになる。
②発信型アクティビティに参加し、英文を自然な抑揚とスピードで読むことができ、積極的に発言できる。

- ◆**授業方法** 前期の続き（Unit 8）から、各ユニットを2回に亘って学修を進めます。各一回目はテキスト課題と、英語字幕スクリプトのリーディング練習や、聞き取りテストをします。スクリプトリーディングでは Q&A により内容理解を促します。各二回目は DVD を用いてスクリーン字幕を同スピードで読むミニテストを行います。

- ◆**準備学修** ①授業前に必ず Self-Study 用の DVD を何度も見て、英語の音や抑揚に慣れておいて下さい。
②授業中は作業に集中できるよう、わからない単語や表現を前もって調べておいてください。

- ◆**履修条件** ①授業初日のガイダンスに必ず出席する。②最後まで授業に参加する。
（欠席が多い場合や、受験を目的とした場合には、上記目標は習得しにくいと思われます。）

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 Unit 11 Wales (Documentary)
2 回目 Unit 8 South Africa (Introduction)	10 回目 Unit 12 India (Introduction)
3 回目 Unit 8 South Africa (Introduction)	11 回目 Unit 12 India (Introduction)
4 回目 Unit 9 South Africa (Documentary)	12 回目 Unit 12 India (Documentary)
5 回目 Unit 9 South Africa (Documentary)	13 回目 Unit 12 India (Documentary)
6 回目 Unit 10 Wales (Introduction)	14 回目 期末テスト(1) (Unit 14)
7 回目 Unit 10 Wales (Introduction)	15 回目 期末テスト(2)
8 回目 Unit 11 Wales (Documentary)	

- ◆**教科書** 丸沼『World Wide English on DVD Volume 2 (Self-Study DVD 付)』森田彰・山本由布子他著 成美堂 2,700 円 (税込) (送料 300 円)

〔当日資料配付〕各ユニットのスクリプト（聞き取りテストを含む）は、該当日当日に配布します。

- ◆**参考書** なし。

- ◆**成績評価基準** ①期末テスト：50%、②ミニテスト：20%、③平常点（発表などの授業参加度、授業態度、積極性など）：30%、④その他：遅刻、早退、テキストなし、私語、居眠りなどは減点します。①～④により総合的に評価します。

【注】授業数の 2 / 3 以上出席した場合に単位を認定します。5 回欠席すると単位は認定しません。

◆漢字に頼らないリスニング力

〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕

火曜日5時限

開講単位：1単位

担当者：稲葉 明子

◆**学修到達目標** 漢字の意味がわかることは大きな強みでもあります。初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し、漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。語順・時量・アスペクト等、中国語特有の独特な世界観を、実際の場面から把握し、文法的理解へ繋げていきます。

◆**授業方法** 前期までに学習習慣が確立した人は、授業をペースメーカーにして毎週一定量の単語と言ひ回しを覚えていきましょう。あと一歩というひと、毎回発音記号から始めますので挽回する時間は十分にあります。できれば本文を暗誦するくらいに読み込みます。

◆**準備学修** 授業で初見の場面を自力で把握する訓練をします。予習ではなく、復習と翌週の小テスト対策が毎回の家庭学習となります。教科書のさまざまな例文やドリルも、日本語に訳すのではなく、場面を想像しながら音が口をついてでてくるまで練習してください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 第5課：動詞「有」／年齢	9回目 第12課：方向補語
2回目 第6課：経験相	10回目 まとめ
3回目 第7課：完了相	11回目 第13課：疑問詞の不定用法
4回目 第8課：時量／前置詞／助動詞	12回目 第14課：可能補語・“把”構文
5回目 まとめ	13回目 第15課：使役
6回目 第9課：進行相	14回目 第16課：“被”構文
7回目 第10課：主述述語文／結果補語	15回目 教場試験
8回目 第11課：様態補語／助動詞	

◆**教科書** 丸沼『初級テキスト 日中いぶこみ広場』相原茂・陳淑梅・飯田敦子 朝日出版 2,700円（税込）（送料300円）

◆**参考書** WEB上に様々なトレーニング用コンテンツをUPします。音声を用いた復習が必要になります。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します。試験は、リスニングが中心となります。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な発想が必要ですが、指示通りに取り組めば、難しいものではありません。

◆ 20 世紀の科学哲学の基礎を学ぶ

〔科学哲学〕

火曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：江川 晃

◆**学修到達目標** 科学理論の経験的基盤や論理的構造、あるいは理論転換のメカニズムなどを解明する方法論的分析を取り上げる。とりわけ、後期では、20 世紀に出現した科学哲学の潮流の間の論争を振り返りつつ、科学という知的な営みの本質を理解することがこの講座の学修到達目標である。

◆**授業方法** 講義、小レポート、発表、討論しながら、ダイナミックに行こう。

◆**準備学修** 教科書の第 2 部を熟読玩味すること。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「科学哲学」を履修していることが好ましい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス 7 章 科学の方法	9 回目 10 章 批判的合理主義と反証可能性
2 回目 演繹法と帰納法	10 回目 進化論的認識論
3 回目 仮説演繹法と発見の論理	11 回目 11 章 経験主義の 2 つのドグマ
4 回目 8 章 科学の危機 決定論的自然観	12 回目 デュエム＝クワイン・テーゼ
5 回目 数学と物理学の危機	13 回目 12 章 パラダイム論と通訳不可能性
6 回目 9 章 論理実証主義 論理学革命	14 回目 ラカトシュの Research Program
7 回目 意味の検証理論と統一科学	15 回目 討論 2 とレポート提出
8 回目 討論 1	

◆**教科書** 〔丸沼〕『科学哲学への招待（ちくま学芸文庫）』野家啓一著 筑摩書房 2015 年 1,188 円（税込）（送料 215 円）

〔当日資料配付〕当日にプリントを配布。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 平常点・課題（50%） レポート（50%）、毎回出席を前提として評価します。

◆ 未公開史料で考える日中戦争

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

火曜日 5 時限

開講単位：1 単位

担当者：高綱 博文

◆**学修到達目標** 日中戦争期における総理大臣・近衛文麿の未公開史料を講読しながら、史料批判などの歴史研究のための基礎力を養成します。

◆**授業方法** テキスト史料（コピー使用）を講読しながら、受講生による研究発表と討論を中心としたゼミナール形式で行います。

◆**準備学修** 予めテキスト史料を学習し講読の準備を行う。また研究発表のために参考文献や史料を調べて準備する。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「東洋史演習Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス	9 回目 史料講読・報告・討論(6)
2 回目 卒論中間報告	10 回目 史料講読・報告・討論(7)
3 回目 史料解説	11 回目 史料講読・報告・討論(8)
4 回目 史料講読・報告・討論(1)	12 回目 史料講読・報告・討論(9)
5 回目 史料講読・報告・討論(2)	13 回目 史料講読・報告・討論(10)
6 回目 史料講読・報告・討論(3)	14 回目 史料講読・報告・討論(11)
7 回目 史料講読・報告・討論(4)	15 回目 まとめ
8 回目 史料講読・報告・討論(5)	

◆**教科書** 近衛文麿未公開史料（コピー使用）

◆**参考書** 〔丸沼〕『近衛文麿』古川隆久 吉川弘文館 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 講読・発表（60%）、平常点（20%）、レポート（20%）。毎回出席することを前提として評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆マクロ経済学

〔経済学〕

水曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：田村 和彦

◆学修到達目標 経済諸問題についての理解力・思考力を高めてもらいたい。

◆授業方法 講義方式。

◆準備学修 各自教科書を読み、予習をすること。

◆履修条件 平成 27 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「経済学」・平成 27 年度東京スクーリング（7 月期）「経済学」・平成 27 年度東京スクーリング（2 月期）第 1 期「経済学」・平成 27 年度メディア授業（後期）「経済学 MB」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 完全競争市場	9 回目 国民所得の計算①
2 回目 不完全競争市場	10 回目 国民所得の計算②
3 回目 貨幣経済①	11 回目 ケインズ型消費関数
4 回目 貨幣経済②	12 回目 国民所得の決定
5 回目 マクロ経済学の定義	13 回目 投資乗数・乗数効果・公共投資
6 回目 国民経済の構造と循環	14 回目 景気循環
7 回目 国民資本と国民所得	15 回目 経済の情報化とグローバル化・まとめ
8 回目 国民所得の定義	

◆教科書 通材『経済学 B11800』 通信教育教材（教材コード 000450）1,950 円（送料込）

丸沼『経済学』 瀬川浩・田村和彦編著 桜門書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 最終試験。

◆会社法の基礎から学ぶ

〔商法Ⅱ〕

水曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：大久保 拓也

◆学修到達目標 この講義では、現代社会で重要な役割を果たしている会社、特に株式会社に関する法知識の習得を目的とします。会社法は、平成 26 年に重要な改正がなされました（平成 27 年 5 月 1 日施行）。実社会に与える影響も大きいので、会社に関する法規制を基本から理解を目的とした講義を行います。株式会社の機関構造（後半）、株式会社の設立、組織再編等を扱います。

◆授業方法 講義形式で行います。講義は、会社法制度の全体構造を理解し、会社法上の基本問題について、法的に解答できる論理的思考力の習得を目的とします。会社法は複雑な規律が多いので、それを理解できるように継続的に講義に出席することが求められます。また、漫然と授業に出席するだけでは知識が身につかないので、講義時に何度か小テストを行い理解度をチェックすることも予定します。そのため、予習・復習も必須となります。

◆準備学修 指摘の教科書を熟読し、予習を欠かさないことが必要です。会社法は、経済活動に密接に結びついた法分野ですから、常に新しい経済の仕組みを理解していなければなりません。そのための最善の方法は、日刊新聞（日経新聞等）を読むことです。最近ではどのような経済問題があるのか、どのような新しい企業組織形態が誕生したのか、等について問題意識をもって毎日欠かさず読むことが必要です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス 株式会社の機関構造 4：役員の選任・解任手続	9 回目 株式会社の機関構造 12：監査役、監査役会、会計監査人、会計参与
2 回目 株式会社の機関構造 5：競業取引と利益相反取引	10 回目 資本制度と会社の計算
3 回目 株式会社の機関構造 6：善管注意義務と忠実義務～経営判断と内部統制	11 回目 株式会社の設立 1、株式会社の設立 2
4 回目 株式会社の機関構造 7：取締役会設置会社における取締役と取締役会の役割	12 回目 持分会社の法規制
5 回目 株式会社の機関構造 8：報酬規制	13 回目 組織再編 1：合併と分割、事業譲渡
6 回目 株式会社の機関構造 9：指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社の構造、検査役	14 回目 組織再編 2：株式交換と株式移転
7 回目 株式会社の機関構造 10：取締役の対会社責任と株主代表訴訟	15 回目 講義のまとめ
8 回目 株式会社の機関構造 11：取締役の対第三者責任	

◆教科書 丸沼『会社法講義 30 講』 松嶋隆弘編著 中央経済社 2015 年 4 月 3,780 円（税込）（送料 350 円）『六法（最新版（2016（平成 28）年版））』

◆参考書 丸沼『会社法判例百選（第 2 版）』 江頭憲治郎ほか編 有斐閣 2011 年 2,344 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 ①平常点（授業中に行う「小テスト」も含みます）（20%）、②授業中にふれた重要な事項から出題する「試験」（80%）。毎回出席することを前提として評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆通信教育部での自主創造の基礎Ⅰ

〔総合科目Ⅰ～Ⅵ〕

水曜日2時限

開講単位：2単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 大学での「学修」は自発的な姿勢が重要です。授業への参加、テキストの読み方、ノートを取り方、レポートの書き方、資料収集と活用の仕方、議論の仕方、発表の仕方などの基礎を理解します。大学の学修に必要な技術を学び、「自主創造」を実現する能力の向上をめざします。

◆**授業方法** 講義、個々人の事前学修、グループワークの併用です。はじめの数回は講義形式となります。事前に与えられた課題について自宅で予習し、それをもとにして、簡単なグループ作業をおこないます。

◆**準備学修** 授業は予習された課題をもとに展開します。与えられた課題について必ず予習してください。

◆**履修条件** ①授業初日のガイダンスに必ず出席。②平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「総合科目」合格済みの学生は受講不可。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 スタートアップ	9回目 コミュニケーションをはかる
2回目 大学で学ぶとは—日本大学—	10回目 プレゼンテーションの方法
3回目 大学で学ぶとは—通信教育部—	11回目 プレゼンテーションの実践練習
4回目 大学での学修の方法	12回目 グループワーク—テーマ決定・討論—
5回目 図書館を利用する	13回目 グループワーク—討論の整理—
6回目 情報の収集と整理	14回目 グループワーク—成果の発表—
7回目 論理的文章を書く前提	15回目 能力向上をめざして—自己評価—
8回目 レポートを作成してみる	

◆**教科書** 課題は適宜配布します。

◆**参考書** 必要に応じて紹介します。

◆**成績評価基準** 最終レポート（40%）、授業内グループワーク参加度（40%）、理解度チェック（20%）の総合評価
※全回出席を前提とします。

◆理解言語「読む、聞く」をしっかりと勉強しよう

★★☆〔英語 C〕

水曜日 2 時間

開講単位：1 単位

担当者：森 晴代

◆**学修到達目標** 英語の4技能のうち、理解言語である「読む、聞く」を繰り返し練習することにより、英語そのものに慣れ、直聴直解を目指します。表現言語である「話せる、書ける」は、理解言語を相当有していることが前提となります。具体的にはネイティブスピーカーが日常使用する 5000 語を身につける、1 分間に 150 語の音読及び内容把握を目標とします。また、前期のみの受講、後期のみの受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆**授業方法** 2回の授業で1unit進めます。本文のリスニング、和訳、内容のディスカッション、質疑応答、音読（オーバーラッピング、シャドーイング）をグループワークを取り入れて行います。グループはクラスの人数により変更しますが4～6名で1グループを予定しています。辞典は必ず毎回持参してください。小テストは各 unit 終了時にその unit の書き取り、もしくはパッセージの要約のいずれかを行います。

◆**準備学修** 必ず予習してきてください。専用のノートをご準備ください。自分がどの部分でつまづいているのかを把握してから授業に臨むと理解しやすくなります。1日に少しの時間でよいので音読練習、リスニング練習を行ってください。難しいスペルの単語は練習しておきましょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	リスニングと音読の関係性の説明 Unit 8: Diving for Sea Urchins 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	9 回目	Unit 11 の補足 小テスト Unit 12: Life on the Space Station 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
2 回目	Unit 8: Diving for Sea Urchins リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	10 回目	Unit 12: Life on the Space Station リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
3 回目	Unit 8 の補足 小テスト Unit 9: Reunion of the Little Rock Nine 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	11 回目	Unit 12 の補足 小テスト Unit 13: Choosing a Jury 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
4 回目	Unit 9: Reunion of the Little Rock Nine リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	12 回目	Unit 13: Choosing a Jury リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
5 回目	Unit 9 の補足 小テスト Unit 10: Paying for College 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	13 回目	Unit 13 の補足 小テスト Unit 14: Micro-Robots 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
6 回目	Unit 10: Paying for College リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング	14 回目	Unit 14: Micro-Robots リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
7 回目	Unit 10 の補足 小テスト Unit 11: Protecting Michelangelo's Painting 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習	15 回目	Unit 14 の補足 小テスト 後期授業のまとめ
8 回目	Unit 11: Protecting Michelangelo's Painting リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング		

◆**教科書** 丸沼『CNN Student News (4)』 関戸冬彦他4名著 朝日出版社 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 授業中に紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点（20%） 小テスト（20%） 音読発表（10%） 試験（50%） 毎回出席することを前提として評価します。

◆憲法を考える 〔憲法〕

水曜日 2 時限 オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：名雪 健二

◆**学修到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、憲法を知することは、われわれが国家生活をしていく上で極めて重要である。

憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆**準備学修** 授業計画が 1 回から 15 回まで記載されているので、授業を理解する前提として、教科書をよく読んでおくこと。授業の範囲内における専門用語については、法学（法律学）辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 国会の性格、国会の組織	9 回目 内閣の総辞職、内閣の権能
2 回目 国会議員の特典、国会の活動	10 回目 内閣の責任、裁判所の性格
3 回目 国会の活動、国会の権能	11 回目 最高裁判所
4 回目 国会の権能	12 回目 最高裁判所
5 回目 議院の権能	13 回目 下級裁判所、司法権の独立
6 回目 議院の権能	14 回目 財政、地方自治
7 回目 内閣の性格・組織	15 回目 後期の総括
8 回目 内閣総理大臣の地位・権能	

◆**教科書** 丸沼『日本国憲法』 名雪健二 有信堂 3,780 円（税込）（送料 350 円）
〔当日資料配付〕 当日にプリントを配布。

◆**参考書** 丸沼『3 訂日本国憲法要論』 廣田健次 南窓社 3,497 円（税込）（送料 350 円）
『ゼミナール憲法増補』 名雪健二他 南窓社
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 授業態度・小テスト（2 回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

◆考古学を基礎から学びましょう 〔考古学入門〕

水曜日 2 時限 開講単位：2 単位 担当者：野中 和夫

◆**学修到達目標** 考古学の基礎を学びます。「考古学」とはどのような学問なのか、また、考古学的手法を用い、過去の人々の暮らしや文化をどのようにとらえるか。その上で現代にどのように活かされているのか理解することを目標とします。さらに、学問としての限界性や課題についてもわかりやすく解説します。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においてはプリントを用い、受講生が考古学について関心を高めるために、博物館情報や話題の遺跡を適宜取上げ解説します。

◆**準備学修** ノート・プリント・参考書などでよく復習してください。講義内で遺物や遺跡などの実物資料を見る機会がないので、各自、遺跡や博物館を訪れ、感想や調べたことをレポートにし、提出して下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 考古学の研究方法	9 回目 生産と流通(3)
2 回目 人と環境と考古学(1)	10 回目 文化の変化と画期(1)
3 回目 人と環境と考古学(2)	11 回目 文化の変化と画期(2)
4 回目 地形図を解く(1)	12 回目 文化の変化と画期(3)
5 回目 地形図を解く(2)	13 回目 現代と考古学(1)
6 回目 文化と地域性	14 回目 現代と考古学(2)
7 回目 生産と流通(1)	15 回目 まとめ
8 回目 生産と流通(2)	

◆**教科書** 〔当日資料配付〕 当日プリント配布。

◆**参考書** 通材『考古学入門 Q20400』 通信教育教材（教材コード 000509）2,900 円（送料込）
丸沼 適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点（15%）、レポート（25%）、定期試験（60%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「国際都市」上海における日本人

〔東洋史特講Ⅰ〕

水曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：高綱 博文

◆学修到達目標 近代上海における日本人の活動と意識のあり方について明らかにし、その歴史的意義について考えます。

◆授業方法 教科書・配布資料等により講義を行い、また関係する映像資料を視聴しながら理解を深めます。

◆準備学修 下記の教科書における関係箇所を予め学習しておくことが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 上海事変と日本人居留民(2)
2 回目 上海史研究への招待	10 回目 上海事変（ビデオ視聴）
3 回目 「租界都市」上海論(1)	11 回目 上海内山書店の歴史
4 回目 「租界都市」上海論(2)	12 回目 日本占領下の上海
5 回目 上海共同租界（ビデオ視聴）	13 回目 最後の上海日本人居留民社会
6 回目 上海日本人コミュニティ論(1)	14 回目 上海における李香蘭（DVD 視聴）
7 回目 上海日本人コミュニティ論(2)	15 回目 上海日本人引揚者のノスタルジー
8 回目 上海事変と日本人居留民(1)	

◆教科書 通材『東洋史特講Ⅰ Q31000』 通信教育教材（教材コード 000507）2,050 円（送料込）

通材『歴史学 B11100』 通信教育教材（教材コード 000393）1,650 円（送料込）

◆参考書 丸沼『「国際都市」上海のなかの日本人』 高綱博文 研文出版 7,020 円（税込）（送料 460 円）

◆成績評価基準 試験（50%）、レポート（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

◆広告の意義とプロモーション戦略を学ぶ

〔広告論〕

水曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：雨宮 史卓

◆学修到達目標 TV を見ない日はあっても広告を見ない日はないと言っても過言でないくらい、広告は我々の生活に深く浸透している。この事を踏まえ、企業の広告戦略を概観しながら、人々の欲求を創造するコミュニケーション活動である広告を生活全体や文化といった広い視点での理解を目指す。

◆授業方法 前期の広告論での授業における広告の基本的機能を元に、企業の広告戦略の実態を解説する。授業の後半では、その日の主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆準備学修 前もってテキスト及び配布資料を読んでおくこと。ノートは必ず持参すること。

◆履修条件 前期の広告論と継続履修が望ましい。平成 28 年度夏期スクーリング「広告論」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 授業の進め方 広告の種類	9 回目 ブランド・イメージと広告
2 回目 広告の機能と役割	10 回目 広告と認知的不協和
3 回目 プロモーション戦略と広告戦略	11 回目 コモディティ製品の広告戦略
4 回目 市場と広告	12 回目 経験価値と広告の概念
5 回目 ブランドの意義と役割	13 回目 サービス産業の広告戦略
6 回目 ブランドを軸とした広告戦略の展開	14 回目 授業の総復習
7 回目 ブランド・ライフサイクルと広告	15 回目 テストと解説
8 回目 広告コミュニケーションの考え方	

◆教科書 丸沼『ブランド・コミュニケーションと広告』 雨宮史卓 八千代出版 1,620 円（税込）（送料 300 円）

当日資料配付 必要に応じて資料を配布する。

◆参考書 なし。

◆成績評価基準 テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆六法を理解する

〔法学 B〕

水曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：武田 茂樹

◆**学修到達目標** 前期に法の歴史を学ぶことによって、法の学問的理解を深めて来ました。後期は、具体的な法を学ぶことによって、法の具体的・現実的・実践的な意義や役割を考察します。法の具体的な理解としては、憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法といういわゆる「六法」の理解が基本となります。今日の法は、多数の行政法規群（行政法）や国際法規群（国際法）があり、膨大な量となりますが、法のエッセンスが「六法」に集約されていることは否定できません。後期は、この「六法」の基本を理解することによって、法の具体的・現実的・実践的な理解を深め、法の実務にも興味をもつことが目標です。

◆**授業方法** 前期と同様に講義を中心に進めます。量的範囲が広いので、あせらずに粘り強く学んでいくことが必要です。法の種類が異なるので、それぞれに最適と思われる基本書を紹介します。各法は、それぞれの目的がありますが、他の法と体系的な関連性をもって法秩序の全体性を形成しています。常に全体像を思い描きながら理解していくことが大切です。

◆**準備学修** 六法の学習は質、量ともに難しいため短期間で理解しようとすることは困難です。じっくりと時間をかけて優れた基本書を読んで理解を深めていくことが大切です。準備学修でも六法全体ではなく、興味のある法を 1 つ選んで読んでみることを薦めます。自分の好きな法律科目を作ることが法全体の理解にとっても大切です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 憲法 立憲主義。憲法の最高法規性について。	9 回目 民事訴訟法 紛争解決のための法と裁判の関係を考える。
2 回目 憲法 個人の人権保障と民主主義政治制度の関係性 憲法訴訟について説明する。	10 回目 民事訴訟法 民事訴訟法のシステムを考える。
3 回目 民法 民法総論 民法とは何か、その役割は何かを説明する。	11 回目 刑事訴訟法 刑事訴訟法の役割を考える。無罪推定の原則。
4 回目 民法 物権法 債権法 家族法 物権法の基盤である所有権と債権法の基盤である契約と不法行為の説明をする。	12 回目 刑事訴訟法 刑事訴訟法のプロセス。捜査と公判。デュープロセスの保障。
5 回目 刑法 刑法総論 罪刑法定主義と犯罪の一般的成立要件について説明する。	13 回目 法の体系的関連性 民事法・商事法と刑事法、実体法と訴訟法。
6 回目 刑法 刑法各論 個別的な犯罪類型と刑罰類型について説明する。	14 回目 その他の法 行政法、国際法、知的財産権法など。
7 回目 商法 商法総則 手形小切手法 商法特性、有価証券法理について説明する。	15 回目 講義のまとめ
8 回目 商法 会社法 株式会社制度によって有限責任の法理を考える。	

◆**教科書** なし。

◆**参考書** 授業中に提示する。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、試験（80%）、平常点（20%）で評価します。

◆行動を科学する

〔心理学 A〕

水曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：野村 康治

◆**学修到達目標** 「心」の理解はともすれば主観的なものになりがちであり、主観的理解は思い込みや誤解を生むことがある。心理学は行動の科学とも呼ばれるが、その「行動」をキーワードとして、心理学が行動に関する問題にいかに関わり組み、どのようなことを見出してきたかを学ぶ。そして、心の働きや行動を科学的にとらえるという思考力の育成を目指す。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。講義内容を必ずノートにとること。また、授業中に教員から質問をしたり、意見を求めることもある。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、意見を求められたときは積極的に発言して欲しい。なお、出席は毎回確認する。

◆**準備学修** 心理学が扱う問題は全て関連している。そうした「話の流れ」というものを重視して授業を行うので、前回授業の内容（ノート）を読み返してから毎回の授業に臨んで欲しい。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（後期）水曜 4 限「心理学 B」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 行動を生起させる心の働き	9 回目 行動の獲得 2（発達とは何か）
2 回目 欲求と欲求不満、葛藤について	10 回目 発達の規定因に関する諸研究
3 回目 適応行動と不適応行動について	11 回目 行動の個人差 1（知能とは何か）
4 回目 人間的成長を促す動機づけ	12 回目 知能の測定と知能理論について学ぶ
5 回目 行動の獲得 1（学習とは何か）	13 回目 行動の個人差 2（性格とは何か）
6 回目 学習の連合説について	14 回目 性格理論と性格検査について
7 回目 学習の認知説について	15 回目 後期授業まとめ（理解度の確認）
8 回目 社会的学習	

◆**教科書** **通材**『心理学 B12100』通信教育教材（教材コード 000483）2,900 円（送料込）
くこの教材は市販の『新しい心理学ゼミナール』藤田主一編（福村出版）と同一です）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 成績は試験結果を重視し、これに平常点（授業時の発言など）を鑑みて総合的に評価する。

◆英文の基本構造を理解する

★★☆〔英語 D〕

水曜日 3 時限

開講単位：1 単位

担当者：北原 安治

◆学修到達目標 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業方法 予習段階で英文を 8 行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下に S（主語）、V（動詞）などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写してこること。各色のマーカーなど持ってくると良い。受講者の速度に合わせるので、かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ノートはルーズリーフでもよいが、必ず書いた分は全てのページを毎回持って来ておくこと。ノート無きものは単位を与えない。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。第 4 章から始める。

◆準備学修 予習段階で英文を 8 行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてこること。毎回和訳小テストをするので辞書を持ってこること。教科書を毎回持ってこること。教科書を持って来ているか調べる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	9 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
2 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	10 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
3 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	11 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
4 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	12 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
5 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	13 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
6 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	14 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳
7 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	15 回目 まとめと試験
8 回目 第 4 章（伊）の英文構造と和訳	

◆教科書 丸沼『Major Countries in the World～世界の主要国～』 小泉和弘編 鳳書房 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書 丸沼『ロイヤル英文法』 旺文社 1,944 円（税込）（送料 350 円） この本は講義では使わない。辞書は毎回持ってくる。辞書を持って来ているか検査をする。

◆成績評価基準 試験、実力テストなどの総合評価。皆出席を望む。欠席 1 回で何点か引く。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのは当然のことだからである。抜き打ちの実力テストも行う。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。

◆日本政治の今を考える(1)

〔政治学特殊講義 I・II〕

水曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：秋山 和宏

◆学修到達目標 日本の政治の実態と問題点を理解し、あるべき姿を考える。そのための基本として、本講においては日本の政治の「しくみ」と「過程」について学ぶ。

◆授業方法 主に講義のかたちで進めるが、質疑応答を交えたものにしたい。

◆準備学修 授業の性格上時事的な政治問題に強い関心を払ってほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 日本政治の諸アクター (1)概観	9 回目 日本政治過程 (1)選挙過程
2 回目 //	10 回目 // (2)立法過程
3 回目 //	11 回目 // (3)予算編成過程
4 回目 //	12 回目 // (4)中央・地方関係
5 回目 //	13 回目 わが国の政治の問題点と課題 (1)問題の所在
6 回目 //	14 回目 // (2)課題についての考察
7 回目 //	15 回目 // (3)展望・まとめ
8 回目 //	

◆教科書 指定しない。

◆参考書 丸沼『現代政治過程』 秋山和宏編著 三和書籍 2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 試験（70％）とレポート（30％）で評価。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近世武士の思想

〔日本思想史Ⅰ〕

水曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：島田 健太郎

◆**学修到達目標** 後期は、江戸時代の武士の思想を取り上げます。江戸時代に入ると、社会の変化に応じた新しい武士観が出てきます。その一つが「武士道」をめぐる言説です。これらの検討を通して、「義」や「道」、さらには近世の人々のものの考え方について理解を深め、日本の精神文化を考えるための自己の視野を広げることを目標とします。前期の内容とも関連するので、継続履修することを望みます。

◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。原典や史料は古文で書かれていますが、読みがなと現代語訳をつけるので、古文の読解に自信がなくても構いません。

◆**準備学修** 授業でも説明しますが、江戸時代前期の思想史についてのおおまかな知識を持っておくと、授業が聞きやすくなります。また、できれば儒学の思想について事前に学習しておくとういでしょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 概説	9 回目 山鹿素行の「士道」(3)
2 回目 『三河物語』の武士観(1)	10 回目 山鹿素行の「士道」(4)
3 回目 『三河物語』の武士観(2)	11 回目 赤穂浪士討ち入り事件を巡って(1)
4 回目 『葉隠』の武士観(1)	12 回目 赤穂浪士討ち入り事件を巡って(2)
5 回目 『葉隠』の武士観(2)	13 回目 赤穂浪士討ち入り事件を巡って(3)
6 回目 『武道初心集』の場合	14 回目 赤穂浪士討ち入り事件を巡って(4)
7 回目 山鹿素行の「士道」(1)	15 回目 まとめ
8 回目 山鹿素行の「士道」(2)	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業中適宜指示します。

◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して評価します。

◆日本近代文学の展開

〔国文学講義Ⅴ（近代）〕

水曜日 3 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：永岡 健右

◆**学修到達目標** 明治 20 年代から大正期までの文芸思潮に沿って作家と作品を具体的に把握しながら学習します。

◆**授業方法** 講義方式で指定テキストを読み進めます。後期ではテキストの第 4 章以降が中心になります。

◆**準備学修** 具体的な作品を各自文庫本等で読み込むことが望まれます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 後期授業の進め方	9 回目 森鷗外の文学
2 回目 正岡子規の文学	10 回目 荷風の文学
3 回目 浪漫主義文学（晶子）	11 回目 谷崎潤一郎の文学
4 回目 フランス自然主義について	12 回目 白樺派の文学
5 回目 島崎藤村の文学	13 回目 芥川文学の特性
6 回目 日本自然主義の文学	14 回目 プロレタリア文学
7 回目 無理想無解決の文学	15 回目 まとめ
8 回目 夏目漱石の文学	

◆**教科書** **〔通材〕**『国文学講義Ⅴ（近代） M30900』通信教育教材（教材コード 000094）2,750 円（送料込）
〈この教材は市販の『現代日本文学のながれ』金沢近代文芸研究会編（おうふう）と同一です〉
〔当日資料配付〕

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験（80%）小テスト、レポート（各 10%）

◆『千と千尋』の歴史学

〔歴史学 A〕

水曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：渡邊 浩史

◆**学修到達目標** スタジオ・ジブリの宮崎駿監督によるアニメ作品『千と千尋の神隠し』を題材として、日本の歴史を学ぶ。歴史学の最新の成果をもとに作品を読み解き、歴史学という学問とは何か理解できるようになる。

◆**授業方法** 講義形式で行う。適宜 DVD などを利用する。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆**準備学修** 『千と千尋の神隠し』は、事前に観ていることが望ましい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 はじめに	9 回目 油屋
2 回目 あの世への入り口	10 回目 六道輪廻
3 回目 あの世への入り口	11 回目 六道輪廻
4 回目 あの世への入り口	12 回目 酒呑童子または竜宮
5 回目 不思議な町	13 回目 黄泉がえり
6 回目 不思議な町	14 回目 黄泉がえり
7 回目 油屋	15 回目 おわりに
8 回目 油屋	

◆**教科書** 使用しない。

〔当日資料配付〕適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 平常点 20%、試験 80%

◆行動を科学する

〔心理学 B〕

水曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：野村 康治

◆**学修到達目標** 「心」の理解はともすれば主観的なものになりがちであり、主観的理解は思い込みや誤解を生むことがある。心理学は行動の科学とも呼ばれるが、その「行動」をキーワードとして、心理学が行動に関する問題にいかに関わり組み、どのようなことを見出してきたかを学ぶ。そして、心の働きや行動を科学的にとらえるという思考力の育成を目指す。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。講義内容を必ずノートにとること。また、授業中に教員から質問をしたり、意見を求めることもある。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、意見を求められたときは積極的に発言して欲しい。なお、出席は毎回確認する。

◆**準備学修** 心理学が扱う問題は全て関連している。そうした「話の流れ」というものを重視して授業を行うので、前回授業の内容（ノート）を読み返してから毎回の授業に臨んで欲しい。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（後期）水曜 3 限「心理学 A」との積み重ね不可。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 行動を生起させる心の働き	9 回目 行動の獲得 2（発達とは何か）
2 回目 欲求と欲求不満、葛藤について	10 回目 発達の規定因に関する諸研究
3 回目 適応行動と不適応行動について	11 回目 行動の個人差 1（知能とは何か）
4 回目 人間的成長を促す動機づけ	12 回目 知能の測定と知能理論について学ぶ
5 回目 行動の獲得 1（学習とは何か）	13 回目 行動の個人差 2（性格とは何か）
6 回目 学習の連合説について	14 回目 性格理論と性格検査について
7 回目 学習の認知説について	15 回目 後期授業まとめ（理解度の確認）
8 回目 社会的学習	

◆**教科書** 〔教材〕『心理学 B12100』通信教育教材（教材コード 000483）2,900 円（送料込）
〈この教材は市販の『新しい心理学ゼミナール』藤田主一編（福村出版）と同一です〉

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 成績は試験結果を重視し、これに平常点（授業時の発言など）を鑑みて総合的に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆古典文学は如何にその方法を捉えるか

〔国文学基礎演習〕

水曜日 4 時限

オープン受講：不可

開講単位：1 単位

担当者：木村 一

◆**学修到達目標** 前期のみの受講・後期のみの受講も可能だが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

本講座では広く古典文学というくくりで作品を捉える。そのジャンルは多岐に渡り、受講者がいかにその作品を捉え、読んでいるのかということが問われる。その作品に貫通する時代を体感すること、文学作品に描かれていることをとおして、その時代に生きた人々のものの見方を知ることが主眼とする。

本講座は「演習」である。次の「〈本〉演習」へのステップとすべく、読み方・調査・方法・捉え方ができるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 本講座は「演習」である。受講生諸君が主体となり、調査・研究を経て実際に口頭発表を行う。具体的には、講義指定テキストを分割し担当者を決めて、読み込んだ上で、どうしてこのような展開・結論になるのか、という理論展開をたどることを主眼とする。担当者の発表と聴衆からの質疑、それに発表者が答えるという討論形式で進めることになる。「国文学基礎講義」を履修し終えていることが望ましい。

◆**準備学修** 受講生各自、口頭発表をするという自覚を持つこと。講義指定テキストに対して、自身の担当箇所をしっかりと読み込み、内容をしっかりと把握する必要がある。さらに、執筆者の言いたいことは何か、問題点はどのようなことか、ということを洗い出しておくこと。口頭発表であるから、レジュメを用意すること。発表担当者でない者も該当箇所を読み込んで、質問事項を用意しておくこと。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	後期導入 どう進めてきたかの確認 担当者割り当て	9 回目	受講生による口頭発表 近代（二）三～四
2 回目	受講生による口頭発表 近世（一）一～四	10 回目	受講生による口頭発表 別テキストによる展開①
3 回目	受講生による口頭発表 近世（一）五～七	11 回目	受講生による口頭発表 別テキストによる展開②
4 回目	受講生による口頭発表 近世（二）一～二	12 回目	受講生による口頭発表 別テキストにより展開③
5 回目	受講生による口頭発表 近世（二）三～四	13 回目	受講生による口頭発表 別テキストによる展開④
6 回目	受講生による口頭発表 近代（一）一～三	14 回目	受講生による口頭発表 別テキストによる展開⑤
7 回目	受講生による口頭発表 近代（一）四～五	15 回目	後期まとめ・総評
8 回目	受講生による口頭発表 近代（二）一～二		

◆**教科書** **通材**『国文学基礎講義 M20100』 通信教育教材（教材コード 000519）3,050 円（送料込）
※平成 28 年度新教材

〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ 日本古典文学』近藤健史編（弘文堂）と同一です〉

〔**当日資料配付**〕発表レジュメは当日配布。

◆**参考書** 電子辞書があれば便利。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、発表内容 70%・質疑応答 10%・レポート 20% で総合的に評価する。

◆国語学がどういう学問かを知る

〔国語学概論〕

水曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：保科 恵

◆**学修到達目標** ひと口に「国語学」と言っても、様々な対象・方法があります。国語学がどういう学問なのかをひと通り見渡すことによって、国語学に対する知識を身につけることを目標とします。

◆**授業方法** 講義を中心として授業を進めますが、適宜指名してテキストを読んでもらったり、各項目についての小テストを行ったりします。

◆**準備学修** 特別なことは必要ありませんが、いろいろな国語の現象に対する興味を持っていることが前提です。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 全体的な説明	9 回目 語彙（その 3）
2 回目 文法（その 1）	10 回目 語彙（その 4）
3 回目 文法（その 2）	11 回目 文体（その 1）
4 回目 文法（その 3）	12 回目 文体（その 2）
5 回目 文法（その 4）	13 回目 言語生活
6 回目 文法（その 5）	14 回目 方言・系統
7 回目 語彙（その 1）	15 回目 まとめ
8 回目 語彙（その 2）	

◆**教科書** 丸沼『国語学要論』 福島邦道 笠間書院 1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験 70%，平常点 30%

◆日本史(近世～近代)に関する基礎的事実の確認をしてみよう〔日本史概論／日本史概説〕

水曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：横山 則孝

◆**学修到達目標** 我が国の歴史的展開を世界的視野からとらえ、日本史（近世～近代）を政治・経済・社会・文化など、歴史を構成する諸要素を統合して幅広い見方で大きく把握することができるようにする。

◆**授業方法** 講義形式である。教科書の内容を重視していくが、時間に限りがあるので、時には要点をのべるにとどまる場合もある。またプリントを配布して教科書の記述を補って解説する時もある。

◆**準備学修** 毎回講義の終了時に次回の内容について簡単にのべることにするので、そのテーマに関する部分について、教科書と高等学校の教科書の記述がどうなっているのか予習しておくとうい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 近世の範囲と織豊政権の成立	9 回目 江戸幕府の三大改革
2 回目 太閤検地と刀狩（兵農分離）	10 回目 近代のはじまり
3 回目 江戸幕府の成立	11 回目 幕末の政争から維新政府の成立
4 回目 近世の大名	12 回目 近世の文化
5 回目 旗本と御家人	13 回目 自由民権運動の展開
6 回目 近世の朝廷	14 回目 帝国憲法と初期議会
7 回目 江戸幕府の宗教統制	15 回目 まとめ（テスト）
8 回目 幕府政治の展開	

◆**教科書** 通材『日本史概論 K32200／日本史概説 Q30200』 通信教育教材（教材コード 000382）2,550 円（送料込）

〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介著（吉川弘文館）と同一です〉

◆**参考書** 『日本史 B』 高等学校教科書

◆**成績評価基準** 平常点（小テスト・レポート）20% 試験 80%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近現代日中関係史を学ぶ

〔歴史学 B〕

水曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：堀井 弘一郎

◆**学修到達目標** 幕末から今日に到るまで近代日本は隣国中国と時に厳しく対峙し、時に友好を深めつつ、複雑な二国間関係を形成してきた。本講座ではそうした歴史的過程と、同時代を共に生きた日中両国民の足跡をたどりながら、確かな歴史的素養をもって日中関係を考え語れるようになることを目標とする（後期は満州事変後～今日まで）。

◆**授業方法** 毎回レジメや資料プリントを用意し、それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際、受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また、視聴覚教材を活用したり、史資料にも多く触れたりすることで、歴史への興味関心を深める。資料収集の方法、卒業論文等の作成方法についても解説する。

◆**準備学修** 「歴史とは現代と過去との対話である」(E・H・カー)。戦後 70 年を経た今日だが、日中関係は必ずしも良好な関係とはいえない状態にある。そんな今日こそ、日頃から日本・中国の近現代史、日中関係史に関する書物に親しんだり、時事的問題に関する新聞・雑誌記事を読んで必要に応じて保存したりすることを心がけてほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 満州事変から日中戦争へ	9 回目 中国の国連代表権獲得と日本
2 回目 汪兆銘「対日協力政権」と日本	10 回目 日中国交回復
3 回目 アジア太平洋戦争と中国	11 回目 改革開放路線と日本
4 回目 戦争・メディア・プロパガンダ	12 回目 香港の盛衰
5 回目 終戦前後の東アジア	13 回目 受講生（希望者）による研究発表
6 回目 国共内戦下の中国と日本	14 回目 領土問題・歴史認識・戦後補償
7 回目 中国革命の衝撃	15 回目 まとめ
8 回目 文化大革命と日本	

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 丸沼『シリーズ中国近現代史④ 社会主義への朝鮮』久保亨 岩波新書 885 円（税込）（送料 215 円）
 丸沼『シリーズ中国近現代史⑤ 開発主義の時代へ』高原明生・前田宏子 岩波新書 842 円（税込）（送料 215 円）
 丸沼『日中関係―戦後から新時代へ―』毛利和子 岩波新書 864 円（税込）（送料 215 円）

◆**成績評価基準** 前期・後期ごとに、平常点 20%、試験 80%で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

◆サブカルなんていわせない！マンガもアニメも日本の伝統文化だ！〔文化史〕

水曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：渡邊 浩史

◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーと言われているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察する事によって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているかを理解できるようにする。

◆**授業方法** 授業の中では、出来るだけ多くの資料を提示したいと考えている。授業計画にあるように、それぞれの時代の文化についての概説を述べた後に各論を展開する。なお、計画は目安であり変更する場合もある。

◆**準備学修** 授業を受ける前に、最低限高校日本史教科書レベルの知識は付けておいて欲しい。その前提で授業を進める。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 はじめに	9 回目 能・狂言
2 回目 中世の文化	10 回目 聖地巡礼（中世）
3 回目 絵巻物	11 回目 聖地巡礼（中世）
4 回目 絵巻物	12 回目 近世の文化
5 回目 絵巻物	13 回目 聖地巡礼（近世）
6 回目 絵巻物	14 回目 聖地巡礼（近世）
7 回目 能・狂言	15 回目 まとめ
8 回目 能・狂言	

◆**教科書** なし。

◆**参考書** 授業中に提示する。

◆**成績評価基準** 試験（80%）、平常点（20%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆基本的な英語力の底上げ

★★☆〔英語 E〕

水曜日 5 時限

開講単位：1 単位 担当者：石川 勝

◆**学修到達目標** 基本的な文法を理解した上で、易しい英文を読み進めていく。テキストは大学生がヨーロッパで経験した話なので、身近に感じられると思う。

◆**授業方法** 初めに基本的な文法の説明をした後で、テキストを訳していく。アトランダムに指名して訳してもらうので、事前に指示された箇所を全訳しておくこと。2 回予習していない場合単位を認めない。

◆**準備学修** 前の週に指示されたところを全訳しておく。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 Unit 10
2 回目 Unit 7	10 回目 続き
3 回目 続き	11 回目 Unit 11
4 回目 Unit 8	12 回目 続き
5 回目 続き	13 回目 Unit 12
6 回目 Unit 9	14 回目 小テスト
7 回目 続き	15 回目 まとめ
8 回目 小テスト	

◆**教科書** 丸沼『ジローのヨーロッパ旅行』金星堂 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 2 回行う小テストの結果で決める。

◆O.Henry の短編集を読む

★★☆〔英語 F〕

木曜日 1 時限

開講単位：1 単位 担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** みなさんは O.Henry の短編小説に一度は触れたことがあるのではないのでしょうか。ユーモアとペーソス、絶妙なオチなど様々な魅力で長年読み継がれてきた作品です。このクラスでは O.Henry 作品の中でも特によく知られた作品を通して英文の正確な把握力を高めていきます。その過程で作品の舞台となっている 20 世紀初頭の New York の文化や時代背景についても知識を深め、作品の多面的な解釈を目指します。また、小説にふさわしい表現に翻訳するセンスを身につけることも目標とします。

◆**授業方法** 指名された学生はテキストの予習に指定した範囲（毎回 1～2 ページ程度進む予定）の音読と翻訳をします。分量としてはひとり一段落ずつになると思います。構文がとりにくかった箇所、イメージが湧きにくかった箇所、日本語にしにくい箇所などをクラス全体で考えていきます。授業終了 15 分前に、その日に読んだ箇所から訳や作品解釈を確認するテストを行います。良い訳を考えるなどグループワークの時間も適宜設ける予定です。

◆**準備学修** 毎回次に進む範囲を、音読し、ひとつひとつの単語を丁寧に調べて、テキスト巻末の NOTES を参照した上で、情景をイメージしながら、自分なりの翻訳を作成してきて下さい。訳している最中にわかりにくかった箇所を挙げられるようにしておいて下さい。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング「英語」の同じクラスを受講していることが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
2 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	10 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
3 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	11 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
4 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	12 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
5 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	13 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
6 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	14 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト
7 回目 “Mammon and the Archer” 精読、確認テスト	15 回目 後期のまとめ
8 回目 “The Gift of the Magi” 精読、確認テスト	

◆**教科書** 丸沼『The Best Short Stories of O.Henry (O.ヘンリー短編集傑作集)』石黒心裕注 開文社 1,296 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とするので、欠席はしないようにしましょう。
平常点（授業への貢献・貢献・予習）20%、確認テスト 30%、最終（期末）試験 50%で評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆行政管理や行政統制を中心に学びましょう。

〔行政学〕

木曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：関根 二三夫

◆**学修到達目標** 行政の実施過程に於いて、行政の目標を明確に定め、公務に従事する職員の努力を通して、その目標を統一的に実現するためにはどのような事が必要なのか、また、その実施過程において行政全体を外部から、また内部においてどのように統制すべきなのかを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、行政に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に学ばなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学修** 政策立案や政策決定がどのように行われるかを、メディアの情報を通して考え、各単元、テキストを参考に 2 時間程度の予習と 2 時間程度の復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	行政管理 ※原則を説明します。	9 回目	情報公開 ※意義や沿革を説明します。
2 回目	行政管理 ※機能を説明します。	10 回目	情報公開 ※プライバシーの保護について説明します。
3 回目	行政管理 ※コミュニケーションの機能を中心に説明します。	11 回目	オンブズマン制度 ※意義や沿革を説明します。
4 回目	行政管理 ※コミュニケーションの方向を中心に説明します。	12 回目	わが国の行政相談 ※意義や内容を説明します。
5 回目	行政管理 ※リーダーシップと指導者の役割を中心に説明します。	13 回目	地方自治 ※沿革を中心に説明します。
6 回目	行政管理 ※稟議制について説明します。	14 回目	戦前の官吏制から戦後の公務員制への変遷と行政との関係
7 回目	行政統制 ※外在的統制を中心に説明します。	15 回目	講義全体の総括
8 回目	行政統制 ※内在的統制を中心に説明します。		

◆**教科書** **通材**『行政学 L30100』通信教育教材（教材コード 000084）2,750 円（送料込）
※行政学の沿革、現代国家と行政、行政組織、官僚制と公務員制、行政管理、稟議制度、情報公開や行政相談など行政全般に関して広範に解説しています。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度テストへの解答等も重視しますので、受講に際しては欠席しないように注意して下さい。

◆清朝史研究の現在―「先行研究」理解のために― 〔東洋史入門〕

木曜日 1 時限 開講単位：2 単位 担当者：綿貫 哲郎

◆**学修到達目標** 卒業論文執筆の重要な行程のひとつに「先行研究」の理解・整理があります。あるテーマに関するこれまでの研究成果をまとめるものです。本講座では清朝史を題材として、時代ごとの研究テーマの変遷、アプローチの多様さ、また隣接分野との連携について学びつつ、「先行研究」の読み方や整理の理解を目指します。なお、後期のみの受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆**授業方法** 以下の授業計画（学生の理解度により変更あり）に沿って、講義及び実習形式でおこないます。講義の理解を深めるため、視覚教材を適宜併用します。授業時間内外でレポートを課する予定です。

◆**準備学修** 高校世界史での理解は必須です。また概説書に目を通しておくとう理解しやすいです。予習の必要ですが、復習に重点をおいてください。翌週の授業は前週の内容理解なしには達成が難しいからです。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス、導入	9 回目 清朝支配層「旗人」について
2 回目 「清朝史」と東洋史学	10 回目 清朝統治モデルについて(1)
3 回目 「満洲史」とは	11 回目 清朝統治モデルについて(2)
4 回目 1930 年代から終戦の「清朝史」研究	12 回目 隣接分野との関係より(1)
5 回目 敗戦と新たなアプローチ	13 回目 隣接分野との関係より(2)
6 回目 2つの故宮と「清朝史」資料	14 回目 隣接分野との関係より(3)
7 回目 様々なアプローチ(1)	15 回目 まとめ、試験
8 回目 様々なアプローチ(2)	

◆**教科書** 当日資料配付 当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業中に適宜指示します。

◆**成績評価基準** 試験＋レポート（60%）、平常点（40%）。毎回出席することを前提として総合的に評価します。

◆知的活動の道具としてのコンピュータ(1) 〔情報概論 A〕

木曜日 1 時限 開講単位：2 単位 担当者：中村 典裕

◆**学修到達目標** この科目では、主に Microsoft Excel の活用法について習得する。Excel は主に表を作成するソフトであるが、単に集計を行うだけでは無く、データの内容に応じて様々な処理を行う事が出来る。本講義では Excel の基礎を学んだ後、関数機能や、データベース機能についての演習を行う。また、講義の中で Excel のマクロ機能やプログラミングについても取り扱う。

◆**授業方法** 本講義の中では、講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。ほぼ毎回課題を課し提出する。

◆**準備学修** 本講義では、コンピュータの基本的な操作ができる事を前提として授業をすすめる。具体的には、文字入力やインターネットでの検索が出来る事などが望ましい。また、Microsoft Word の操作経験があるとさらに良い。ただ、コンピュータの操作経験が無い場合でも、十分に復習を行う熱意と環境があれば、講義内容を習得することは可能であると考え。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 表計算ソフトとは、Excel 入門	9 回目 Excel 演習 8. グループ化・3D 集計
2 回目 Excel 演習 1. 平均・四則演算	10 回目 Excel 演習 9. マクロとは何か
3 回目 Excel 演習 2. グラフの活用	11 回目 Excel 演習 10. VB 入門
4 回目 Excel 演習 3. 書式、条件付書式	12 回目 HTML の基礎
5 回目 Excel 演習 4. 関数入門	13 回目 ICT と 21 世紀の社会
6 回目 Excel 演習 5. if 関数・表参照関数	14 回目 総合演習
7 回目 Excel 演習 6. フィルタ／データベース	15 回目 最終課題
8 回目 Excel 演習 7. ピボットテーブル	

◆**教科書** 当日資料配付 原則として、当日に配付。また、授業用ウェブページからダウンロード可能。

◆**参考書** 授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、平常課題（30%）、最終課題レポート（40%）。毎回出席する事を前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語パラグラフの習得

★★★〔英語 G〕

木曜日 2 時限

開講単位：1 単位

担当者：岡田 善明

◆**学修到達目標** パラグラフ・リーディングとパラグラフ・ライティングの学習により、英語の客観的な読解力と表現能力を育成し、即席のパラグラフ・スピーキングの能力をも習得する。英語通信「和と輪」を配布し、時事的、文学的、哲学的な内容を英語により理解する学習も行う。

◆**授業方法** 『英語教育の精神と実践』第5章「生きた英語能力の育成」をテキストにして、パラグラフ・リーディングとパラグラフ・ライティングを基本に学び、英語読解演習と表現演習を行う。

◆**準備学修** 『英語教育の精神と実践』第5章「生きた英語能力の育成」のパラグラフ・リーディングとパラグラフ・ライティングを読み、予習プリントの問題を必ず事前に学習する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 オリエンテーション	9 回目 スピーチ演習
2 回目 パラグラフの構成と展開	10 回目 Concluding Sentence
3 回目 即席スピーチによる演習	11 回目 演習
4 回目 Topic Sentence	12 回目 演習
5 回目 Topic Sentence によるパラグラフの展開(1)	13 回目 スピーチ演習
6 回目 Topic Sentence によるパラグラフの展開(2)	14 回目 演習
7 回目 Controlling Idea と Supporting Sentences (1)	15 回目 試験
8 回目 Controlling Idea と Supporting Sentences (2)	

◆**教科書** 丸沼『英語教育の精神と実践』 岡田善明 春風社 1,944 円（税込）（送料 300 円）
 〔当日資料配付〕英文テキスト

◆**参考書** スクーリングで紹介。

◆**成績評価基準** 試験を基本に、スクーリングの問題演習等も加味して評価する。

◆万葉集における東アジア世界

〔国文学演習 I ～ VI〕

木曜日 2 時限

開講単位：1 単位

担当者：近藤 健史

◆**学修到達目標** 古代日本と東アジア、特に中国大陸や朝鮮半島との間を行き来して、活躍した人は、多様な「もの」を運んだ。たとえば工芸品や書籍などの形ある「物」と、技術、情報、宗教などの形とならない「もの」がある。それを学び、文化交流について考える力を養うことを目標とする。

◆**授業方法** 受講生をグループに分け、各グループでテーマを決定し調査・研究して話し合い、まとめた結果を報告してもらう形式である。報告について全体討議・質疑応答することで、さらに問題点などを考え、深めるという方法を取る。

◆**準備学修** 万葉集の基礎的なこと、東アジアと古代日本の関係についてなど、調べておいて欲しい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 授業計画の説明	9 回目 発表と討議
2 回目 調査の分担・テーマの設定	10 回目 発表と討議
3 回目 万葉集入門	11 回目 発表と討議
4 回目 発表と討議	12 回目 発表と討議
5 回目 発表と討議	13 回目 発表と討議
6 回目 発表と討議	14 回目 発表と討議
7 回目 発表と討議	15 回目 まとめ
8 回目 発表と討議	

◆**教科書** 『万葉集（全歌が収められているもの）』

◆**参考書** 丸沼『遣隋使がみた風景』 氣賀澤・保規編 八木書店 4,104 円（税込）（送料 350 円）
 『唐代の朝貢と貿易（古代文化 50－9）』 榎本淳一 1998 年
 〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
 『遣唐使と正倉院』 東野治之 岩波書店 1992 年
 〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 発表 70%，レポート試験 20%，質疑応答 10%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆イギリス文学を辿るーシェイクスピア～ 17 世紀後半〔イギリス文学史 I〕

木曜日 2 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** シェイクスピアの時代から 17 世紀後半までの時代背景と思潮を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。

◆**授業方法** 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に各時代の背景と思潮を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像なども利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品について発表してもらう、あるいはコメントを提出してもらいます。

◆**準備学修** 第一回目の授業は前期の復習から始めます。後期の準備運動となるので、これまで学んだイギリス文学の特徴や代表的な作品には何があるのかを考えてきて下さい。下記シラバスに沿って授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。

◆**履修条件** イギリス文学史 I（平成 28 年度前期・東京スクーリング 7 月期）を履修していることが望ましい。また、平成 28 年度夏期スクーリング「イギリス文学史 I」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 前期の復習	9 回目 第 3 章ミルトンの時代 詩概説 宗教と文学
2 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 シェイクスピアの喜劇	10 回目 第 3 章ミルトンの時代 王党派の詩人 ヘリックの詩と映画
3 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 シェイクスピアの史劇	11 回目 第 3 章ミルトンの時代 形而上詩人 ハーバート
4 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 シェイクスピアの四大悲劇	12 回目 第 3 章ミルトンの時代 議会派詩人 ミルトン
5 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 シェイクスピアの四大悲劇	13 回目 第 3 章ミルトンの時代 形而上派詩人 ダン
6 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 シェイクスピアのロマンス劇	14 回目 第 3 章ミルトンの時代 形而上派詩人 ダンの言葉と映画
7 回目 第 2 章シェイクスピアの時代 散文概説 モアとベイコン	15 回目 第 3 章ミルトンの時代 散文概説 欽定訳聖書、後期のまとめ
8 回目 第 3 章ミルトンの時代 時代背景と思潮 詩概説	

◆**教科書** 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学』 ミネルヴァ書房 3,024 円（税込）（送料 350 円）

〔当日資料配付〕 当日にプリントを配布。

◆**参考書** 丸沼『英米文学事典』 ミネルヴァ書房 4,860 円（税込）（送料 460 円）

丸沼『たのしく読めるイギリス文学』 ミネルヴァ書房 3,024 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『映画で英詩入門』 平凡社 1,404 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。無遅刻・無欠席を前提に、授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（20%）・試験（60%）

◆マクロ経済学の基礎理論を学びましょう

【経済学概論】

木曜日2時限

オープン受講：不可

開講単位：2単位

担当者：藤本 訓利

◆学修到達目標 マクロ経済学の基礎理論を修得することによって、今日の経済の動きや経済政策について考察する力を身につけることができるようになります。

◆授業方法 パワーポイントを用いて、通信教育教材（000244「経済学概論」）に沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。

◆準備学修 指定した教材を事前に読んで来て下さい。また、教材の太文字の難しい経済用語については事前に調べておきましょう。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 マクロ経済学とはどのような学問か	9回目 貨幣の機能とマネーサプライ
2回目 国民経済計算：GDPの概念	10回目 通貨乗数と金融政策
3回目 マクロ経済循環と三面等価の原則	11回目 貨幣の需要と利子率の決定
4回目 物価とインフレーション	12回目 IS-LM分析と財政金融政策①
5回目 日本経済の現状	13回目 IS-LM分析と財政金融政策②
6回目 国民所得はどのように決まるか①	14回目 IS-LM分析と財政金融政策③
7回目 国民所得はどのように決まるか②	15回目 まとめと筆記試験
8回目 財政政策の効果：乗数理論	

◆教科書 教材『経済学概論 R20300』通信教育教材（教材コード000244）1,900円（送料込）

◆参考書 丸沼『入門 マクロ経済学（第5版）』中谷巖 日本評論社 3,024円（税込）（送料350円）

◆成績評価基準 平常点（練習問題等40%）と筆記試験（60%）で総合的に評価します。

◆英文法をより深く

【英文法】

木曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：真野 一雄

◆学修到達目標 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を全般的により深く修得します。

◆授業方法 原則、3回の授業で1章を見ていきます。テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問、練習問題も行います。必要に応じて別途の練習問題を行うこともあります。

◆準備学修 毎回、テキストを読み、練習問題の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 第6章 受動文	9回目 第9章 名詞句と文構造の多様性
2回目 第6章 受動文	10回目 第9章 名詞句と文構造の多様性
3回目 第6章 受動文	11回目 第10章 代用表現
4回目 第7章 準動詞	12回目 第10章 代用表現
5回目 第7章 準動詞	13回目 第11章 関係詞
6回目 第7章 準動詞	14回目 第11章 関係詞
7回目 第8章 形容詞	15回目 第11章 関係詞および 試験+質疑応答
8回目 第8章 形容詞	

◆教科書 丸沼『大学生のための現代英文法』開拓社 2,376円（税込）（送料300円）

◆参考書 丸沼『現代英文法講義』安藤貞雄 開拓社 7,128円（税込）（送料460円）

丸沼『英文法解説』江川泰一郎 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

丸沼『新英文法概説』山岡洋 開拓社 3,780円（税込）（送料350円） 他多数

◆成績評価基準 受講状況（10%）、試験（90%）で評価の予定。5回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆〈日・中・韓〉“つながり”の近現代史を学ぶ〔東洋史概論／東洋史概説〕

木曜日3時限

開講単位：2単位 担当者：菊池 敏夫

◆**学修到達目標** 日本、韓国に続いて中国が大規模な経済成長を遂げ、東アジアは今や世界の政治・経済にきわめて大きな影響を及ぼすに至っている事実や、また、その反面で、民族、文化の多様性に基づくズレや対立によって相互理解や協力がきわめて困難となっている現実を、一国史の視点ではなく、グローバル化が進んだ時代の多国間関係史という視点から理解できるようにする。

◆**授業方法** 原則として教科書に沿って講義の形で進めるが、必要に応じて発表、討議の形をとる。具体的なイメージづくりができるようフォト、動画、図像など「非文字資料」を用い、全体の理解が深まるような工夫をする。

◆**準備学修** 教科書を使用するので、シラバスの内容に即して当該授業の範囲を事前に熟読しておくこと。さらに、キーワードなどの下調べをしたり、教科書の不明瞭な箇所、疑問・質問点などを事前に確認したりしておくことが望ましい。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 なぜ日・中・韓の歴史を学ぶのか	9回目 戦後体制＝冷戦構造の再編成
2回目 東アジアと近代(1)	10回目 戦後秩序の再編成と東アジア(1)
3回目 東アジアと近代(2)	11回目 戦後秩序の再編成と東アジア(2)
4回目 第一次世界大戦期と東アジア	12回目 世紀転換期東アジア史の展開
5回目 第二次世界大戦と東アジア(1)	13回目 世紀転換期中国経済社会の史的展開
6回目 第二次世界大戦と東アジア(2)	14回目 21世紀東アジアの史的展開
7回目 戦後冷戦体制と「独立と革命」(1)	15回目 まとめと試験
8回目 戦後冷戦体制と「独立と革命」(2)	

◆**教科書** 〔丸沼〕『東アジア近現代史〔新版〕』上原一慶・桐山昇・高橋孝助・林哲著 有斐閣 2,808円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 授業の中で紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(2000字程度の課題レポート1回あり)と試験とにより総合的に評価します。毎回出席することを前提に評価します。

◆日本史研究の実践(文献編)〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕

木曜日3時限

開講単位：1単位 担当者：鍋本 由徳

◆**学修到達目標** 史学専攻生として身につける技術は、史料読解法と論文作成技術です。文献を読む力や注釈の付け方は一朝一夕で身につくものではなく、日々の練習が必要です。本科目では、概説書の記事を使って、史料的根拠や他文献での見解の異同を検討し、学説史上での位置付けを確認します。後期のみの受講も可能です。

◆**授業方法** はじめの数回は講師が解説し、2000字程度の最終レポート作成を目指してグループワークで学修します。冒頭15分程度は共通学修、以後をグループワークとします。なお、課題文献は初日に配布します。

◆**準備学修** 「論文の書き方」的な本を事前に読んでおくといでしょう。史料に慣れていない人は、配布プリントをよく学修してください。事前学修はグループごとで決めます。全体として事前学修すべきことは、講師から伝えます。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 日本史演習の目的と意義	9回目 文献比較と史料による実証作業
2回目 読解基礎 概説書と論文	10回目 実証作業と注釈箇所の検討
3回目 読解基礎 どこに注釈があるか	11回目 注釈箇所の決定と注釈文作成
4回目 読解基礎 学説史の重要性	12回目 全体文章の検討と修正
5回目 グループで文献からトピックを抽出	13回目 最終レポートの修正
6回目 グループでのテーマを決定	14回目 最終レポートの最終確認
7回目 関連文献・史料カードの作成	15回目 レポート発表会(各グループ)
8回目 関連文献・史料カードの作成(承前)	

◆**教科書** 〔当日資料配付〕初日に課題文献を配布(随時、参考プリントを追加します)

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業内グループワーク参加度(80%)、最終報告参加度(20%)の総合評価 ※全回出席を前提とします。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆マクロ理論を修得し、経済の動きを理解しましょう〔経済原論／経済学原論〕

木曜日 3 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：藤本 訓利

◆**学修到達目標** マクロ経済学の理論を学習し、いわゆる「経済を見る目」を養い、今日の経済の動きや経済政策について自分なりの考えを述べるができるようになります。

◆**授業方法** パワーポイントを用いて、通信教育教材に沿って講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めます。

◆**準備学修** 指定した教材を事前に読んで来て下さい。また、教材の太文字の難しい経済用語については事前に調べておきましょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 マクロ経済学とはどのような学問か	9 回目 IS-LM 分析と財政金融政策②
2 回目 国民経済計算	10 回目 IS-LM 曲線とオープンマクロ経済①
3 回目 国民所得の決定理論	11 回目 IS-LM 曲線とオープンマクロ経済②
4 回目 財政政策と乗数理論	12 回目 物価の決定理論
5 回目 投資量の決定理論	13 回目 インフレとデフレ
6 回目 貨幣とマネーサプライ	14 回目 消費と貯蓄
7 回目 貨幣の需要と利子率の決定理論	15 回目 まとめと筆記試験
8 回目 貨幣の需要と利子率の決定理論	

◆**教科書** **【教材】**『経済学原論 L20200／経済原論 R20100』 通信教育教材(教材コード 000159) 2,400 円(送料込)

◆**参考書** **【丸沼】**『入門 マクロ経済学(第5版)』 中谷巖 日本評論社 3,024 円(税込)(送料 350 円)

◆**成績評価基準** 平常点(練習問題等 40%)と筆記試験(60%)で総合的に評価します。

◆企業及び消費者の視点から商業政策を理解する。〔商業政策〕

木曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：雨宮 史卓

◆**学修到達目標** 本講義は、商業の各機能を論ずるだけでなく、商業の考え方を主体に述べる。最初に「商業とは何か」を学び、経営やマーケティングにどのような意味を持つかを理解する。歴史的に商業は「生産者の代理」として機能してきた。しかし、近年では消費者視点の発想が重要視されている。そのため、商業者が生活者の視点に立つ事の重要性を理解する事を念頭に置く。

◆**授業方法** ターム前半は、日本市場における商業の基本と歴史を理解する。ターム後半では実例を交えて、マーケティングを中心とした幅広い理論と知識の習得を目指す。尚、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー(小論文)の提出を求める。

◆**準備学修** ノートを必ず持参すること。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング(前期)「商業政策」との継続履修が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 授業の進め方 商業とは何か	9 回目 消費者視点の価値と価格
2 回目 商業機能の深化と拡大	10 回目 コミュニケーションとブランド
3 回目 商品における製品とサービスの比較	11 回目 フード・ビジネスと商業政策
4 回目 商業と流通	12 回目 商業政策と公共マーケティング
5 回目 商業とマーケティング	13 回目 IT と流通の変化
6 回目 小売業の役割と展開	14 回目 授業の総復習
7 回目 卸売業の役割と展開	15 回目 テストと解説
8 回目 物流・ロジスティックスの変遷	

◆**教科書** **【丸沼】**『現代商業学』 梅沢昌太郎編 慶應義塾大学出版会 2,700 円(税込)(送料 300 円)
【当日資料配付】 必要に応じて資料を配布する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** テスト(40%)、小論文(40%)、平常点(20%)
授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆授業デザイン力をつける

【教育の方法・技術論】

木曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：古賀 徹

◆**学修到達目標** この授業は、「教員としての授業実践力」を修得することを目的としています。そのために次のような順序で学びます。①「授業が成り立つ条件」を理解する。②様々な授業形態を歴史的に、あるいは諸外国と比較することでより深く理解する。③カリキュラム構成方法を修得することで、学習指導計画を組み立てられるようにする。④実際に作業することで教育方法のコツを修得する。①～④によって、授業づくりと実践力とをつけ（増し）ていきましょう。

◆**授業方法** 講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブラーニング型の方式を取り入れる。

◆**準備学修** 方法論の理論やその種類・系統を理解するだけではなく、さらにその理解したことを実際に活用すること、生徒の理解を前提とする授業を構成することができるようになることが大事です。
他の各教科の指導法（教科教育法）の授業やテキストの記述からも（実施する）「授業」に関するイメージを具体的にあらわせるように学んでおくことをおすすめします。毎回、前回までの授業と必ず関連した内容になっていますので、復習をしっかりとしておくこと。それが最終回までの授業でつながっていきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 「教える」ことと「学ぶ」こと	9 回目 カリキュラム構成の方法
2 回目 教育方法学の歴史（西洋教育方法史）	10 回目 カリキュラムづくりの実習
3 回目 教育方法学の歴史（日本の教育内容の変遷）	11 回目 学校カリキュラムを構成する
4 回目 「学習」概念（ヴィゴツキーの活動理論）	12 回目 学習指導案の種類とその構成
5 回目 授業形態の多様化（バズ学習、T.T 等）	13 回目 学習実践のロールプレイ
6 回目 「はなす」ことと「きく」こと	14 回目 教材研究・教育評価の方法
7 回目 「はなす・きく・かく・まとめる」	15 回目 教育デザイン力をつける
8 回目 問題解決学習と系統学習	

◆**教科書** 資料・レジュメを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

◆英語の基礎を徹底的に学ぶ 文法編

☆☆☆〔英語基礎 A〕

木曜日 4 時限

開講単位：1 単位 担当者：小澤 賢司

◆**学修到達目標** 本授業では、今後の英語学修の土台となる「基礎（基本）」を学ぶことを目標としています。この「基礎（基本）」を疎かにするとその後の「伸び」はあまり期待できません。本授業で扱う内容は中学卒業程度の文法事項、及び英文ですが、それらは決して「楽」や「易」とイコールではありません。この点には十分留意して、学修に臨んでください。後期に当たる本授業では、英語の「文法」を中心に学修していきます。
【本授業は、昼間（前期）開講の「英語基礎－英語の基礎を徹底的に学ぶ 品詞編－」と併せて受講することが望ましい】

◆**授業方法** 授業計画にある文法事項を1つ1つ丁寧に解説します。また、それらが用いられている英文とともに確認することで、理解向上も図ります。なお、受講者の様子（理解度）を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでの「目安」とお考えください。

◆**準備学修** 基本的に、「予習」の必要はありません。その代わりに、「復習」を「徹底して」行ってきてください。毎授業始めに復習テストを行います。また、「音読」に関しては特に注意して復習をしてください。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス 「品詞」と「文法」	9 回目 リスニング力をつけるには
2 回目 4大品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞） 「品詞」と「文の成分」	10 回目 『受動態』 （× This book was read by him. とは言わない）
3 回目 『現在形』（用法を中心に） 『過去形』（綴りと発音を中心に）	11 回目 『現在完了』（日本語にない文法） その1
4 回目 『単純形』（He plays tennis.）vs. 『進行形』（He is playing tennis.）	12 回目 『現在完了』（日本語にない文法） その2
5 回目 『命令文』（Change here to the Yamanote Line. の意味） 『疑問詞疑問文』（What do you do? の意味）	13 回目 『間接疑問文』
6 回目 『目的語と補語』 （I became a doctor vs. It became dark.）	14 回目 これまでの復習（予備日）
7 回目 『比較』（私は彼より背が高い） その1	15 回目 テスト
8 回目 『比較』（私は彼ほど背が高くない） その2	

◆**教科書** 適時プリントを配布します。
特に指定はしませんが、中辞典程度の英和辞典を必ず持参してください。
※持参していなかった場合、成績評価に大きく影響します。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（復習状況・発表など）、及びテストにより総合的に評価します。
※毎授業始めに復習テストを行いますので、遅刻をしないよう注意してください。

◆ *A Portrait of the Artist as a Young Man*(1916)を読む〔英米文学演習Ⅰ～Ⅲ〕

木曜日4時限

開講単位：1単位 担当者：猪野 恵也

◆**学修到達目標** James Joyce の *A Portrait of the Artist as a Young Man* を第四章から読む。他の作品群においてこの作品の占める位置についてまで考察を深められたらと思う。

◆**授業方法** 学生の発表を中心に進めていく。物語もそうだが言葉を重視したい。

◆**準備学修** 翻訳でいいので作品全体を読んでおくこと。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 作品読解	9回目 作品読解
2回目 作品読解	10回目 作品読解
3回目 作品読解	11回目 作品読解
4回目 作品読解	12回目 作品読解
5回目 作品読解	13回目 作品読解
6回目 作品読解	14回目 まとめ
7回目 作品読解	15回目 試験
8回目 作品読解	

◆**教科書** プリントを配布する。

◆**参考書** 授業中指示する。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み・テストにより総合的に評価します。

◆読む方法、書く方法、発表する方法〔哲学演習Ⅰ・Ⅱ〕

木曜日4時限

開講単位：1単位 担当者：中澤 瞳

◆**学修到達目標** 本演習は、論文を執筆するために必要と考えられる基本的なテキストの読み方、要約の作り方を習得することを目標とする。

◆**授業方法** 全体的な説明と課題提示の後は、グループごとに作業を行う。口頭発表も行う予定であるが、日程に関しては、人数を見たうえで調整する。

◆**準備学修** 必要であれば、論文の書き方に関する参考書を読むこと。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 ガイダンス	9回目 テキストを分析する⑤
2回目 論文とはなにか	10回目 テキストを分析する⑥
3回目 注・引用・参考文献について①	11回目 テキストを分析する⑦
4回目 注・引用・参考文献について②	12回目 テキストを分析する⑧
5回目 テキストを分析する①	13回目 発表
6回目 テキストを分析する②	14回目 発表
7回目 テキストを分析する③	15回目 発表
8回目 テキストを分析する④	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 資料プリントは授業ごとに配布します。

◆**参考書** **〔丸沼〕**『レポート・論文の書き方入門』 河野哲也 慶応義塾大学出版会 1997 1,080円(税込)(送料300円)

〔丸沼〕『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』 松本茂・河野哲也 玉川大学出版部 2007 1,620円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 授業、グループワークへの参加度(70%)、発表の講評(30%)により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆2つの大戦と日本経済

〔日本経済史〕

木曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：飯島 正義

◆**学修到達目標** 第1次大戦から第2次大戦後の高度経済成長期までの日本経済の特徴と問題点について理解を深めていくことを目標とする。

◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に授業を進めていくが、授業時における理解を確認するために何回か確認プリント等を実施する予定である。

◆**準備学修** 通信教育教材で関係する部分を予めよく読んでおいて下さい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 第1次大戦と日本経済	9 回目 復興期における日本経済の課題
2 回目 1920 年代の日本経済	10 回目 生産復興—傾斜生産方式
3 回目 金解禁と井上財政	11 回目 ドッジラインと特需
4 回目 昭和恐慌と高橋財政	12 回目 高度経済成長のメカニズム
5 回目 戦時経済体制の構築	13 回目 開放体制への移行
6 回目 戦時経済体制の崩壊(1)	14 回目 高度経済成長の問題点
7 回目 戦時経済体制の崩壊(2)	15 回目 総まとめと筆記試験
8 回目 敗戦と占領統治	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆**参考書** **〔教材〕**『日本経済史 R30500』 通信教育教材（教材コード 000416）3,550 円（送料込）
 〈この教材は市販の『日本経済史 1600-2000 一歴史に読む現代—』 浜野潔・中村宗悦著（慶應義塾大学出版会）と同一です〉
〔丸沼〕『概説日本経済史 近現代第3版』 三和良一著 東京大学出版会 2012 年 2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 平常点（取組み・確認プリント等）：40%、筆記試験：60%

◆ブランド戦略の現状と課題を理解する。

〔特殊講義（ブランド戦略論）〕

木曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：雨宮 史卓

◆**学修到達目標** 製品戦略の一領域を超え、「ブランド」に対する研究の重要性が高まっている。ブランド論はマーケティング戦略の中心課題へととなり、ブランド・マーケティングという新たな領域が築かれている。そのため、本授業では、ブランドの基本的機能を学習し、企業がブランドを構築・育成するためにいかなる活動・戦略を行っているかを理解する。

◆**授業方法** 半期完結型科目のため、前半はブランドの基礎的機能を平易に解説する。必要に応じて資料やデータを配布し、講義を中心に授業を進める。各授業の後半では、その日の主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆**準備学修** 手書きノート参照でテストを行う。そのため、毎回の授業のノート作成を心掛けること。その日のノートを見ながら復習を心掛けること。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 授業の進め方 ブランドとは何か？	9 回目 ブランド要素と作用
2 回目 ブランドの基本的概念	10 回目 自我関与とブランド選択
3 回目 ブランドの役割・機能	11 回目 経済価値の変化とブランド概念
4 回目 ブランドの種類と差別化の手段	12 回目 市場の変化とブランド概念の変遷
5 回目 マーケティング戦略とブランド戦略	13 回目 欧米・日本市場におけるブランド比較
6 回目 資産価値としてのブランド概念	14 回目 授業の総復習
7 回目 競争優位の源泉としてのブランド概念	15 回目 テストと解説
8 回目 ブランド拡張とコンフリクト	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 必要に応じて資料・データを配布する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近代以降の西洋哲学

〔西洋思想史Ⅱ〕

木曜日5時限

開講単位：2単位

担当者：中澤 瞳

◆**学修到達目標** 本講義の目標は、近代から現代にかけての西洋における哲学思想の展開を理解することである。

◆**授業方法** 講義を主体として、資料プリントを読み進めつつ、まとめていく。授業の進行具合によっては、授業計画に記載した内容に変更が生じる場合がある。その際は、随時授業中に指示する。

◆**準備学修** 特になし。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス他	9 回目 19c-20c：理性の危機、現象学
2 回目 19c：ニーチェ	10 回目 20c：言語論的転回
3 回目 19c：ニーチェ	11 回目 20c：言語論的転回
4 回目 19c：ニーチェ	12 回目 20c：言語論的転回
5 回目 19c-20c：理性の危機、現象学	13 回目 20c：生命と哲学
6 回目 19c-20c：理性の危機、現象学	14 回目 20c：生命と哲学
7 回目 19c-20c：理性の危機、現象学	15 回目 まとめ・筆記試験
8 回目 19c-20c：理性の危機、現象学	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 1 回目のガイダンス時に、使用するプリントを配布。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業への参加、貢献（30%）、試験（70%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

◆歴史の論文を書く

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

木曜日5時限

開講単位：1単位

担当者：藤井 信行

◆**学修到達目標** 4 年間の歴史学の勉強を卒業論文に集約させることが目的です。授業をととして卒業論文のテーマ決定・文献目録の作成・研究史の整理・資料の収集・文献の読解などを学び、歴史の論文を書くことへとつなげます。西洋史で卒業論文を予定している学生は、前期・後期と、さらに3年次・4年次と継続して受講することが望ましい。

◆**授業方法** 「ウイーン体制とヨーロッパ国際関係」をケーススタディとして、文献目録の作成・研究史の整理・文献の読解などをゼミナール形式の授業で行います。3 年次生は同じステップを各自の論文のテーマで行い、4 年次生はこうしたステップを各自のテーマでいま一度確認するとともに、2 度の報告をととして論文の完成へとつなげる。

◆**準備学修** 3 年次生はつねに論文のテーマを念頭に置いて、文献目録の作成・研究史の整理・文献の講読等に取り組んでください。4 年次生は、論文の全体構成・章立て・論証などを考えつつ授業に取り組んでください。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 3 年次生の卒論テーマ①－参考文献目録	9 回目 研究史の整理⑤－各自のテーマで報告
2 回目 3 年次生の卒論テーマ②－「実証」と「解釈」	10 回目 論文を読む①－共通テーマ
3 回目 3 年次生の卒論テーマ③－章立て	11 回目 論文を読む②－共通テーマ
4 回目 4 年次生の卒論最終報告（第 1 回）	12 回目 論文を読む③－各自のテーマで報告
5 回目 研究史の整理①－共通テーマ	13 回目 論文を読む④－各自のテーマで報告
6 回目 研究史の整理②－共通テーマ	14 回目 4 年次生の卒論最終報告（第 2 回）
7 回目 研究史の整理③－各自のテーマで報告	15 回目 3 年次生の卒論テーマ④－史料と資料
8 回目 研究史の整理④－各自のテーマで報告	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 当日プリントを配布する。

◆**参考書** 使用せず。

◆**成績評価基準** レポート 2 回（30%×2）、報告 30%、平常点 10%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆開放経済体系、経済政策と外国為替

〔国際経済論〕

木曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：陸 亦群

◆**学修到達目標** 国際経済論において、国際収支の基本的な考え方や基礎理論、開放経済体系下の経済政策、ならびに為替相場決定の理論や国際通貨制度等について学び、グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則として板書で授業を進める。必要に応じてパワーポイントを使用して講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。

◆**準備学修** 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前に経済学の基礎理論を予習し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 オリエンテーション	9 回目 国際マクロ経済政策②
2 回目 国際収支統計	10 回目 外国為替相場の決定メカニズム①
3 回目 外国為替市場	11 回目 外国為替相場の決定メカニズム②
4 回目 対外収支と貯蓄投資バランス	12 回目 為替相場の変動と市場介入
5 回目 外国貿易乗数と弾力性アプローチ	13 回目 外国為替制度の選択と国際通貨制度
6 回目 マクロ経済分析の基礎	14 回目 市場化とグローバル化
7 回目 IS-LM-BP 分析	15 回目 講義のまとめ
8 回目 国際マクロ経済政策①	

◆**教科書** 通材『国際経済論 R31100』 通信教育教材（教材コード 000281）2,000 円（送料込）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 定期試験 80%、講義態度（出席）20%。国際経済学の基礎理論を身に付けているかを判定する。

◆政治・経済の学習づくり

〔社会科・公民科教育法Ⅱ〕

木曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：古賀 徹

◆**学修到達目標** 社会科・公民科教育の目的と教育内容について理解を深め、実践的な授業方法を身につけられるようにする。「現代社会」「倫理」「政治・経済」の各分野について必要とされる基礎知識を学び、適する教授方法を考えていく。特に現代社会および政治・経済の課題を中心に授業づくりをしていきたい。

◆**授業方法** 教科内容及び授業法の講義を行うが、各自 1 回以上の模擬授業を実践する。学習指導案を作成しての模擬授業と、その批評検討を通して学びあう授業とする。

◆**準備学修** 中学校（社会科）・高等学校の公民科に関する教科書の記述内容について、事前に読んで理解しておく、実際にとりくむ授業づくりにおいて「授業」（生徒の学習活動）がイメージしやすくなります。授業中にも紹介しますが、学習指導要領（文部科学省ホームページからも確認可能）の記述に目を通しておくことも大事になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 公民科授業のねらい（学習指導要領）	9 回目 模擬授業(1)
2 回目 中学校「社会」と高等学校「公民科」の連続性とねらい	10 回目 模擬授業(2)
3 回目 「現代社会」－目標、内容、教材研究の視点	11 回目 授業研究…持続可能な社会づくりと経済
4 回目 指導案作成の方法（授業づくり）	12 回目 授業研究…グローバル化の進行と国際経済
5 回目 「思考力」「言語活動」を含む授業計画	13 回目 模擬授業と評価
6 回目 授業研究…民主政治の思想	14 回目 生徒参画型の授業設計
7 回目 授業研究…民主政治のしくみ	15 回目 公民科教員としての授業力とは
8 回目 授業研究…民主政治の変化と現代社会	

◆**教科書** 資料・レジュメを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆**成績評価基準** 学習指導案を指定した分、作成して提出する。模擬授業を複数回行い、授業づくり（教材研究）への取り組み、グループワークへの参加度を加味して総合的に評価する。毎回出席を前提とする。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆市民に役立つ刑事訴訟法 〔刑事訴訟法〕

金曜日 1 時限 オープン受講：不可 開講単位：2 単位 担当者：船山 泰範

◆**学修到達目標** 市民の目で刑事訴訟法を見ることにするが、後期では、応用問題に取り組む。なお、刑事法のまとめを行う。

◆**授業方法** 講義を中心とするが、質問の時間を設けるので、遠慮なく質問し、できるだけ疑問を解消してほしい。刑務所参観（あるいは更生施設）を組み込むので、必ず参加すること。

◆**準備学修** 教科書ならびに参考書を予習して臨んでほしい。刑法総論・各論を復習しておいて頂きたい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 刑法に見る刑事訴訟法	9 回目 少年法は刑訴法の究極か
2 回目 犯罪阻却理論のねらい	10 回目 違法収集証拠の排除法則
3 回目 規範としての刑事訴訟法	11 回目 疑わしきは被告人の利益に
4 回目 なぜ社会的弱者が起訴されるか	12 回目 死刑存廃論
5 回目 冤罪の責任は誰が負う	13 回目 なぜ刑事の模擬裁判でなければならないか
6 回目 量刑の判断基準	14 回目 法育をすすめる
7 回目 懲役刑は再犯防止に役立っているか	15 回目 刑務所参観（更生施設）・まとめ
8 回目 取り返しがつかない刑罰は許されるか	

◆**教科書** 〔丸〕『NEXT 教科書シリーズ 刑事訴訟法』 関正晴編 弘文堂 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 〔丸〕『NEXT 教科書シリーズ 刑事法入門』 船山泰範編 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 期末試験 80%，平常点 20%

◆中国古代の哲学思想 〔東洋思想史Ⅰ〕

金曜日 1 時限 開講単位：2 単位 担当者：本間 直人

◆**学修到達目標** 中国古代の哲学思想を概観します。後期は荀子、老子、荘子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。（前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい）

◆**授業方法** 中国古代の哲学者・思想家たち、それぞれの哲学思想の特質をつかむことに留意しながら、発表形式で授業を行います。又、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めていきます。したがって、東洋思想に興味を持ちながら、漢文に対する抵抗感から、今まで本格的な学習を思いとどまっていた方の受講も歓迎します。

◆**準備学修** 授業で取り上げる哲学者・思想家についての参考書は、数多く出版されています。図書館、又は書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これからの学習に特に重要なことなのです。

◆**履修条件** 平成 27 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「東洋思想史Ⅰ」との積み重ね不可。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス・荀子の思想について（人物・生涯）	9 回目 老子の思想について（＜道＞の体現）
2 回目 荀子の思想について（理論的思惟）	10 回目 老子の思想について（＜道＞の展開―市中の隠者―）
3 回目 荀子の思想について（定命論）	11 回目 老子の思想について（＜道＞の行為―＜無為＞―）
4 回目 荀子の思想について（礼）	12 回目 荘子の思想について（人物・生涯）
5 回目 荀子の思想について（定命論的礼理論と宿命論的現象）	13 回目 荘子の思想について（万物斉同）
6 回目 荀子の思想について（定命論的礼理論の限界）	14 回目 荘子の思想について（その人となり）
7 回目 老子の思想について（＜道＞―真理・力―）	15 回目 学習内容のまとめ
8 回目 老子の思想について（＜道＞への道程―修行―）	

◆**教科書** 〔通〕『東洋思想史Ⅰ P20300』 通信教育教材（教材コード 000392）1,950 円（送料込）
〔当日資料配付〕 当日プリント配布。漢和辞典を用意してください。

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ハイテク産業の経済地理

〔経済地理学／経済地理〕

金曜日 1 時限

開講単位：2 単位

担当者：田村 和彦

◆**学修到達目標** ハイテク産業は、経済の情報化の重要な担い手になっていると同時にグローバル化を推進させている。そこから生じる諸問題に考えてみる。

◆**授業方法** 講義方式。

◆**準備学修** 教科書を読んで予習するだけでなく、マスメディアを通して経済状況についても考えること。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 経済のサービス化と情報化とは。	9 回目 企業の海外立地戦略。
2 回目 経済のソフト化について。	10 回目 日本企業の海外進出①。
3 回目 経済の情報化とハイテク産業とは。	11 回目 日本企業の海外進出②。
4 回目 ハイテク産業の定義。	12 回目 日本企業の多国籍企業化。
5 回目 情報ネットワーク化社会。	13 回目 農業の企業家・ノイテク化。
6 回目 サービス化社会の進展。	14 回目 農業と関連産業。
7 回目 ハイテク産業の立地の特徴。	15 回目 まとめ
8 回目 経済のグローバル化の進展。	

◆**教科書** **通材**『経済地理学 R32600／経済地理 S32200』 通信教育教材（教材コード 000233）2,050 円（送料込）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 最終筆記試験。

◆知の歴史を概観する

〔哲学 B〕

金曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：中澤 瞳

◆**学修到達目標** 本講義の目標は、近代から現代までの西洋の哲学の歴史を、それぞれの時代を代表する著名な思想家の発言とされる文章、考え方を通して理解することである。哲学を難解な学問だと忌避するのではなく、ありがたいものとして崇めまつるのでもなく、参加者それぞれが自分の視点を意識しながら、哲学的な考え方に向き合うことができるようになることも目的とする。

◆**授業方法** 講義形式で行う。資料プリントを読み進めつつ、まとめていく。進行具合によっては、授業計画に記載した内容が前後する場合がある。その際は、随時授業中に指示する。また、複数回の小レポート（授業内で記述し、提出する簡単なレポート）を行う。

◆**準備学修** 特に準備学修の必要はない。ただし、哲学史の概説書、入門書を読むことは理解を深めるのに役立つ。参考文献は授業ごとに紹介する。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 ガイダンス	9 回目 プラグマティズムの思想家たち
2 回目 カント	10 回目 言語論的転回
3 回目 カント	11 回目 ポーヴォワール、サルトル
4 回目 フィヒテ、シェリング	12 回目 ポーヴォワール、サルトル
5 回目 マルクス、ヘーゲル	13 回目 フッサール、メルロ＝ポンティ
6 回目 ニーチェ	14 回目 フッサール、メルロ＝ポンティ
7 回目 ミル、ベンタム	15 回目 まとめ・筆記試験
8 回目 ミル、ベンタム	

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 資料は授業ごとに配布する。

◆**参考書** **通材**『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,350 円（送料込）
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です〉

◆**成績評価基準** 授業への参加、貢献（20%）、小レポート（30%）、試験（50%）により総合的に評価する。なお、評価は毎回出席することを前提としている。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語の基礎力を身につける

★★☆〔英語 H〕

金曜日2時限

開講単位：1単位

担当者：福島 昇

◆学修到達目標 [初級] TOEIC 350 点程度の英語表現で用いられる文法事項の基礎力を身につける。

TOEIC 350 点程度の英語表現で用いられる語彙の基礎力を身につける。

TOEIC 350 点程度の英語表現で用いられる内容を把握する基礎力を身につける。

◆授業方法 前期までに学習した内容を踏まえ、社会における実用的な英語表現に関する英語運用能力の重要性を理解させた上で、そのための英語学習を主体的に進める。学習内容としては、英語運用能力をさらに養うことを目指して、実用的な英語表現およびそこで必要とされる基本的文法を学習する。

◆準備学修 * 授業計画にしたがって準備学修をする。

* 教科書の予習・復習の際、よくわからないところを明確にして授業に臨む。

* 英文音読や英語で話す際、強弱リズム・音の連結・音の同化現象・sense group などに注意する。

◆履修条件 予習と復習を必ず行い、疑問点は教員の説明を聞いて、さらに質問をして疑問点を解決する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目	ガイダンス。授業の方針、学修到達目標確認試験について	9 回目	Listening Trainer: 38-39. TOEIC のプリント. The New Girl Friend (2)小テスト
2 回目	Listening Trainer: 26-27. TOEIC のプリント. The Way Up to Heaven (1)小テスト	10 回目	Listening Trainer: 40-41. TOEIC のプリント. The New Girl Friend (3)小テスト
3 回目	Listening Trainer: 28-29. TOEIC のプリント. The Way Up to Heaven (2)小テスト	11 回目	Listening Trainer: 42-43. TOEIC のプリント. The New Girl Friend (4)小テスト
4 回目	Listening Trainer: 30-31. TOEIC のプリント. The Way Up to Heaven (3)小テスト	12 回目	Listening Trainer: 44-45. TOEIC のプリント. The New Girl Friend (5)小テスト
5 回目	Listening Trainer: 32-33. TOEIC のプリント. The Way Up to Heaven (4)小テスト	13 回目	期末試験: Listening Trainer: 36-45. TOEIC のプリント. The New Girl Friend: 64-80.
6 回目	Listening Trainer: 34-35. TOEIC のプリント. The Way Up to Heaven (5)小テスト	14 回目	学修到達目標確認試験 (リスニングとリーディング)
7 回目	中間試験: Listening Trainer: 26-35. TOEIC のプリント. The Way Up: 42-63.	15 回目	後期のまとめ、試験の結果発表、後期の総括、英語の基礎力を身につけるための助言
8 回目	Listening Trainer: 36-37. TOEIC のプリント. The New Girl Friend (1)小テスト		

◆教科書 〔丸沼〕『英語耳を鍛えるリスニングドリル (Listening Trainer for English Communication)』 南雲堂 1,404 円 (税込) (送料 215 円)

〔当日資料配付〕 TOEIC 350 点程度のプリントを配布

〔丸沼〕『ダールとレンデル: ミステリー短編集 (Four Mysteries by Dahl and Rendell)』 朝日出版社 1,362 円 (税込) (送料 215 円)

◆参考書 高等学校で使用した英語の教科書 教室で説明します。

◆成績評価基準 小テスト: 25%, 中間試験: 25%, 期末試験: 25%, 学修到達目標確認試験: 25%

◆**中学英語をフランス語に変換します。**

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

金曜日 2 時限

開講単位：1 単位

担当者：大庭 克夫

◆**学修到達目標** 英語にすれば中 1～中 2 レベルの内容が、仏語でも言えて・書けて・聴き取れるようにするのが目標です。また 11 月の実用フランス語検定試験 5 級（意欲のある人なら 4 級も可能）にもぜひチャレンジしていただきたいと思います。授業でも過去問を使ってそのための演習時間を割く予定です。

◆**授業方法** 授業は何と言っても不規則動詞の活用（大切なもの 10 数種類）と基本表現（曜日・月・季節・男性国名 / 女性国名など）を身に付けるのがメインです。授業自体は前期同様＜ゼミ形式＞で進めていきます。

◆**準備学修** 未習外国語の学習はレングを 1 段ずつ垂直に積み上げていくのと同じです：2 段目のレングが 1 段目の上にしか載らないように、仏語もそれまでの内容をきちんと身に付けない限り新しい内容を習得することは不可能です。前週に習った事柄をしっかり覚えてから翌週の授業に臨むこと、これが取りも直さず最大の予習です。

◆**履修条件** 平成 27 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「フランス語Ⅰ・Ⅱ」との積み重ね不可。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回目 数・曜日・月・季節 m の習得 1	9 回目 実用フランス語検定試験演習 2
2 回目 数・曜日・月・季節 m の習得 2	10 回目 不規則動詞の活用と用例 4
3 回目 ＜第 2 群規則動詞＞の活用と用例	11 回目 不規則動詞の活用と用例 5
4 回目 不規則動詞の活用と用例 1	12 回目 不規則動詞の活用と用例 6
5 回目 不規則動詞の活用と用例 2	13 回目 期末試験範囲まとめとヒヤリング演習
6 回目 不規則動詞の活用と用例 3	14 回目 後期期末試験
7 回目 後期中間試験	15 回目 期末試験の返却と解説、今後の課題
8 回目 実用フランス語検定試験演習 1	

◆**教科書** 授業に用いるプリントと CD は後期授業開始時にこちらで配布します。
前期同様、授業時には仏和辞典を必ず携帯してください。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験は中間と期末の 2 回行い、成績はこの試験の結果で判定します。なお試験は全問＜和文仏訳＞と＜ヒヤリング形式＞（＝原文を書き取ったのち和訳）で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一などは一切出題しません。

◆歴史学の論文を書くために

〔史学概論〕

金曜日2時限

開講単位：2単位

担当者：高綱 博文

◆**学修到達目標** 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学を学んでいく上で必要不可欠な基礎的・技術的な知識を学習する。さらに激動する現代世界に対応するために現在進行しつつある歴史学の革新について学び、「新しい歴史学」のあり方について考える。

◆**授業方法** 歴史学の使命・技法及び革新について論述し、授業中に配布した資料を解説しながら行う。後期には受講生全員に卒業論文のテーマの概要と研究計画について報告してもらいます。

◆**準備学修** 下記の参考文献を予め学習しておくことが望ましい。

◆**履修条件** 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「史学概論」を履修していることが望ましい。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 ガイダンス	9回目 歴史論文の技法(1)
2回目 時代区分論	10回目 歴史論文の技法(2)
3回目 地域区分論	11回目 歴史論文の技法(3)
4回目 歴史学の史資料論(1)	12回目 歴史論文の技法(4)
5回目 歴史学の史資料論(2)	13回目 卒論構想報告(1)
6回目 歴史学の史資料論(3)	14回目 卒論構想報告(2)
7回目 歴史学の史資料論(4)	15回目 卒論構想報告(3)
8回目	

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 丸沼『歴史学ってなんだ?』 小田中直樹 PHP新書 734円(税込)(送料215円)

丸沼『歴史学入門』 福井憲彦 岩波書店 1,836円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 試験(50%)、レポート及び卒論構想報告(50%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆ロシアの政治、文化、社会2（近現代ロシア史）

〔西洋史特講Ⅰ〕

金曜日2時限

開講単位：2単位

担当者：池本 今日子

◆**学修到達目標** 相互に関係するロシアの国家、社会、文化、外交の歴史の特徴について、事実に沿って理解出来る。

◆**授業方法** ロシアの外交、内政、文化の歴史は深く絡み合っている。この授業では、19世紀後半以降のロシアの政治、外交、文化の歴史を具体的に辿り、その特徴について考察する。定式的な理解とは違う事実も積極的に紹介する。最もよく知られた文豪達の時代と前衛芸術の時代を含む。芸術作品やDVDも鑑賞する。

◆**準備学修** ロシア史の入門書でもよいし、小説、歴史小説を読む、あるいは、映画など積極的に鑑賞するとよい。教場でも紹介する。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 導入。19世紀半ばのロシア	9回目 ニコライ2世②政治
2回目 アレクサンドル2世①政治	10回目 ニコライ2世③思想・文化
3回目 アレクサンドル2世②外交	11回目 レーニン①政治と外交
4回目 アレクサンドル2世③思想・文化	12回目 レーニン②文化
5回目 アレクサンドル3世①政治	13回目 スターリン 政治、外交、文化
6回目 アレクサンドル3世②外交	14回目 スターリン後へ
7回目 アレクサンドル3世③文化	15回目 まとめ
8回目 ニコライ2世①外交	

◆**教科書** プリント配布。

◆**参考書** 教場で指示。

◆**成績評価基準** 試験の成績80%、リアクションペーパー20%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史の中に商業をみる

〔商業史〕

金曜日 2 時限

開講単位：2 単位

担当者：横山 則孝

◆**学修到達目標** 商業に関連する学問を学ぶにあたって、ひととおり商業の歴史にも通じておくことは必要であろう。そこで商業の歴史的展開についての概要の理解を深める。

◆**授業方法** 講義形式で進めていくが、必要に応じて「史料」の読みもおこないたいと思っているので、その際には各自に読んでもらうことも考えている。

◆**準備学修** 高等学校の教科書「日本史 B」の中に登場する商業関連の用語をひろって理解しておいてほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 近世封建社会と商業	9 回目 問屋制の成立
2 回目 近世初期特権商人から新興商人へ	10 回目 近世前期の商業政策
3 回目 三井高利	11 回目 株仲間
4 回目 鴻池家	12 回目 近世中後期の商業
5 回目 住友家	13 回目 専売制の展開
6 回目 近江商人中井源左衛門	14 回目 近世奉公人（丁稚制度）
7 回目 三井家の家訓	15 回目 まとめ（テスト）
8 回目 三井家の歴史	

◆**教科書** 教材『商業史 S32100』 通信教育教材（教材コード 000197）3,950 円（送料込）
〈この教材は市販の『日本商業史』藤田真一郎他著（有斐閣）と同一です〉

◆**参考書** 『体系日本史叢書 13 流通史 1』 豊田武・児玉幸多編
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 平常点 20%，試験 80%

◆スポーツトピックで楽しく学ぶ易しい英語

★★☆〔英語 J〕

金曜日 3 時限

開講単位：1 単位

担当者：中村 則子

◆**学修到達目標** 2020 年に開催される東京オリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。この科目では易しい英文で書かれたスポーツのトピックを読解し、演習問題を解くことで楽しく英語を身につけていく。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆**授業方法** テキストに沿って、英文を読み、演習問題を行うことで、英語の 4 技能のうち主に reading のスキルを習得していく。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆**準備学修** ガイダンスは初回のみ行うので受講希望者は初回から出席することが望ましい。テキストをできるだけ早く入手し、最初の章に目を通して、判らない単語を辞書で調べて演習問題を解き、十分に予習しておくこと。また、日ごろから、英語の記事を視聴したりして、スポーツに限らず、メディアから英語で情報を入手する作業をしてほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 Unit 10 The Cutting Edge
2 回目 Unit 7 Helping Your Opponent	10 回目 Unit 11 Match-Fixing
3 回目 Unit 7 Helping Your Opponent	11 回目 Unit 11 Match-Fixing
4 回目 Unit 8 Ghost Goals	12 回目 Unit 12 Heroes Inspire Heroes
5 回目 Unit 8 Ghost Goals	13 回目 Unit 12 Heroes Inspire Heroes
6 回目 Unit 9 Rituals and Superstitions	14 回目 復習もしくは小テスト
7 回目 Unit 9 Rituals and Superstitions	15 回目 期末試験
8 回目 Unit 10 The Cutting Edge	

◆**教科書** 丸沼『Spotlight on Sports』 金星堂 2,052 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** 参考書、辞書はガイダンスにて指示。

◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆政治を観る眼を養う

〔政治学原論〕

金曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：吉野 篤

◆**学修到達目標** 主として現代の政治過程のさまざまなアクター、中でも政党、選挙制度を中心に上げ、政治過程の諸側面について考察することで、政治の現実的な営みを理解すること。併せて20世紀の政治学の歩みを振り返ることで、学問としての政治学の概要を理解すること。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で行い、時宜に応じて新聞報道を題材として配布し、現実の政治問題がどのように生じし、どのような解決を迫られているかを考える。

◆**準備学修** メディアの政治報道を注意深く観察して、興味を高めること。もちろん、テキストの該当箇所をよく読み、問題点を整理すること。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 政治過程論の概説	9回目 政治過程論の概要
2回目 大衆社会論	10回目 シカゴ学派の生成と展開
3回目 政党の概念と機能	11回目 行動論政治学の特質
4回目 政党システムの分析枠組み①	12回目 政治システム論の概要
5回目 政党システムの分析枠組み②	13回目 脱行動論革命について
6回目 選挙の意義と機能	14回目 政治学の新展開①
7回目 選挙制度の諸側面	15回目 政治学の新展開②・まとめ
8回目 アメリカ政治学の特質	

◆**教科書** 〔丸沼〕『政治学』 山田光矢編著 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業の中で指示する。

◆**成績評価基準** 基本的には期末試験で評価する。場合によっては出席点を加味する。

◆シェイクスピア

〔西洋古典〕

金曜日3時限

開講単位：2単位

担当者：福島 昇

◆**学修到達目標** シェイクスピアだけでなく、その他の西洋演劇、日本演劇（歌舞伎、文楽、能・狂言、新派、大衆演劇）なども理解できる。

◆**授業方法** シェイクスピアと『恋の骨折り損』の諸問題について議論し、批評的感想（おしゃべり）などを述べる習慣を身につける。ギリシア悲劇、現代劇、黒人演劇、日本演劇、日本文学などにも話題を広げる。

◆**準備学修** テキストを事前に読んでおくこと。毎回70行ぐらい読むことを目標とする。授業の最後に次回の授業の範囲を説明します。詳しくは下記の授業計画を参照。

◆**履修条件** 予習と復習を必ず行い、疑問点は教員の説明を聞いて、さらに質問をして疑問点を解決する。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回目 ガイダンス：授業の方針、学修到達目標確認試験について	9回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.2.38-4.2.100
2回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 2.1.223-3.1.35	10回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.2.101-4.3.19
3回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 3.1.36-3.1.104	11回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.3.19-4.3.87
4回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 3.1.105-3.1.167	12回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.3.88-4.3.147
5回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 3.1.168-4.1.47	13回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.3.148-4.3.216
6回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.1.48-4.1.117	14回目 学修到達目標確認試験（期末試験）：4.1.118-4.3.216
7回目 学修到達目標確認試験（中間試験）：2.1.223-4.1.117	15回目 後期のまとめ、試験の結果発表、後期の総括
8回目 <i>Love's Labour's Lost</i> 4.1.118-4.2.37	

◆**教科書** 『恋の骨折り損 *Love's Labour's Lost*』 William C. Carroll 編集 The New Cambridge Shakespeare (Cambridge: Cambridge University Press, 2001) ペーパーバック
アマゾン等で事前に用意してください。

◆**参考書** 高等学校で使った英語の教科書
教室で説明します。

◆**成績評価基準** 学修到達目標確認試験（中間試験：50%、期末試験：50%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆世界、日本とのアメリカ経済の学修

〔アメリカ経済論〕

金曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：小林 通

◆**学修到達目標** 本講義の到達目標は、アメリカ経済の動向を時系列的経緯や経済理論との関連によって学修し、そこから現実のアメリカ経済が、世界・日本経済にどのような影響を与えているのかを理解することにあります。具体的には新聞・雑誌に掲載されているアメリカに関する経済記事や経済問題を世界との動向でそれを理解できることにあります。

◆**授業方法** 授業方法は、講義の内容が一方的にならないように注意し、その理解度を勘案して双方向的な関係で受講者の自主性や学習意欲を高めるように工夫します。具体的には受講生の質問を通じてその理解度を測ったり、単元ごとに講義の内容に沿った課題を授業中に課題し、受講生みんなでその問題について回答するように進めていきます。

◆**準備学修** 準備学修は、以下のような授業計画に沿って講義を進めていきますが、講義の内容や時間の都合によって思ったように実施できないこともあります。そのため受講生は、新聞などをできるだけ毎日読むようにしていただきたいとします。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 1970 年代のアメリカ経済	9 回目 リーマン・ショック
2 回目 2 度のオイル・ショック	10 回目 サプライムローン問題
3 回目 ニクソン・ショック	11 回目 アメリカ経済不況の影響
4 回目 スミソニアン合意	12 回目 北米自由貿易協定
5 回目 レーガノミクスの実施	13 回目 Tpp とアメリカ経済
6 回目 G5 のブラザ合意	14 回目 tpp における米国の役割
7 回目 レーガノミクスの明暗	15 回目 今後のアメリカ経済
8 回目 グローバル化時代の米国	

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 丸沼『国際政治経済学新論』 小林他共編 時潮社 2013 年 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 受講生の出席を基準として、単位ごとの終了した後の課題、小テストおよび学期末試験の成績により評価します。

◆分析手法の背景を理解する

〔市場調査論〕

金曜日 3 時限

開講単位：2 単位

担当者：最上 健児

◆**学修到達目標** 分析手法を前提とするデータの形式を理解する。

最小二乗法と非線形最小二乗法の違いを理解する。

二項ロジットモデルとロジスティック回帰分析の違いを理解する。

◆**授業方法** 各回の講義の前半の時間を使い、その日に使う数学的な質気を確認し、各種の統計モデルを詳細に説明する。

◆**準備学修** 毎回の授業では一回ごとに完結する話題となるよう配慮しているが、全講義を通じて大きな一つ的话题を取り扱っている。欠席した場合などは欠席したときの資料を熟読し、内容を把握しておくことが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 X^n の微分と対数変換	9 回目 第一種極値分布
2 回目 需要の価格弾力性	10 回目 2 項ロジットモデルの確率的部分
3 回目 確率の推定方法	11 回目 2 項ロジットモデルの確定的部分
4 回目 ロジスティック曲線	12 回目 多変数化と選択肢固有の魅力度
5 回目 ロジスティック変換による推定	13 回目 多項ロジットモデル
6 回目 最尤推定による推定	14 回目 無関係な選択肢からの独立性
7 回目 ロジスティック回帰分析の解釈	15 回目 まとめ
8 回目 2 項ロジットモデルと確率の公理	

◆**教科書** インターネットより配信する。
http://www.geocities.jp/mogami_shiryokan/

◆**参考書** 丸沼『リテラルデータ分析入門』 上田隆穂他 (株)中央経済社発行 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** レポートにより評価する。（100%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆「自由」と「正義」について考え直してみよう

〔社会学〕

金曜日4時限

開講単位：2単位

担当者：服部 慶亘

◆**学修到達目標** 世の中は「自分の思い通りにいくものではない！」ということを理解しなければ、社会生活を成り立たせることは出来ない。また、自分が正しいと信じたことが正当に評価されないことも多い。すなわち、我々の日常生活には様々な規制や拘束・束縛が存在するのである。そこで、前期の講義内容をもとにしつつ、「自由」「正義」をキーワードに目の前の現実を見つめ直すことを目指すが、本講義の目的である。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。また、前期の講義内容との関連性も随時紹介する。

◆**準備学修** 特別な予習は必要としないが、講義で紹介された事例・法則・理論・概念などを自分自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）した上で、次の講義にのぞんでほしいと思う。社会学を単なる「机上の学問」としてではなく、日常の（あるいは自分自身の）あらゆる場面と密接に関連した学問としてとらえてほしい。

◆**履修条件** 前期から続けての履修が望ましい（後期入学生を除く）。

◆授業計画〔各90分〕

1回目 講義目標・目的の確認	9回目 「絆」の含意② 人間関係と「絆」
2回目 「自由」は何か？① 「自由」の定義	10回目 「絆」の含意③ 日本人と「絆」
3回目 「自由」とは何か？② 「自由」の阻害	11回目 日本（人）的人間関係① 愛と共感性
4回目 「正義」の含意① 「正義」の定義	12回目 日本（人）的人間関係② 和合
5回目 「正義」の含意② 「正義」の具体例	13回目 日本（人）的人間関係③ 仲間意識
6回目 「正義」の含意③ 「正義」の相対性	14回目 日本（人）的人間関係④ 相互依存
7回目 「正義」の含意④ 「正義」の絶対性	15回目 まとめ
8回目 「絆」の含意① 本来的意味	

◆**教科書** 丸沼『人間生活の理論と構造』 夏刈康男（ほか） 学文社 2,700円（税込）（送料350円）
丸沼『補強版ストレス・スパイラル』 服部慶亘 人間の科学社 1,296円（税込）（送料300円）

◆**参考書** プリント配布。

◆**成績評価基準** 終講試験（70%）、受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する。
なお、全講義回数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

◆基礎から始めるやさしい英語

☆☆☆〔英語基礎 B〕

金曜日 4 時限

開講単位：1 単位

担当者：中村 則子

◆**学修到達目標** この科目では、忘れかけている英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで、英文の読解力を身につけていく。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆**授業方法** テキストに沿って、解説を読み、演習問題を行うことで、英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容や演習問題の解答を発表してもらう。後期のこの授業は、進み具合により、シラバスの予定を変更する可能性があることをおことわりしておく。

◆**準備学修** ガイダンスは初回のみ行うので受講希望者は初回から出席することが望ましい。テキストをできるだけ早く入手し、最初の章に目を通して、判らない単語を辞書で調べて演習問題を解き、充分に予習しておくこと。また、日ごろから、英語の音楽を聴いたり、洋画を見たりして、英語の世界に親しんでほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 Unit 20 不定詞 (Ⅱ)
2 回目 Unit 13 接続詞 (Ⅰ)	10 回目 Unit 21 It の特別用法
3 回目 Unit 14 不定詞 (Ⅰ)・動名詞 (Ⅰ)	11 回目 Unit 22 分詞・動名詞 (Ⅱ)
4 回目 Unit 15 受動態	12 回目 Unit 23 関係代名詞
5 回目 Unit 16 完了形	13 回目 Unit 24 仮定法
6 回目 Unit 17 接続詞 (Ⅱ)	14 回目 復習もしくは小テスト
7 回目 Unit 18 5 つの基本文型	15 回目 期末試験
8 回目 Unit 19 各種疑問文	

◆**教科書** 丸沼『English Primer (Revised Edition)』南雲堂 2,052 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 参考書、辞書はガイダンスにて指示。

◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

◆近世の小説をじっくり読んでみよう

〔国文学概論〕

金曜日 4 時限

開講単位：2 単位

担当者：山崎 泉

◆**学修到達目標** 近世小説を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』の中から「菊花の約」を講読します。一つの章をじっくりと読み進めることにより、古典作品の読解力向上及び大学で国文学を学ぶ上での基本的なスキル習得を目指します。

◆**授業方法** 主に講義形式で行います。

まず、近世小説のジャンルとそのおおまかな歴史、さらに上田秋成の伝記と『雨月物語』について概説し、その後、「菊花の約」の本文を読み進めていきます。

◆**準備学修** テキストに一通り目を通しておいて下さい。授業においては原文を中心に読み進めていきます。

講読に際しては、原文の音読を受講生の皆さんにそれぞれ分担して担当して頂く予定ですので、きちんと読めるように事前に準備をして置いて下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 近世小説の世界 (ジャンルと歴史)	9 回目 「菊花の約」講読⑥
2 回目 上田秋成 人と文学	10 回目 「菊花の約」講読⑦
3 回目 『雨月物語』と「菊花の約」について	11 回目 「菊花の約」講読⑧
4 回目 「菊花の約」講読①	12 回目 『雨月物語』その他の章について
5 回目 「菊花の約」講読②	13 回目 溝口健二監督『雨月物語』鑑賞①
6 回目 「菊花の約」講読③	14 回目 溝口健二監督『雨月物語』鑑賞②
7 回目 「菊花の約」講読④	15 回目 まとめ
8 回目 「菊花の約」講読⑤	

◆**教科書** 丸沼『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』上田秋成著 鶴月洋訳注 角川学芸出版 (角川ソフィア文庫) 864 円 (税込) (送料 215 円)

〔当日資料配付〕当日、プリントを配布します。

◆**参考書** 授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点 (20%)、試験 (80%)。毎回出席することを前提として採点します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆多様な宗教現象を理解する2

【宗教学概論】

金曜日4時限

開講単位：2単位

担当者：合田 秀行

◆**学修到達目標** 多様な宗教現象を理解する上で、日本・アジアの宗教、すなわちヒンドゥー教・仏教・儒教・道教・神道のそれぞれについて、その歴史と教義をより深く理解することを目的とします。さらに日本の民族宗教やアイヌの宗教についても学びます。また、日本や諸外国における新宗教の潮流にも触れます。最後に、宗教と現代社会のさまざまな問題やテーマについて考察します。

◆**授業方法** 指定した教科書に基づいて、講義形式で進めますので、必ず下記のテキストを用意して下さい。映像資料も活用して理解を深めます。また、講義内にも質問を受けますが、毎回配布する出席票の裏に質問事項を書いてもらい、質問の数にもよりますが、内容に応じて、次の講義で解説するようにします。

◆**準備学修** 1回の講義につき、平均して3項目から4項目程度（1項目につき2ページ）を目安にして進めていきます。必ず次の範囲を事前によく読んで講義に臨んでください。

◆授業計画【各90分】

1回目 ガイダンス 古代インドの宗教	9回目 日本のキリスト教・アイヌの宗教
2回目 ヒンドゥー教・ジャイナ教	10回目 日本・世界の新宗教
3回目 インド仏教 1 成り立ち	11回目 宗教と現代 1 現代宗教への視座
4回目 インド仏教 2 上座部・大乘仏教	12回目 宗教と現代 2 政治と宗教
5回目 中国・チベット仏教	13回目 宗教と現代 3 スピリチュアリティ
6回目 中国・朝鮮・台湾の宗教	14回目 宗教と現代 4 様々な文化と宗教
7回目 神道	15回目 まとめ
8回目 日本の仏教・神仏習合	

◆**教科書** 丸沼『よくわかる宗教学』 櫻井義秀・平藤喜久子編著 ミネルヴァ書房 2,592円（税込）（送料350円）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 平常点（30%） 試験（70%） 原則的に3分の2以上、出席していることを評価の前提とします。

◆日米文化の違いを学ぶ

★★☆【英語 K】

金曜日5時限

オープン受講：不可

開講単位：1単位

担当者：青木 克憲

◆**学修到達目標** 日常的なテーマ（パーティ、アニメ、食事のマナーなど）について、日米の文化、考え方の違いを学ぶ。Readingの箇所で読解力を身につけると同時に、練習問題を通して語力、文法力、listeningの力も身につけるようにする。前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**授業方法** 受講生に発表してもらう形で授業を行なう。本文の英文は1行（短い場合は2行）ずつ和訳してもらいその後で説明、補足などを加えて内容を検討する。練習問題は解答を答えてもらう。

◆**準備学修** シラバスを参照して、次回に行なう箇所を辞書を引き、内容をまとめておくこと。問題は自分の解答を用意しておくこと。

◆授業計画【各90分】

1回目 Lesson 13 Low birthrate	9回目 Lesson 20 Politeness
2回目 Lesson 14 Driving or public transportation?	10回目 今までのまとめ（L.17～L.20）
3回目 Lesson 15 American food.	11回目 Lesson 21 Loan words
4回目 Lesson 16 Parties: in or out?	12回目 Lesson 22 A buddhist christmas?
5回目 今までのまとめ（L.13～L.16）	13回目 Lesson 23 Entrepreneur or office worker?
6回目 Lesson 17 Anime in the USA	14回目 Lesson 24 Bathrooms: wet or dry?
7回目 Lesson 18 work and family	15回目 授業全体のまとめ
8回目 Lesson 19 High school and university	

◆**教科書** 丸沼『Spotlight on America and Japan（ありのままの日米比較）』 南雲堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業中に必要に応じて紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（予習状況、練習問題）（30%） 試験（70%）で評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆大正・昭和期の日本政治

〔日本政治史〕

金曜日 5 時限

オープン受講：不可

開講単位：2 単位

担当者：石川 徳幸

◆**学修到達目標** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史の形で学んでいく。歴史の流れを正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは得策ではないが、便宜上、本講義では明治末期から昭和前期を対象とする。大正政変から第2次世界大戦前後にかけての日本政治の動きを理解するとともに、歴史的事象の見方や考え方を身につけてもらいたい。

◆**授業方法** 基本的には、教科書に沿った内容を講述する形で授業を進める。授業内容は、あくまでも初学者を対象とした内容で構成しているが、中学・高校の歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、各自、ノートを必ず持参すること。

◆**準備学修** 予習として、事前に教科書の該当範囲に目を通しておくこと（毎時、授業終わりに次回に扱う範囲を告知する）。復習として、受講中にとったメモを整理し、ノートをまとめておくこと。

◆**履修条件** 平成28年度昼間・土曜スクーリング（前期）「日本政治史（幕末・明治期）」を受講していることが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 帝国主義国家への歩み	9 回目 戦争への道①
2 回目 明治の終焉	10 回目 戦争への道②
3 回目 大正の政変	11 回目 「大東亜戦争（アジア・太平洋戦争）」
4 回目 第1次世界大戦	12 回目 対日占領政策
5 回目 政党政治の展開	13 回目 政党政治の復活①
6 回目 政党政治の隆盛と国際的孤立	14 回目 政党政治の復活②
7 回目 戦争とファシズムへの道	15 回目 総括
8 回目 日中戦争	

◆**教科書** **【教材】**『日本政治史 L30400』黒川貢三郎著 通信教育教材（教材コード000452）3,100 円（送料込）
【当日資料配付】 ※資料がある場合は当日に配布する（欠席分の追加配布は行わない）。

◆**参考書** ※参考書は、必要に応じて授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。全体の3分の1を超える欠席がある場合、評価の対象としない。

◆データ処理と分析

〔情報概論 B〕

金曜日 5 時限

開講単位：2 単位

担当者：一島 力男

◆**学修到達目標** 表計算ソフトを利用してデータの集計、統計処理、グラフ化およびデータベース機能の活用ができるようになること。また、表計算ソフトの利用可能実例を理解し、情報分析ツールとして活用できることを目標とする。

◆**授業方法** コンピュータ実習室を利用した実習を中心とする。表計算ソフトは Microsoft 社の Excel2013 を利用する。

◆**準備学修** Excel2013 の基本（相対参照・絶対参照を用いた数式のコピー、縦棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフの作成）について確認しておくこと。

◆**履修条件** Excel2013 の基本操作を理解していること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回目 ガイダンス	9 回目 詳細設定を用いたデータの抽出
2 回目 表計算ソフトの基本操作	10 回目 ピボットテーブルの利用
3 回目 統計的処理1（代表値と散布度）	11 回目 ゴールシークの利用
4 回目 統計的処理2（正規分布と偏差値）	12 回目 作業の自動化（記録マクロの作成）
5 回目 統計的処理3 （ヒストグラム、度数多角形などのグラフ作成）	13 回目 数理計画法（ソルバー機能の利用）
6 回目 統計的処理4 （相関係数、R-2乗値、回帰直線、散布図の作成）	14 回目 授業内テスト2
7 回目 授業内テスト1	15 回目 まとめ
8 回目 並べ替え、フィルター機能およびデータベース関数の利用	

◆**教科書** **【当日資料配付】** 当日にプリントを配布。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 実習課題（40%）、提出課題（30%）、授業内テスト（30%）により総合評価する。
※授業に毎回出席することを前提に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 24161999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆土曜日集中で 650 点レベルを目指して TOEIC にチャレンジしましょう。〔TOEIC B〕

土曜日 1・2 時限

開講単位：1 単位

担当者：町田 純子

◆**学修到達目標** 5 月から変更の新 TOEIC の出題問題の傾向を探り慣れることで、戦略的に又実践的に、リーディングとリスニングの英語運用能力 (Communicative Competence) を習得します。又同時に最低限の基礎文法知識の確認と定着や、語彙力増強、頻出会話表現を身につけることで、日常生活やビジネス現場で必要とされる基礎的な英語力をブラッシュアップできます。

◆**授業方法** 2 コマ連続の講座。前期後期の連続受講が望ましいです。リスニング (Part 1 ～ Part 4) 及びリーディング (Part 5 ～ Part 7) の練習問題形式のテキストに沿い、段階的に基礎文法、速読力、読解力、語彙力強化を図ります。又、音声の基礎知識を整理し、特有の話し言葉に慣れます。毎回中学校基礎英単語から TOEIC 頻出範囲までの単語熟語確認テストを行います。ガイダンス時に実力診断テストを行います。(受講人数で変更有り)

◆**準備学修** ガイダンスでは、シラバス内容を確認の上、授業に臨み、授業計画を確認の上、予習、復習をしてください。単語教材を 7 回実施予定の英単語熟語確認テストの準備として、初回講義前に購入してテストに備えてください。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	レベルチェックテスト リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解) Unit 1 TOEIC を知る & Unit 2 基本戦略 1
2 回目	リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解、語彙テスト 1) Unit 3 基本戦略 2 & Unit 4 英文の基本構造を見抜く
3 回目	リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解、語彙テスト 2) Unit 5 解答根拠の登場順 & Unit 6 正解の言い換えパターンを知る
4 回目	リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解、語彙テスト 3) Unit 7 機能疑問文を聞き取る & Unit 8 動詞の時制を見極める
5 回目	リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解、語彙テスト 4) Unit 9 接続詞 v.s. 前置詞 & Unit 10 ダブルパッセージの攻略
6 回目	リスニング及びリーディング練習 (発音、発話、聴解、基礎文法、速読、読解、語彙テスト 5) Unit 11 接続副詞に強くなる & Unit 12 NOT 型設問のコツ
7 回目	語彙テスト 6 まとめ
8 回目	語彙テスト 7 期末テスト (達成度チェックテスト)

◆**教科書** 〔丸沼〕『THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 650』 Revised Edition ISBN 9784863122741
Masahiko Yamaguchi 他 センゲージラーニング 2,160 円 (税込) (送料 300 円)

〔丸沼〕『データベース 3000 基本英単語・熟語 (New Edition)』 桐原書店 1,026 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、平常点評価として、総合的にだします。
単語小テスト 7 回と期末試験、毎回の宿題等にプラス α の加点要素として実力診断テスト結果の伸び率を含みます。

◆古典文学から時代を読む

〔国文学基礎講義〕

土曜日 1・2 時限

開講単位：2 単位

担当者：木村 一

◆**学修到達目標** 前期のみの受講・後期のみの受講も可能だが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

本講義は基本的に「国文学基礎講義」（前期）の流れの中にあり、前期からの継続において後期に継承指されるものである。後期においては、『源氏物語』を読む。対象とする巻は、「桐壺」と「葵」である。物語世界の時代背景、当時の生活様式が当然認識されていることが理想的であり、その理解のもとにおいて物語を読み進めていく。物語ということの捉え方、『源氏物語』についての基本的な捉え方ができるようになります。

◆**授業方法** 講義形式で授業を行います。指定テキストの解説と併せ、実際に文学作品を読んでいきます。ただし、ただ文学作品の内容を捉えることが目的なのではありません。受講生諸君に積極的に思考・考察してもらうために、授業時間内に複数回にわたって〈小課題〉を課すこととします。その課題は各セッションにおける各自の理解度・把握度を計る目安となるものです。その課題に対応するべく、各自積極的に講義ノートをとること。

◆**準備学修** 指定したテキストの内容と流れとを事前に把握しておくこと。授業範囲の専門用語を事前に把握しておくこと。毎回の授業後、各自の講義ノートと指定テキストを基とし、整理復習をしっかりとこなし、次の講義につなげる努力をすること。次回の予告を聞き逃さず、次回の展開に即した指定テキスト内容の把握と作品内容の読み込みを行うこと。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	導入、どう進めるか―実際に講義をどのように進めるのかを説明します。 前期で学修したことを基にし、平安期の時代背景をもとにして文学世界を読んでいきます。
2 回目	『源氏物語』入門―『源氏物語』のイメージと実際に把握します。桐壺巻を読みはじめます。当時の貴族社会の把握、一夫多妻制ということ、後宮ということなどを物語の語り初めとともに把握していきます。
3 回目	第二皇子の誕生―帝を中心とした後宮社会において、第二皇子の誕生がどのような背景をもって語られどのような意味合いを持つのかということを把握していきます。帝とそれを取りまく後宮社会において、愛情の偏重がもたらす悲劇を読み解きます。
4 回目	光源氏誕生―悲劇を乗り越えた末に誕生する光源氏という存在はどのようなものであるのかを把握します。また、その存在の意味するところも把握していきます。
5 回目	桐壺巻以降葵巻まで―桐壺巻から葵巻に至る概要をたどりま。それを踏まえて葵巻を講読します。
6 回目	葵と六条御息所との位相を把握します。葵はどのような人物であるのか、また六条御息所はどのような人物として語られているのかということを把握しておきます。
7 回目	斎院御禊の日の車の所争いで何がどうなるのか。そこに語られているものごとが意味するものを読み解いていきます。
8 回目	物の怪発動に至る経緯とその裏側にうごめく人間の様相というものを読み解いていきます。 最終時間は試験。

◆**教科書** **通材**『国文学基礎講義 M20100』 通信教育教材（教材コード 000519）3,050 円（送料込）
※平成 28 年度新教材
〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ 日本古典文学』近藤健史編（弘文堂）と同一です〉
〔当日資料配付〕実際の作品については、当日プリントを配布する。

◆**参考書** 電子辞書があると便利（電子端末不可）。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、講義への取り組み・小課題の状況により総合的に評価する。
受講状況（10%）・小課題（10%）・試験（80%）

◆簿記の基本を学びましょう

〔簿記論Ⅰ〕

土曜日 1・2時限

開講単位：2単位

担当者：遠藤 洋介

◆**学修到達目標** 初めて簿記を勉強する方を対象に、簿記の一連の流れ（会社の成績表ができるまでの流れ）を学んで頂きます。『帳簿をつける』ということや『決算』というものはどういうものなのかを理解して頂き、会社の成績表をつくれるようになることを目標にしています。

前期のみの受講、後期のみの受講も可能ですが、簿記3級の内容をおおむね網羅されたい方は、前期・後期の連続受講が望めます。

◆**授業方法** まず、黒板を使って、テキストに書いている内容を簡単にまとめて解説をします。

テキストには例題もありますので、黒板で解き方を解説し、イメージをもって頂きます。

その後、テキストやワークブックにある練習問題を各自で解いて頂き、解説や補足説明等を行います。

◆**準備学修** 授業内容は毎回つながっていきますので、復習が大変重要になります。

各回の授業で勉強したことは、次回の授業までにもう一度復習するようにして下さい。

また、授業では電卓が必要となります（最初の授業の際に説明します）。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	簿記の意義としくみ、仕訳と転記（仕訳帳と元帳） ※前期の復習と前期に飛ばした論点を学習します（以下同じ）
2 回目	決算（英式決算法）、現金と預金（現金出納帳、小口現金など）
3 回目	商品売買（仕入帳と売上帳、商品有高帳）、売掛金と買掛金
4 回目	その他債権と債務（商品券・他店商品券）、受取手形と支払手形（為替手形、手形記入帳）
5 回目	有価証券、固定資産（資本的支出と修繕費など）
6 回目	貸倒損失と貸倒引当金、収益と費用（消耗品費の処理）
7 回目	財務諸表（決算整理後残高試算表の作成）
8 回目	試験

◆**教科書** 〔丸〕『検定簿記講義 3級商業簿記』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子 中央経済社 735 円（税込）（送料 300 円）

※テキスト・ワークブックは、初回の授業から使いますので、用意をして下さい。

◆**参考書** 〔丸〕『検定簿記ワークブック 3級商業簿記』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子 中央経済社 735 円（税込）（送料 300 円）

※テキスト・ワークブックは、初回の授業から使いますので、用意をして下さい。

◆**成績評価基準** 原則として、試験の結果により評価をします。

◆現場で必要とされる生徒指導とは？

〔生徒指導・進路指導論〕

土曜日 1・2時限

開講単位：2単位

担当者：古賀 徹

◆**学修到達目標** この授業では教育実践で求められる「生徒指導」に必要な知識・技能を修得することと、様々な場面指導実演（ロールプレイ）を通して、次の四点を身につけることを目指しています。(1)生徒指導の意義、必要性を理解する。(2)カウンセリング・相談（対応）の方法や、グループワーク等の方法を実践して修得する。(3)様々なデータ（調査資料・統計の数値）を読み解き、現象を把握し対策を考えることができる。(4)生徒指導上の問題、学校における問題行動について理解する。

◆**授業方法** 講義形式に加えて、ロールプレイ、さらに複雑なサイコドラマ、またワークショップ形式での話し合い（学びあい）など、多様な方法（アクティブラーニング）を取りいれます。学校現場では様々な場面・環境に応じた指導法が必要とされています。

◆**準備学修** この授業では、生徒指導に関する一般的な知識、教科書に書かれている理論についてもちろん学んでいきますが、ピア・カウンセリング、論理療法のカウンセリングなど、学校現場で実効性があると評価されている最新の指導法を学修していただきます。そのためには積極的な取り組みかた、意欲的に参加していただくことが必要です。学校の周囲の問題もとりあげますので、受講する皆さんも授業以外にも様々な教育問題、教育に関する話題・情報に関心をもち、ニュース等をメモして整理しておくことをおすすめします。また、ボランティア活動など地域活動に参画するなど、様々な体験活動についてもとりあげます。自身の在住する地域の実情について関心をもって調べておく、スキルアップのためのヒントにつながるかと思います。

◆授業計画〔各 170 分〕

1回目	① 生徒指導とは何か？ ② 個人指導と集団指導 (1)対人理解の方法論
2回目	① 個人指導と集団指導 (2)集団の中での個人 ② 個人指導と集団指導 (3)カウンセリング理論
3回目	① 個人指導と集団指導 (4)論理療法 ② 個人指導と集団指導 (5)グループワーク
4回目	① 進路指導の問題 (1)「格差」拡大の社会 ② 進路指導の問題 (2)「ニート」問題
5回目	① 進路指導の問題 (3)「キャリア教育」 ② 自律・自立のための指導「生きる力」
6回目	① 全国いじめ実態調査の動向 ② 場面指導 (1)叱り方・「私語」をなくす
7回目	① 場面指導 (2)障がいを抱える生徒への対応 ② 家庭との連携・地域社会との連携という課題
8回目	① 生徒指導・進路指導とは何であったか？

◆**教科書** 資料・レジュメを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。適宜に資料・レジュメを配布する。

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

1 履修登録をする

履修登録上の注意事項

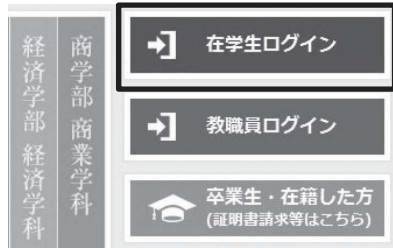
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

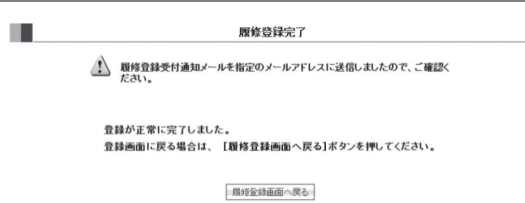
① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に

1	履修登録には、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp/ ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	

4	履修登録する科目を確認し、 登録実行 ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、 登録確認 ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

履修登録年度		平成 28 年度		提出年月日		平成 28 年 4 月 1 日	
履 修 届							
学生番号	121310000			フリガナ 氏名	ニチダイ ハナコ 日 大 花 子		電話番号 (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
				090-000-0000			
	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	B10700	哲学	4	14			
2	C10100	英語 I	2	15			
3	C10200	英語 II	2	16			
4	H10100	保健体育講義 I	1	17			
5	T30100	行政学	4	18			
6	K20100	憲法	4	19			
7	K20200	民法 I	4	20			
8	K20300	刑法 I	4	21			
9	J10150	体育実技 I	1	22			
10	B11700	政治学	4	23			
11	T10100	現代教職論	2	24			
12				25			
13							
記入例 0123456789				合計 28 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。 教職生および 2 学年以上の教職コース登録者は 年間 60 単位まで登録できます。			
				日本大学通信教育部			

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

① 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、「平成 28 年度」と記入してください。

② 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

③ 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し、科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

④ 単位

各科目の所定単位を記入してください。

⑤ 合計科目・単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を 2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「教育実習」及び「教育実践指導」は登録する必要がありません。
「履修届」とは別の手続きとなります。『部報』、『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び 2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。
- ・スクーリング等で所定単位が 4 単位の科目で、2 単位分修得している科目は登録できません。履修登録済と同様の扱いとなります。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験の申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。

2 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。 90 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL : http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

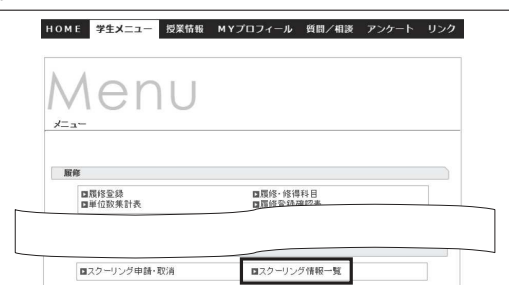
3	「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、申請 ボタンをクリックしてください。 ※履修登録を行った科目のみ表示されます。 必ず事前に履修登録を行ってください。	
4	昼間・土曜スクーリングは併用試験方式での単位修得はできないため、スクーリング申請確認画面で「併用」欄が空欄になっています。他の短期集中型のスクーリングと同時に申込みの際は、注意してください。	

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。	
---	---

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。	
3	申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。	
2	「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、 取消 ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み（ポータルサイトで申込みを行った場合は不要です）

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

（1）記入上の注意

（ア）講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

（イ）講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

（ウ）充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「（2）注意事項」を参照してください。

（エ）学生番号・氏名



内をすべて記入してください。 提出年月日 平成 年 月 日

昼間・土曜スクーリング（後期）受講届

学生番号 _____ フリガナ _____
氏 名 _____

種別コード A2

曜日	時間	講座コード	講座名	充当科目コード
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
合計		講座（14講座まで登録できます。）		

<記入例>

曜日	時間	講座コード	講座名	充当科目コード
1	火	1	AH11	政治学
				B11700

※ 書き損じの場合は書き直してください。修正用紙を添付してください。
※ 本票で他のスクーリングの受講申込はできません。

提出締切日：【窓口】10月5日（水）事務取扱時間内厳守
【郵送】10月5日（水）消印有効

事務取扱用紙

（2）注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講 座 コ ー ド	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コ ー ド	科 目 名
●●●●	英 語 B	○○ ○○	C10100	英 語 I
			C10200	英 語 II
			C10300	英 語 III
			C10400	英 語 IV
▲▲▲▲	英 語 C	○○ ○○	C10100	英 語 I
			C10200	英 語 II
			C10300	英 語 III
			C10400	英 語 IV

(2) (1) (4) (3)

- (1) 希望する講座として「英語 C」を選択。
 - (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
 - (3) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
 - (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
 - (5) 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・ 乱雑な記入
 - ・ 記入誤り、記入漏れ
 - ・ 記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口へ直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日の消印有効】

郵送提出についての注意事項

天災や郵便の遅延・未着その他の事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「スクーリング受講資格審査結果通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届の作成

用紙で受講講座の変更・追加をする場合は、本誌巻末の「受講講座変更届」を使用し、以下の記入例を参考に作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」及び「充当科目コード」を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

※記入する講座が5講座以上の場合はコピーして使用してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一（10月5日（水））です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの消印有効です。

《記入例》

平成〇〇年〇〇月〇〇日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成 28 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたします。
たく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
火曜 1 時限	〇〇〇〇	政治学	B11700
火曜 2 時限	〇〇〇〇	文学	B11300
火曜 4 時限	〇〇〇〇	英語 A	C10100

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
火曜 1 時限	〇〇〇〇	政治学	B11700
火曜 4 時限	〇〇〇〇	英語 A	C10100
火曜 5 時限	〇〇〇〇	歴史学 A	B11100

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	2	2	1	6	3	9	9	9
フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ							
氏 名	日 大 太 郎							
自宅電話番号	0 3 - 5 2 7 5 - 8 9 1 1							
緊急時電話番号								

教務課受付印

提出締切日：【窓口】 10月5日（水）事務取扱時間内厳守
 【郵送】 10月5日（水）消印有効

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○リポート数不足

スクーリング併用試験方式で申込みを行ったが、リポートの提出数が規定に達していない場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○併用不可科目

スクーリング1回の合格で単位修得の科目を、スクーリング併用試験方式で申込みした場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座を受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形 3 号（A 4 判 三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 **いかなる場合でも期限後は手続できません。**

10 月 28 日（金）《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

受講許可の下りた講座に対し、振込用紙を送付します。

申込講座の辞退がない場合、受講料を期限までに納入してください。

- 1 受講料：1 講座 10,000 円×受講講座数
「情報概論」のみ 13,000 円（コンピュータ等実習料を含むため）
- 2 振込用紙発送予定日：10 月 21 日（金）
- 3 納入期限：11 月 4 日（金） 銀行窓口 ※当日取扱時間まで
- 4 納入方法

必ず、大学から送付される振込用紙により銀行窓口から振り込んでください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けできません。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。
受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入したのちに受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

すでに所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材 印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請（部報 10・11 月号参照）または「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約 1 週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

※本手引掲載の教材価格は平成 28 年度の教材価格です。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼** 印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日：10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（127 ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

- （1）代金引換払（手数料 260 円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又は FAX をしてください。

- （2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記あてに郵送してください。

- （3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

③ 教材購入方法の見分け方

◆○○○	【○○○○○○○○】
○曜日○時限	開講単位：○単位 担当者：○○ ○○
◆学修到達目標 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○	
◆授業方法 ○○○ ○○	
◆準備学修 ○○○ ○○	
◆履修条件 ○○○	
◆授業計画〔各 90 分〕	
1回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	9回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	10回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
3回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	11回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
4回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	12回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
5回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	13回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
6回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	14回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
7回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	15回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
8回目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

(1) 使用教材が「通信教育教材」の場合
（通材）を付記，「教材購入願」用紙を使用して購入してください。

(2) 使用教材が「市販教材（市販本）」の場合**（丸沼）**を付記，「教材購入用紙（丸沼書店用）」用紙を使用して購入してください。

(3) 使用教材が「事前にプリント配布」の場合
（事前資料送付）を付記，授業開始前に資料を送付します。予習して授業に臨んでください。※ただし、資料準備が終わらない場合、授業初日配布に変更になる場合があります。

(4) 使用教材が「授業当日にプリント配布」の場合**（当日資料配布）**を付記，授業日に資料が配付されるため、このマークのみの場合は用意する必要はありません。

◆教科書 通材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）1,800 円（送料込）
事前資料送付 事前に資料プリントを配布する。

◆参考書 丸沼『教養政治学』黒川貢三郎他
当日資料配布 当日プリント資料を配布する。

◆成績評価基準 平常点と試験によって総合的に評価する。

◆授業相談（連絡先）： ○○○○○○

※事前資料送付・当日資料配布については、教務課（電話 03-5275-8911）にお問い合わせください。

④ スクーリング受講に伴う六法の携行及び指定の六法

法律系の科目を受講する場合、特にシラバスに記載がなくとも『六法』は必携となりますので、各自用意の上、授業に臨んでください。

通信教育部指定の六法について

スクーリング試験時に参照が許可される『六法』は、次の9種類に限ります。ただし、担当講師から別途指示がある場合は、この限りではありません。

《試験時に参照が許可される六法》

岩波書店『コンパクト六法』、『セレクト六法』、『基本六法』
有斐閣『六法全書』、『ポケット六法』
第一法規『司法試験用六法』、『旧司法試験用六法』、『新司法試験用六法』
三省堂『デイリー六法』

注意事項：

- (1) 上記指定の『六法』に、書き込み等がある物は、参照物として認められません。したがって、『六法』は学修時に使用するものと試験時に使用するものとで別に用意してください。
- (2) 判例・解説つきのもの(『六法』付録の小冊子等を含む)は参照物としては認められません。

2 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- (1) 「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。
- (2) 「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- (1) 学生証及び振込用紙の「領収書（銀行の捺印のあるもの）」を持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「**在籍確認**」印の押印を受けてください。
- (2) 通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- (1) 通学定期乗車券発行控（全員必要）[本誌巻末 125 ページ参照]
- (2) 滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）[学生課窓口にて配布]
- (3) 通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅
都営地下鉄	新宿線 市ヶ谷駅
東京メトロ	有楽町線・南北線 市ヶ谷駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	② 他人に譲渡・貸与すること。
③ 記名人以外が使用すること。	④ その他、不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- (1) 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。
- (2) 年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。
- (3) 「**在籍確認**」印は、年度内に限り有効です。

MEMO

通信教育部の在学中で既に修得した科目の受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項 目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。



使用教材の入手	・シラバスを参照し、教材を入手する。
---------	--------------------



授業開始	・1階の掲示板で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。
------	--



受講希望の講座を申し込む 【申込期限：10月5日（水）】	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ・表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
---------------------------------	---



受講資格審査	各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行います。
--------	---------------------------------------



許可通知書兼納金票の受け取り 【発送予定日：10月21日（金）】	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 ・発送予定日から、5日経過しても「受講許可通知書兼納金票」が届かない場合は、教務課に連絡してください。
-------------------------------------	---



受講料の納入 【納入期限：11月4日（金）】	・納入方法は下記のとおりです。 ①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)郵便定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
---------------------------	---



手続完了	オープン受講の手続きは完了です。
------	------------------

- ・履修届
- ・昼間・土曜スクーリング（後期）受講届
- ・オープン受講届
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

注意事項①

「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

見本 表

定額小為替証書

01234-567890

指定受取人
おなまえ

300円

払渡日付印
おとこ
おなまえ

上記の金額を受け取りました。

発行日付印

裏面の注意書をごらんください。

定額小為替払渡票

01234-567890

300円

この証書は機械で処理しますので、折り曲げたり、汚したりしないでください。

注意事項②

これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

注意事項③

為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

見本 裏

ご 注 意

- この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人（郵便局）が委託した者を名乗ります。これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社、郵便局株式会社（郵便局）が委託した者を名乗ります。は責任を負いません。
- この証書は、他の銀行との間で利用されるため、他の銀行の口座にお受取人のお名義の口座をお持ち等の場合、同一口座の振込金へご入金等を行うことができます。なお、証書の発行日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。
- 為替金をお受け取りになる場合は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。おなまえを記入し、押印を押し付けてください。
- 代理の方がお受け取りになる場合は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえと委任者（お受取人）のおなまえ、おなまえを記入し、押印を押し付けてください。
- ゆうちょ銀行または郵便局では、為替金をお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただきます。運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方の両方の書類のご提示をお願いすることがあります。
- 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申出により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間を過ぎた場合は、為替の再交付を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。

（代理人）おなまえ

上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。

（委任者）おとこ

おなまえ

注意事項⑤

右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

定額小為替金受領証書

見本 表 01234-567890

300円

料金 100円

発行日付印

発行日付印

（お客さま控）

（お客さま控）



履修登録年度	平成	年度
--------	----	----

提出年月日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---

届修履

フリガナ 氏 名	電話番号	—
		(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

	科目コード	科 目 名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

	科目コード	科 目 名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

記入例

合計 単位 → 年間 48 単位まで登録できます。
教職生および 2 学年以上の教職コース登録者は
年間 60 単位まで登録できます。

内をすべて記入してください。

提出年月日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---

昼間・土曜スクーリング（後期）受講届

学生番号		フリガナ	
		氏 名	

種別コード	A2
-------	----

	曜日	時限	講座コード	講 座 名	充当科目コード
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
合計			講座（ <u>14</u> 講座まで登録できます。）		

<記入例>

	曜日	時限	講座コード	講 座 名	充当科目コード
1	火	1	A H 1 1	政治学	B 1 1 7 0 0

- ※ 書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
 ※ 本票で他のスクーリングの受講申込はできません。

提出締切日：【窓口】 10月5日（水）事務取扱時間内厳守
 【郵送】 10月5日（水）消印有効

事務局使用欄

平成 年 月 日

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻（ ）
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

【希望スクーリング】

スクーリング 種 別		開催地	
講 座 名	講座コード	講座名	
	講座コード	講座名	
	講座コード	講座名	
	講座コード	講座名	
受 講 希 望 理 由			

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- ☐ スクーリングオープン受講届
☐ 学生証コピー

事務局使用欄

提出締切日：〔窓口〕10月5日（水）事務取扱時間内厳守
 〔郵送〕10月5日（水）消印有効

平成 年 月 日

日本大学通信教育部教務課長 殿

平成 28 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コ ー ド

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コ ー ド

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号								
フ リ ガ ナ								
氏 名								
自 宅 電 話 番 号								
緊 急 時 電 話 番 号								

教務課受付印

提出締切日：[窓口] 10月5日（水）事務取扱時間内厳守
[郵送] 10月5日（水）消印有効

併せて提出するもの

全講座辞退→振込用紙

一部講座辞退→振込用紙

返信用封筒（長形 3 号, 362 円切手貼付）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（後期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____ - _____

- 4 辞 退 内 容 ☐ 全講座辞退
 （☐にチェック） ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
☐ 一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合、辞退講座のみ を
 以下へ記入

講座コード	講座名	講座コード	講座名

5 辞 退 理 由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】10／28(金)

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（後期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362 円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形 3 号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続は 1 回しかできません。

※ 提出期限以降の辞退手続はできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無償）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：研究事務課)

教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号（携帯電話可）	- -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード (科目コードではありません)						教材名	配 本 単位数
1	0	0	0					単位
2	0	0	0					単位
3	0	0	0					単位
4	0	0	0					単位
5	0	0	0					単位
6	0	0	0					単位
7	0	0	0					単位
8	0	0	0					単位
9	0	0	0					単位
10	0	0	0					単位
合 計								単位

ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。

※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。

※消えないボールペンを使用し、記入してください。

※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。

※「教材コード」は『部報』『教材要綱』『各種スクーリング手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。

※2冊組教材はセットコードを記入してください。

※スクーリング等で指定する~~丸~~表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄



—「教材配本申請書」、「教材購入願」—

研究事務課

通信教育部教材を入手する場合は、以下の内容を熟読し、手続きしてください。

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。

一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。

通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。

なお、教材コード・販売価格等は『部報』（4・5月号・10・11月号）、『スクーリングの手引』に掲載されます。

「教材配本申請書」、「教材購入願」は、『部報』（4・5月号・10・11月号）巻末に掲載します。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。

所定の「教材配本申請書」で申請してください。

一度提出した書類の追加・変更はできません。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「配本申請」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。

科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手續により購入してください。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手續をしてください。

(2) 郵送の場合

『部報』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

2 注意事項

① 教材は「通信教育教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（丸沼表記の教材）は、対象外です。

② 手續後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。

③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手續をしてください。

④ 窓口での教材配本はできません。

教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
 詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成28年度 昼間・土曜スクーリング			
申 込 日	平成 28 年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・郵便為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 ー
	氏 名	
	電 話 番 号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
 ※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代＋送料（実費）＋手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店
（所 在 地）〒101-0061
東京都千代田区三崎町 2-8-12
（電 話）03-3261-4540
（F A X）03-3261-0118
（営業時間）9：00～20：00
（日曜日：10：00～19：00）

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号				氏 名	フリガナ
連絡先電話番号 (携帯電話可)				— —	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
		円		

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『部報』及び『スクーリング手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

平成 27 年度から、『通信教育教材』は「配本申請」または「教材購入」で入手します。「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。「配本申請」については、『部報』4・5月号・10・11月号を参照してください。スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は受講許可が出ていることを確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学 生 番 号
大 学 院			

フリガナ		性 別	年 齢
氏 名		男・女	才

現 住 所	
電 話	()

通学区間	駅～	駅	経由
	駅～	駅	経由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

学生番号

氏 名

平成28年度昼間スクーリング受講について

標記のことについて、平成28年度昼間スクーリングを受講する予定です。昼間スクーリングを受講しない場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。

以 上

※現住所・通学区間等に変更が生じた場合は学生課に届けること。
※現住所・通学区間等に偽りがあった場合には、学則により懲戒を行う。

校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】 〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩 3 分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩 2 分

丸沼書店案内図



JR 中央・総武線（各駅停車）、都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩 3 分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩 5 分

MEMO

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ャ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
☐ 希望する科目の履修登録は済んでいますか	VII-1 履修登録をする 表紙 (③履修登録締切日)
☐ 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
☐ 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	VII-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの 開講講座表
☐ 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの 開講講座表
☐ 希望科目の受講条件は満たしていますか (該当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	IV-1 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの 開講講座表
☐ 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの 開講講座表
☐ 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆受講届の提出	
☐ 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (③受講届提出締切日) VII-2 講座を申し込む
☐ 〈推奨〉申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
☐ 申込完了のメールは届いていますか (ポータルサイトからの申込の場合のみ)	
☐ 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	VII-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
☐ ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VIII-1 受講許可を確認する
☐ 受講料の納入期限は厳守していますか	IX 受講料等の納入



各種連絡先

○スクーリングの手續等に関する事項
教 務 課 03-5275-8911

○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857

○受講料の振込に関する事項
会 計 課 03-5275-8925

○通学定期・学割・滞在先届に関する事項
学 生 課 03-5275-8921

○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890

○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項
庶 務 課 03-5275-8901

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 関根二三夫 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部